

令和5年度

**第6次福島市総合計画
新ステージ実行プラン
結 果**

令和6年8月

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン(令和5年度) 目次

		ページ
1	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 成果指標一覧	1
2	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プランの考え方	5
3	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 重点施策	7
4	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 個別施策	35
5	令和5年度実績評価検証結果	101

資料編

1	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 見直した成果指標一覧表	103
2	【重点施策】 修正を加えた指標の新旧一覧	104
3	【個別施策】 修正を加えた指標の新旧一覧	105
4	ふくしま新ステージ実行プラン検証会議 委員名簿	107

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 成果指標一覧（令和5年度）

≪重点施策≫ ※主担当課は、成果指標の進捗管理を行う課です。なお、副担当課も主担当課と連携して進捗管理を行います。

★印：個別施策へ再掲

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
1 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現				
	1 「子育てしやすいまちだ」と答えた市民の割合	こども政策課	D	7
	2 合計特殊出生率	こども政策課	D	8
2 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進				
	3 「福島市の復興が進んだ」と答えた市民の割合	政策調整課	D	9
	4 講座受講後の不安軽減率 ★	保健総務課	A	10
3 災害対策の強化				
	5 「危機や災害に強く安心して暮らせるまちである」と答えた市民の割合	危機管理室	D	11
	6 地区防災マップ・防災計画の策定地区数 ★	危機管理室	A	12
4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進				
	7 「健康づくりや医療体制が充実したまちである」と答えた市民の割合	保健総務課	D	13
	8 「高齢者や障がいのある人、子ども連れの人などが外出する際、周りの人の理解や手助けがある」と答えた市民の割合	共生社会推進課	D	14
	9 お達者度（65歳健康寿命） ★	健康づくり推進課	A	15
5 豊かな文化芸術の振興と発信				
	10 「福島らしい文化芸術で自信を持って紹介できるものがある」と答えた市民の割合	文化振興課	D	16
	11 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数 ★	文化振興課	D	17
6 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築				
	12 「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	環境課	D	18
	13 温室効果ガス実質排出量 ★	環境課	C	19
7 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現				
	14 「農業や商業、工業などの産業が活力あふれるまちである」と答えた市民の割合	産業雇用政策課	D	20
	15 農業産出額 ★	農業企画課	C	21
	16 製造品出荷額等 ★	企業推進課	B	22
	17 中心市街地空き店舗数 ★	にぎわい商業課	D	23
8 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり				
	18 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちである」と答えた市民の割合	コンベンション推進課	D	24
	19 休日の歩行者・自転車通行量（7地点） ★	都市計画課	D	25
9 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化				
	20 「移住・定住先として自信を持って紹介できるまちである」と答えた市民の割合	定住交流課	D	26
	21 人口の社会動態（20歳～39歳） ★	定住交流課	D	27
10 市民総活躍と市民共創のまちづくり				
	22 「性別や年齢、立場に関わらず、個性や能力を十分に生かすことができるまちである」と答えた市民の割合	男女共同参画センター	D	28
	23 「まちづくりに参加している、参加したい」と答えた市民の割合	地域共創課	D	29
	24 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数 ★	地域共創課	A	30
11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上				
	25 「福島市に住みたい」と答えた市民の割合	政策調整課	D	31
目標値変更	26 元気ふくしま・ふるさと寄附金額 ★	政策調整課	A	32
12 ICTを活用した行政・経済・社会の変革				
	27 「地域社会のICT化が進み、市民生活が快適で便利になった」と答えた市民の割合	デジタル推進課	C	33
目標値変更	28 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間） ★	情報企画課	A	34

《個別施策》 ※主担当課は、成果指標の進捗管理を行う課です。なお、副担当課も主担当課と連携して進捗管理を行います。

★印：重点施策の再掲

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
1 子育て支援の充実				
	1 保育施設における待機児童数	幼稚園・保育課	A	35
	2 放課後児童クラブにおける待機児童数	こども政策課	B	36
	3 11歳以下の人口	こども政策課	B	37
2 学校教育の充実				
	4 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学6年、中学3年）	学校教育課	D	38
	5 読書が好きな児童生徒の割合（小学6年、中学3年）	学校教育課	D	39
	6 学力を伸ばした児童生徒の割合（小学5・6年、中学1・2年）	学校教育課	B	40
3 学びの環境の充実				
	7 授業にICT機器（タブレットPC・タブレット端末）を活用して指導できると回答する教員の割合	教育研修課	A	41
	8 家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合（中学3年）	学校教育課	A	42
	9 学校施設の更新及び長寿命化改修数	教育施設管理課	B	43
4 男女共同参画・人権尊重の推進				
	10 女性委員の参画割合	男女共同参画センター	A	44
	11 DVの被害、認識状況の割合	男女共同参画センター	A	45
5 放射線対策の充実				
	12 講座受講後の不安軽減率 ★	保健総務課	A	46
6 危機管理・防災減災体制の充実				
	13 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数	危機管理室	A	47
	14 地区防災マップ・防災計画の策定地区数 ★	危機管理室	A	48
7 消防・救急体制の充実				
	15 消防庁舎耐震化率	消防総務課	A	49
	16 救急救命士の人数	救急課	D	50
	17 住宅用火災警報器の設置率（条例適合率）	予防課	C	51
8 安心安全な市民生活の確保				
	18 1年間の交通事故による死者数	生活課	C	52
9 健康・医療体制の充実				
	19 お達者度（65歳健康寿命） ★	健康づくり推進課	A	53
	20 脳血管疾患の標準化死亡比 虚血性心疾患（急性心筋梗塞）の標準化死亡比	健康づくり推進課	A	54
	21 喫煙習慣の割合	健康づくり推進課	A	55
10 保健衛生・健康危機管理体制の充実				
	22 予防接種率（麻しん風しん混合ワクチン）	感染症・疾病対策課	A	56
	23 食中毒の件数	衛生課	B	57
11 地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実				
	24 バリアフリー推進パートナー賛同数	共生社会推進課	A	58
12 高齢者福祉の充実				
	25 認知症サポーター養成講座修了者数	長寿福祉課	B	59
13 生涯学習の振興				
	26 市民一人あたりの学習センター利用回数	生涯学習課	D	60

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
14 多文化共生の推進				
	27 多文化共生関連の取り組みへの総参加者数	定住交流課	B	61
15 スポーツの振興				
	28 スポーツに触れる機会に恵まれていると感じる割合	スポーツ振興課	A	62
	29 市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数	スポーツ振興課	D	63
16 文化芸術の振興				
	30 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数 ★	文化振興課	D	64
	31 民家園・宮畑遺跡跡公園（体験学習施設「じょいもん」）の年間来園者数	文化振興課	A	65
17 環境の保全				
目標値変更	32 エネルギー自給率（電力）	環境課	B	66
	33 1人1日当たりの生活系ごみの排出量	ごみ減量推進課	C	67
	34 汚水処理人口普及率	下水道建設課	A	68
	35 温室効果ガス実質排出量 ★	環境課	C	69
18 良質な水道水の安定供給				
	36 基幹施設耐震化率	水道整備課	A	70
	37 基幹管路耐震適合率	水道整備課	C	71
19 都市緑化・景観形成の推進				
	38 都市公園の長寿命化対策の整備率	公園緑地課	A	72
20 快適な住環境の形成				
	39 福島市空き家バンクに登録された空き家の利活用数（売却、賃貸）	住宅政策課	A	73
	40 市営住宅の一定のバリアフリー化率	住宅政策課	A	74
21 就労の支援と雇用の創出				
目標値変更	41 女性の管理職登用率（従業員20人以上の事業所）	産業雇用政策課	A	75
	42 働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数	産業雇用政策課	A	76
22 中心市街地の活性化				
	43 休日の歩行者・自転車通行量（7地点） ★	都市計画課	D	77
	44 まちづくり活動に参画する学生数	都市計画課	A	78
23 道路交通ネットワークの整備				
	45 道路改良率	道路建設課	A	79
	46 重要橋梁の耐震補強整備率	道路保全課	B	80
24 公共交通網の充実				
	47 福島市管内路線バスにおける福島市内乗車人員（年間）	交通政策課	B	81
	48 福島交通飯坂線、阿武隈急行線の福島市内乗車人員（年間）	交通政策課	B	82
25 移住定住・関係人口の拡大				
	49 移住・定住の各施策により本市移住に結びついた移住者の割合	定住交流課	A	83
	50 人口の社会動態（20歳～39歳） ★	定住交流課	D	84
26 農林業の振興				
	51 農業産出額 ★	農業企画課	C	85
	52 新規就農者数	農業企画課	B	86
27 工業の振興				
	53 製造品出荷額等 ★	企業振興課	B	87
28 商業の振興				
	54 中心市街地空き店舗数 ★	にぎわい商業課	D	88

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
2 9 観光による地域振興				
	55 観光消費平均単価額	観光交流推進室	A	89
	56 観光客入込数	観光交流推進室	A	90
	57 外国人延べ宿泊者数	観光交流推進室	C	91
	58 来訪者満足度	観光交流推進室	D	92
3 0 市民共創・地域連携の推進				
	59 町内会加入世帯の割合	地域共創課	D	93
	60 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数 ★	地域共創課	A	94
3 1 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実				
	61 ふくしま市政出前講座の受講者数	広聴広報課	D	95
目標値変更	62 ホームページ、SNSの閲覧数	広聴広報課	C	96
目標値変更	63 元気ふくしま・ふるさと寄附金額 ★	政策調整課	A	97
3 2 I C T化の推進				
目標値変更	64 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間） ★	情報企画課	A	98
3 3 行財政経営の推進				
	65 実質赤字比率	財政課	A	99
	66 連結実質赤字比率	財政課	A	99
	67 実質公債費比率	財政課	A	99
	68 将来負担比率	財政課	A	100

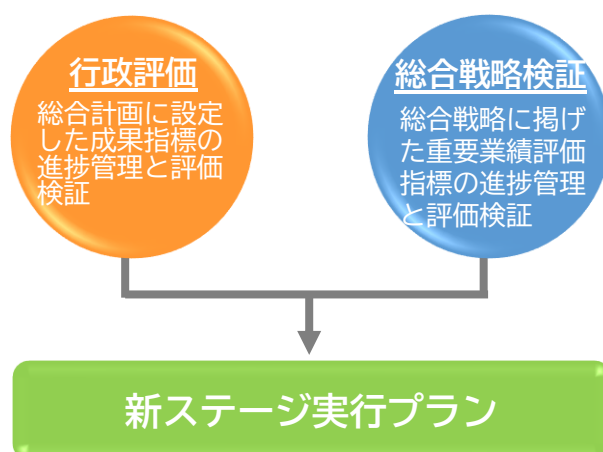
第6次福島市総合計画 新ステージ実行プランの考え方

1 目的

まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点・個別施策に紐づく成果指標について、各年度進捗管理・評価検証を行い、本市の目指すべき将来のまちの姿の実現度をはかることを目的とします。

2 評価の簡素化

これまでの行政評価（施策評価）と総合戦略検証を一体化し、事務の簡素化を図りながら成果指標の進捗管理等を行います。



3 期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

4 プランの掲載内容

まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点施策の成果指標（28指標）・個別施策の成果指標（68指標）とその進捗に貢献する主な取り組み等とします。

5 評価方法

成果指標について、下記の計算方法を用いて、それぞれの達成率を算出後に評価区分に従い評価を行います。

①達成率の計算方法

$$(\text{評価年度実績値} - \text{基準値}) \div (\text{評価年度目標値} - \text{基準値}) \times 100 (\%)$$

※算出された達成率は0.0%～100.0%で表記しています。

②評価区分

達成率	区分
達成率 100%	A評価
80% ≤ 達成率 < 100%	B評価
60% ≤ 達成率 < 80%	C評価
達成率 < 60%	D評価

③各年度ごとの目標値の設定方法

目標値から基準値を差し引き、計画期間（５年間）で除する。

<例>指標名：合計特殊出生率

基準値（H30 年度）：1.35、目標値（R7 年度）：1.70

各年度ごとの目標値： $1.70 - 1.35 = 0.35$ 、 $0.35 \div 5 = 0.07$ ／1 年当たり

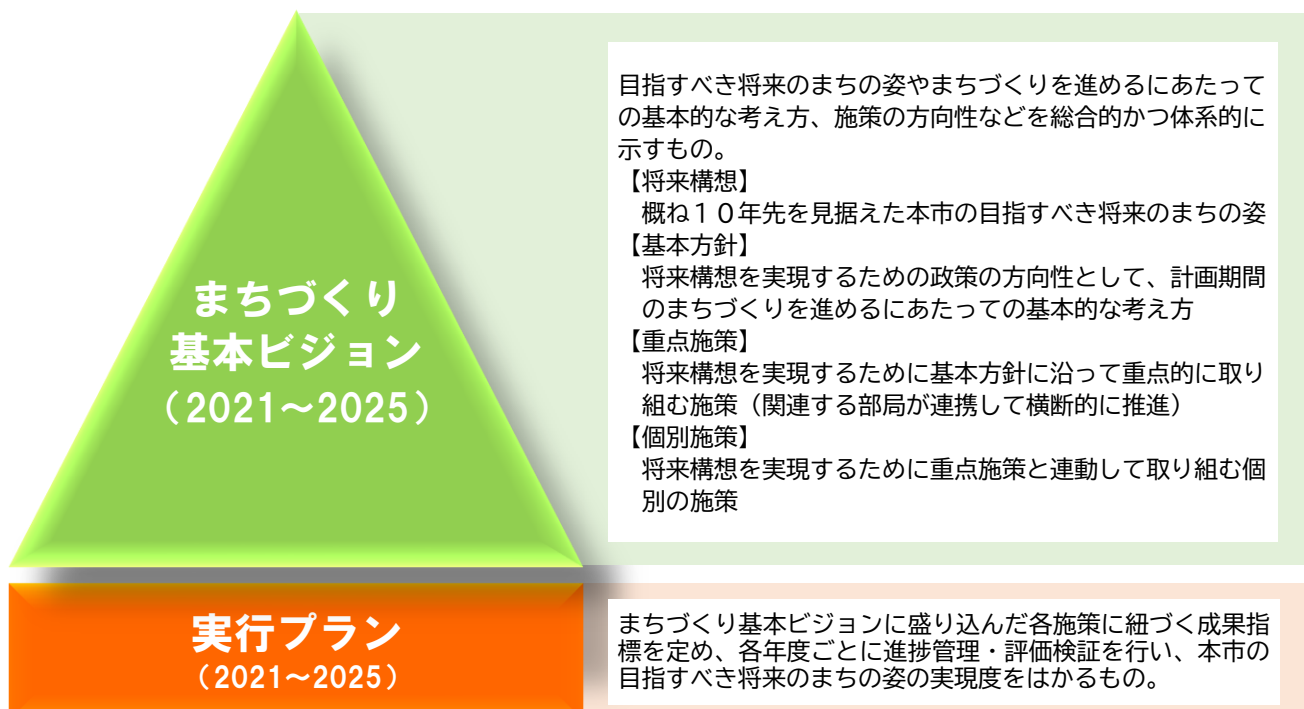
【R3】1.42 【R4】1.49 【R5】1.56 【R6】1.63 【R7】1.70

※各年度ごとに目標値を設定している場合等については、この限りではない。

6 進捗管理

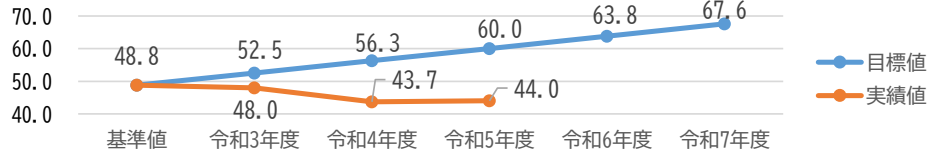
- ①本プランにおいて設定した成果指標を各年度ごとにしっかりと進捗管理を行い、より効果的に施策を推進します。また、専門的な知見を生かした幅広い視点から意見をいただくため、毎年度、外部有識者会議による評価検証を行います。
- ②これらの結果については、議会へ報告し、市民へも公表します。
- ③また、成果指標の進捗状況、外部有識者会議の評価検証結果、社会経済情勢の変化等に応じて、適宜、取組内容や成果指標、目標値の見直しを行います。
- ④なお、各成果指標の進捗管理については、主担当課と副担当課が連携して行うこととします。

【参考】第6次福島市総合計画の構成と期間



指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	こども家庭課、幼稚園・保育課、定住交流課、学校教育課、教育施設管理課、教育研修課、住宅政策課
----------	-----	--------	-----	--

成果指標	1.「子育てしやすいまちだ」と答えた市民の割合
------	-------------------------

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現						
指標の説明	市民意識調査により、子ども・子育て支援や結婚支援等に対する満足度をはかる指標です。						
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
48.8 %	目標値	52.5	56.3	60.0	63.8	67.6	子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	48.0	43.7	44.0			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						0.0%	D

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	教育・保育の充実	事業費 (千円)	7,181	担当課	幼稚園・保育課 学校教育課
1	具体的な取組内容	①特色ある幼児教育・保育推進事業[6,566] 補助額：事業費の1/2(上限額～3年目:1,200千円、4年目～:300千円) 豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助する。また、プロジェクトを市内外に広くPRするため、SNSを利用してPR動画を広告配信するとともに、市内の子育て世帯へ配布するための広報誌を作成し、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげる。 ②外国語教育推進事業（「イングリッシュ・アップグレード・フクシマプラン」策定）[615] 幼児期から外国人とのふれあいを通して外国語に慣れ親しませる。さらに、全ての中学校区において英語教育の接続に関する研究を進める。 ○ALTを幼稚園・認定こども園へ年3回派遣し、英語使用を手段とした幼小交流活動の実施及び全中学校区における小・中学校英語接続を推進する。 ○デジタルコンテンツ「小学校英語SWITCH ON!」の活用を通して英語の音声と文字を関連付けた指導を行う。				
	取組成果	①特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する幼児教育・保育施設12施設・グループに対し、事業費等の支援を行った。また、YouTubeで首都圏や福島県の近県を対象にPR動画を広告配信し、204,079回の動画視聴回数となった。広報誌作成3,000部。 ②ALTによる幼稚園・認定こども園での交流活動により幼児が積極的に英語にかかわる様子が見られた。幼・小・中学校においての外国語学習の学びの連続性を実践することができた。デジタルコンテンツについて、各小学校へアンケートをとり、成果・課題を明らかにして、さらに有効な活用法について指導した。				
No	取組名	子育て環境の充実	事業費 (千円)	1,042,695	担当課	幼稚園・保育課 こども政策課
2	具体的な取組内容	①待機児童対策推進パッケージ [340,688] 待機児童ゼロとその維持に向けて、「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」の2本の柱で取り組む。 ○私立保育所・認定こども園整備支援 ○保育士するなら福島市!プロモーション ○輝け!保育人財活躍促進 等 ②放課後児童健全育成事業[702,007] 児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブへの運営支援の充実に取り組む。 ○設置数：94ヵ所（令和4年度：94ヵ所） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など				
	取組成果	①待機児童対策推進パッケージの取り組みにより、保育の受け皿の拡大や保育士の確保が図られたことで、4力年連続で4月1日現在の待機児童数ゼロを達成した。 ②放課後の子どもの居場所を提供するため、実情に応じた柔軟な受け入れ枠の拡大を行った。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①放課後児童クラブ多子世帯利用料補助事業[35,252]（こども政策課） ②産前・産後サポート事業[4,924]（こども家庭課） ③校舎等改築事業、学校施設リフレッシュ事業[3,090,916]（教育施設管理課） ④ICT教育フューチャービジョン推進事業[396,234]（教育研修課） ⑤結婚新生活支援事業[65,330]（定住交流課） ⑥こども家庭センター事業（児童福祉機能）[15,253]（こども家庭課） ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業（住宅政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。子育てに対する市民のニーズをしっかりと把握して、取り組んでいく必要がある。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
こども施策についての新たな計画を定めるため、令和6年度に実施したアンケートにより、子育てに対する市民ニーズを把握した。その結果を基に、子育て世代のニーズを捉えたきめ細やかな支援施策の充実を図る。 学校教育においては、外国語教育の校種間の連携をさらに深めてグローバルな人材育成に努めることで、こどもファーストのまちづくりに取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	こども家庭課、幼稚園・保育課、定住交流課、教育研修課、教育施設管理課
----------	-----	--------	-----	------------------------------------

成果指標	2. 合計特殊出生率
------	------------

1 成果指標の概要																													
関連する施策		【重点施策】 1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現																											
指標の説明		合計特殊出生率により、子育て支援施策の効果や子育て環境の充実度をはかる指標です。																											
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
1.35	目標値	1.42	1.49	1.56	1.63	1.70	子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現に向けた取り組みにより、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。																						
	実績値	1.26	1.24	1.15																									
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値 (平成30年)</td><td>1.35</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1.42</td><td>1.26</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1.49</td><td>1.24</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1.56</td><td>1.15</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1.63</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>1.70</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値 (平成30年)	1.35		令和3年度	1.42	1.26	令和4年度	1.49	1.24	令和5年度	1.56	1.15	令和6年度	1.63		令和7年度	1.70		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値 (平成30年)	1.35																												
令和3年度	1.42	1.26																											
令和4年度	1.49	1.24																											
令和5年度	1.56	1.15																											
令和6年度	1.63																												
令和7年度	1.70																												
							0.0%	D																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	結婚新生活支援事業	事業費 (千円)	65,330	担当課	定住交流課
1	具体的な 取組内容	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用（敷金・礼金・家賃等）及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約800件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円				
	取組成果	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しになった。 ○補助世帯数：374世帯（補助額：65,330千円） ○スタートアップ支援：145件（住宅購入・リフォーム費用：21件、賃貸初期費用：112件、引越費用：12件） ○家賃支援：291件				
No	取組名	妊娠・出産包括支援事業	事業費 (千円)	19,258	担当課	こども家庭課
2	具体的な 取組内容	①産前・産後サポート事業（ホームスタート事業） 妊婦や乳幼児のいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問し、傾聴（親の気持ちを受け止めて話を聴くこと）と協働（親と一緒に家事や育児、外出などをすること）を行い、親の心の安定と子育て意欲の向上を生み出すとともに、地域の子育て力の底上げを図る。 ②産後ケア事業 心身の不調や育児に不安を持つ産婦及び家族などから十分なサポートを受けられない産婦等に対し、医療機関等におけるショートステイ、デイケア及びアウトリーチにより産後の身体的回復と心理的な安定を図るとともに母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。				
	取組成果	①利用家庭数26件 延べ訪問件数145回 ホームビジター養成数4名 ②ショートステイ利用者数47人延べ利用者日数211日 デイケア利用者数65人 延べ利用日数145日 えがお赤ちゃん訪問（生後2か月までの乳児がいるすべての家庭を対象）1,295件 産婦およびその家族が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるようサポートをする体制を強化することができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①放課後児童健全育成事業[702,007]（こども政策課） ②こども家庭センター事業（母子保健機能）[12,227]（こども家庭課） ③待機児童対策推進パッケージ[340,688]（幼稚園・保育課）④ICT教育フューチャービジョン推進事業[396,234]（教育研修課） ⑤福島型給食推進事業[518,510]（こども政策課、幼稚園・保育課、教育施設管理課） ⑥出産・子育て応援給付金[137,187]（こども家庭課・こども政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。重要な指標であるが、市の取り組みだけでこの指標の向上を図ることは難しいことから、取り組みの効果を測る、よりよい指標の検討を望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
今後も、結婚から妊娠・出産、子育てまで、きめ細やかな支援を切れ目なく行い、若い世代が安心して子どもを生み育てることができる環境の充実を図る。 目標の達成は厳しい状況であるが、合計特殊出生率は少子化の現状を示す代表的なデータの一つであることから、維持向上を目指し関係施策を着実に推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	保健総務課、衛生課、観光交流推進室、農業振興課、環境課、環境再生推進課、公園緑地課、スポーツ振興課
----------	-----	-------	-----	---

成果指標

3.「福島市の復興が進んだ」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要

関連する施策		【重点施策】 2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進					
指標の説明		市民意識調査により、本市の復興の進捗状況や復興施策に対する満足度をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
58.3 %	目標値	60.6	63.0	65.4	67.8	70.2	復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	64.3	65.2	57.0			
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>58.3</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>60.6</td><td>64.3</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>63.0</td><td>65.2</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>65.4</td><td>57.0</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>67.8</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>70.2</td><td></td></tr></tbody></table>						年度	目標値	実績値	基準値	58.3		令和3年度	60.6	64.3	令和4年度	63.0	65.2	令和5年度	65.4	57.0	令和6年度	67.8		令和7年度	70.2		0.0%	D
年度	目標値	実績値																										
基準値	58.3																											
令和3年度	60.6	64.3																										
令和4年度	63.0	65.2																										
令和5年度	65.4	57.0																										
令和6年度	67.8																											
令和7年度	70.2																											

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	985,971	担当課	環境再生推進課
1	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消			
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR5実績 12箇所 ※R5までに全41箇所中35箇所の返還が完了 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR5実績 20件 ※R5までに全203件中39件を解消			
No	取組名	事業費 (千円)	50,883	担当課	保健総務課
2	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催			
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査、及びガラスバッジによる外部被ばく量測定の検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、96.1%の受講者から放射線への基本的な知識と健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 7,268件 ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 452件 ○放射線と市民の健康講座の開催 7回 516人			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

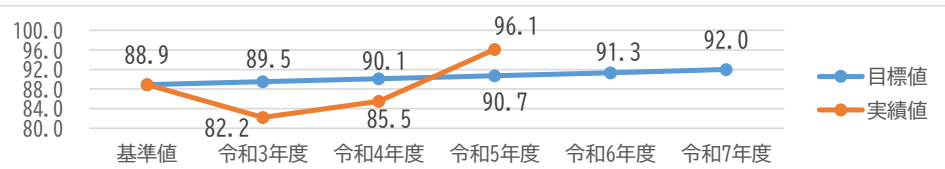
①環境放射線量測定事業[21,728]（環境課、公園緑地課） ②農産物・食品等放射能測定事業[69,786]（環境課、衛生課、農業振興課）
 ③福島駅前軽トラ市開催事業[6,981]（農業振興課） ④放射能マップ作成事業[10,436]（環境課）
 ⑤東北大学連携放射能測定事業[1,368]（環境課） ⑥道の駅ふくしま運営[36,813]（観光交流推進室）
 ⑦福島三名湯ブランディング事業[1,693]（観光交流推進室）⑧「ふくしまステイ。」プロモーション事業[12,100]（観光交流推進室）
 ⑨吾妻エリア観光推進事業[4,578]（観光交流推進室） ⑩ふくしまシティハーフマラソン[66,000]（スポーツ振興課）
 ⑪全早慶野球戦福島大会の開催[15,511]（文化振興課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き仮置場の原状回復と返還を進めるとともに、放射線に関する各種検査や出前講座等により、市民の健康不安の解消を図る。
また、市内の賑わいと活力の創造により、市民の復興の実感を高めながら、市内外へ本市の復興を発信し、風評払拭を推進する。

指標進捗管理担当		(主)	保健総務課		(副)	衛生課・健康づくり推進課、農業振興課、環境課、環境再生推進課、幼稚園・保育課、公園緑地課、教育施設管理課			
成果指標		4. 講座受講後の不安軽減率				★個別施策へ再掲			
1 成果指標の概要									
関連する施策		【重点施策】 2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進							
指標の説明		放射線に関する健康講座を受講した後の不安軽減率により、放射線に関する正しい知識の理解度をはかる指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
88.9	目標値		89.5	90.1	90.7	91.3	92.0	復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進により、不安軽減率が年0.5%程度増加することを目指します。	
	実績値		82.2	85.5	96.1				
	達成率		0.0%	0.0%	100.0%				
%			0.0%	0.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								100.0%	A
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み									
No	取組名	仮置場返還等推進事業				事業費 (千円)	985,971	担当課	環境再生推進室
1	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消							
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR5実績 12箇所 ※R5までに全41箇所中35箇所の返還が完了 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR5実績 20件 ※R5までに全203件中39件を解消							
No	取組名	放射線健康管理事業				事業費 (千円)	50,883	担当課	保健総務課
2	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催							
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査、及びガラスバッジによる外部被ばく量測定の検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、96.1%の受講者から放射線への基本的な知識と健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 7,268件 ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 452件 ○放射線と市民の健康講座の開催 7回 516人							
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）									
①放射性物質吸収抑制対策事業[22,853]（農業振興課） ②環境放射線量測定事業[21,728]（環境課、公園緑地課） ③放射能マップ作成事業[10,436]（環境課） ④東北大学連携放射能測定事業[1,368]（環境課） ⑤農産物・食品等放射能測定事業[69,786]（環境課、衛生課、農業振興課） ⑥給食まるごと検査事業[47,451]（幼稚園・保育課、教育施設管理課） ⑦一般健康診査対象者拡大事業[96]（健康づくり推進課）									
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価									
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。									
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性									
引き続き、国や県と連携しながら今後も着実に事業を実施することで、放射線の基本的な知識の理解と健康への不安軽減を推進する。									

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	長寿福祉課、河川課、下水道建設課、農林整備課、道路保全課
成果指標		5.「危機や災害に強く安心して暮らせるまちである」と答えた市民の割合		

1 成果指標の概要																												
関連する施策		【重点施策】 3. 災害対策の強化																										
指標の説明		市民意識調査により、災害対策に対する満足度をはかる指標です。																										
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
44.2 %	目標値	47.3	50.5	53.7	56.9	60.1	災害対策の強化により、市民満足度の向上を目指します。																					
	実績値	45.5	46.6	39.9																								
	達成率	41.9%	38.1%	0.0%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>44.2</td><td>47.3</td><td>50.5</td><td>53.7</td><td>56.9</td><td>60.1</td></tr><tr><td>実績値</td><td>44.2</td><td>45.5</td><td>46.6</td><td>39.9</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	44.2	47.3	50.5	53.7	56.9	60.1	実績値	44.2	45.5	46.6	39.9			
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	44.2	47.3	50.5	53.7	56.9	60.1																						
実績値	44.2	45.5	46.6	39.9																								
							達成率	評価																				
							0.0%	D																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	災害対策オペレーションシステムの運用	事業費 (千円)	67,943	担当課	危機管理室
1	具体的な 取組内容	迅速・確実な防災情報配信を行うため、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像などの情報を一元的に収集・表示するシステムの運用を開始する。 ○対象内容：(1)災害対策オペレーションシステム (2)Jアラート (3)現場映像伝送装置 (4)災害情報配信システム (5)河川水位予測システム導入 (6)独自雨量計の設置 (7)気象解析情報収集の多角化				
	取組成果	迅速・確実な防災情報配信を行うため、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像などの情報を一元的に収集・表示する災害対策オペレーションシステムを整備し、令和3年度から運用を開始した。 令和5年度は、市独自雨量計と河川水位予測システムを導入し、河川水位監視強化を図り、迅速な避難判断に繋がる情報収集に努めた。 また、急変する気象状況に対して、気象解析情報の提供を受けるなど情報収集の多角化を図った。				
No	取組名	河川強靱化事業	事業費 (千円)	357,145	担当課	河川課
2	具体的な 取組内容	頻発する豪雨や台風等による浸水の予防及び被害軽減のため、新たな5ヶ年で普通河川の整備を進める。 ○対象内容：(1)常襲箇所対策 (2)自治振要望				
	取組成果	頻発する豪雨や台風等による浸水の予防及び被害軽減のため、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市管理河川の改修を実施した。 普通河川 小舟入川 ほか19河川 改修延長 L=1,239.3m				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み
※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①ポンプ場等耐水化事業[15,215]（下水道建設課） ②避難行動要支援者支援事業[20,837]（長寿福祉課ほか）
③避難所対策[8,135]（危機管理室） ④河川災害対策事業[3,412]（河川課）
⑤洪水・土砂・内水ハザードマップ活用[10,599]（河川課・下水道建設課） ⑥地域防災力強化事業[4,512]（危機管理室）
⑦田んぼダム[2,195]（農林整備課）⑧除雪力強化パッケージ[4,636]（道路保全課）
⑨ふくしま防災体験フェア[985]（危機管理室）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
「防災講話」や「ぼうさい体験パッケージ」の実施のほか、各地区で進めている地区防災計画の作成を通じて、市民・地域の防災意識醸成に努めるとともに「防災訓練」や「ふくしま防災体験フェア」の開催を機会に国・県とも連携しながら、災害対策などの強化の取組内容の情報発信に努める。加えて、河川改修のほか、洪水調整施設の新設や機能強化を図るハード整備も引き続き進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課
----------	-----	-------	-----	--------------

成果指標	6. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数	★個別施策へ再掲
------	-----------------------	----------

1 成果指標の概要

関連する施策	【重点施策】 3. 災害対策の強化
--------	----------------------

指標の説明	地区防災マップ・防災計画を策定している地区数により、市民防災力の充実度をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0	目標値	2	4	6	8	10	災害対策の強化により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を10地区目指します。
	実績値	1	3	7			
	達成率	50.0%	75.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価
		100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	地域防災力強化事業	4,512	危機管理室
	具体的な取組内容 地域コミュニティの強化と災害に強いまちづくりを推進するため、地域の実態に応じた地区防災マップや地区防災計画の作成を支援する。 ○実施内容：(1)防災専門家による防災講話の実施 (2)防災ワークショップの開催 (3)地区防災マップ・地区防災計画の作成支援 ○対象地区：(1)防災マップ：清明学区、小倉寺地区、湯野地区、土船地区、瀬上地区 (2)防災計画：清明学区、渡利地区、吉井田地区、上鳥渡地区		
	取組成果 地域住民が主体となり、地区の防災マップや防災計画を作成することで、自助・共助の意識の醸成や地域防災力の強化に寄与するとともに、「自らの地域は自分たちが守る」という住民意識の向上につながった。		
2	避難行動要支援者支援事業	20,837	長寿福祉課、障がい福祉課 危機管理室
	具体的な取組内容 災害時における要支援者の避難に備え、福祉専門職や地域の協力を得ながら、個別避難支援プランの作成を進める。避難行動要支援者の登録台帳を整備するとともに、新規登録勧奨を進める。 ○実施内容：(1)福祉専門職による個別避難支援プランの作成業務委託 (2)地域による個別避難支援プランの作成支援 (3)福祉避難所の追加指定		
	取組成果 ○避難行動要支援者名簿登録者数：12,253人 (R5.12.15時点) ○個別避難支援プラン作成数 (R5年度末時点) ・目標数3,801件 (浸水想定区域内) に対し、作成済み404件 ○福祉避難所 (障がい者関係) 新規避難所確保のため、事業所に対し周知啓発を行い、1事業所と協定締結 (R5末現在：12法人21事業所)		

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額 (単位：千円)

①災害対策オペレーションシステムの運用 [67,943] (危機管理室)	②障がい者に配慮した災害時支援事業 [0] (障がい福祉課)
③自主防災組織育成事業 [543] (危機管理室)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成しているが、すべての地区が策定することを考えると、目標の設定を上げて策定ペースを早める必要がある。

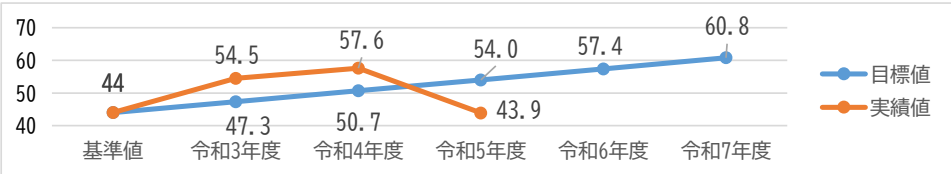
また、住民の自主的な計画策定が進むよう行政の手助け、橋渡しを戦略的に進める必要がある。

なお、要支援者の個別避難支援プランの作成も加速が望まれる。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地区防災計画の策定については、過去の災害で浸水した地域を優先的に支援を行っており、今後も地区の意向を踏まえ、自主的な作成を促すとともに、支援を継続し、計画策定の推進に努めてまいります。

また、個別避難支援プランについても地域作成と福祉専門職への業務委託を進め、進捗を上げてまいります。

指標進捗管理担当		(主)	保健総務課		(副)	健康づくり推進課、感染症・疾病対策課		
成果指標		7.「健康づくりや医療体制が充実したまちである」と答えた市民の割合						
1 成果指標の概要								
関連する施策		【重点施策】 4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進						
指標の説明		市民意識調査により、健康・医療体制に対する満足度をはかる指標です。						
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
44.0	目標値	47.3	50.7	54.0	57.4	60.8	安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進により、市民満足度の向上を目指します。	
	実績値	54.5	57.6	43.9				
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%				
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価
							0.0%	D
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み								
No	取組名	地域医療確保対策費		事業費 (千円)	302,078	担当課	保健総務課	
1	具体的な取組内容	市民医療体制の確保と、地域医療の充実強化を図るため、市内救急告示病院等で、夜間、土・日・祝日及び年末年始の日中における二次救急医療体制を確保するための費用を補助する。また、医師・看護師の確保対策を行う。 ○事業内容：(1)地域医療対策協議会運営事業 (2)医師・看護師確保事業 (3)救急医療病院群輪番体制強化事業 (4)福島県立医科大学との連携（寄附講座） (5)救急安心センター事業[#7119救急電話相談]						
	取組成果	①医師・看護師確保事業、救急医療病院群輪番体制強化事業、休日小児科体制強化について協議[10月開催] ②臨床研修充実と募集研修医のマッチングを図る「NOWプロジェクト」事業への補助[全3回セミナー実施、ICLS研修は全4回61名参加、レジナビ合同説明会2回参加] ③二次救急医療病院群輪番制により24時間365日受入れ体制を整備[輪番時間帯の救急搬送受入れ実績：10,693件] ④県立医大の地域救急医療支援講座と連携し、二次救急病院への実施研修等により救急体制強化[63,000千円] ⑤24時間365日の救急電話相談体制[市民利用者数4,432人※県内1位]						
No	取組名	健都ふくしまの創造		事業費 (千円)	15,416	担当課	健康づくり推進課	
2	具体的な取組内容	「健都ふくしま」の実現を目指し、「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」、「地域の健康づくり」、「職場の健康づくり」の3本柱による市民総ぐるみの健康づくりを推進する。 ○事業内容：(1)ふくしまし健康づくりプラン推進 (2)受動喫煙防止対策 (3)「適しお」の推進（食環境整備） (4)健都ふくしま創造市民会議 (5)歯と口腔の健康づくり推進 (6)地域の健康づくり (7)職場の健康づくり (8)生活習慣病重症化予防対策事業						
	取組成果	①「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」では、効果的な健康づくりについて各種推進委員会で協議しながら、各団体代表者や市民との連携・協働による健康づくり・環境づくりを進めた。②「地域の健康づくり」では、地域特性に応じ、地域の健康課題の学習会や、健康づくりを推進する組織などに対して市民の主体的な健康づくり活動の支援を行った。③「職場の健康づくり」では、推進委員会の開催等により就労者が健康で長く働き続けるため、職場の健康診断受診率向上に向けた取り組みや健康経営を通じた健康づくりの推進を行った。						
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）								
①休日在宅当番医制運営事業[5,736]（保健総務課） ②救急医療病院群輪番制運営費補助金[120,068]（保健総務課） ③若年がん患者終末期在宅療養支援事業[32]（保健総務課） ④夜間急病診療所運営事業[218,758]（保健総務課） ⑤休日救急歯科診療所運営事業[28,118]（保健総務課） ⑥子どもの医療確保対策事業[2,709]（保健総務課）								
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価								
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。								
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性								
令和5年度は小児科の休日当番の空白日等が発生したことから、子育て世帯等からの評価が低かったのではないかと分析する。小児科については、子どもの医療確保対策事業を重点的に展開し、小児科診療所も令和6年度2カ所、令和7年度2カ所新規開設される予定であり、確実に体制強化につなげていく。 また、「ふくしまし健康づくりプラン2024」に基づき、ICT活用や健脚文化などを健康なまちづくりにつなげる新たな取り組みをととして、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりを支援していく。								

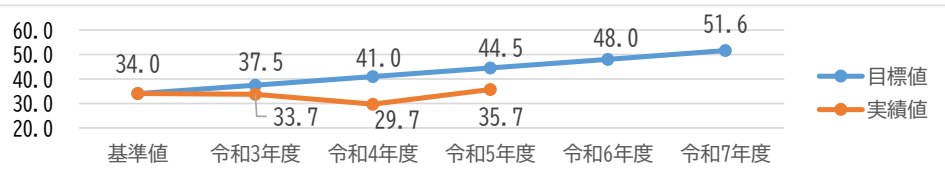
指標進捗管理担当	(主)	共生社会推進課	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課、交通政策課
----------	-----	---------	-----	--------------------

成果指標

8.「高齢者や障がいのある人、子ども連れの人などが外出する際、周りの人の理解や手助けがある」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【重点施策】 4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進					
指標の 説明		市民意識調査により、高齢者や障がい者などへの福祉に対する満足度をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
34.0 %	目標値	37.5	41.0	44.5	48.0	51.6	安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な 推進により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	33.7	29.7	35.7			
	達成率	0.0%	0.0%	16.2%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
 <table><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>34.0</td><td>37.5</td><td>41.0</td><td>44.5</td><td>48.0</td><td>51.6</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>33.7</td><td>29.7</td><td>35.7</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	34.0	37.5	41.0	44.5	48.0	51.6	実績値		33.7	29.7	35.7			16.2%	D
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	34.0	37.5	41.0	44.5	48.0	51.6																						
実績値		33.7	29.7	35.7																								

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	479,736	担当課	長寿福祉課
1	地域包括ケアシステムの推進	市民が高齢期を安心して過ごせるよう、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22カ所)を運営する。また、認知症高齢者やその家族を支えるために認知症地域支援推進員を、地域で高齢者の生活を支える体制づくりのため地域支援推進員を各センターに配置する。			
	取組成果	○高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22カ所)を運営し、高齢期の市民の安心につながった。 ○認知症地域支援推進員および地域支援推進員を全包括(22カ所)に配置したことにより認知症高齢者等や家族を支える体制、地域支援推進体制の推進が図られた。			
No	取組名	事業費 (千円)	3,865	担当課	共生社会推進課
2	バリアフリー推進事業	○障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面に加え「心のバリアフリー」の普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による「心のバリアフリー」推進隊による啓発活動を実施する。			
	取組成果	講演会や出前講座の開催により、市民への心のバリアフリーに対する理解促進を図った。 ○バリアフリー推進パートナーミーティングの開催(10/2開催、会場:ホテル福島グリーンパレス、参加者数:55名(45団体)) ○心のバリアフリー市民講演会の開催(2/16開催、会場:とうほうみんなの文化センター、参加者数112名) ○心のバリアフリー出前講座の開催(開催回数44回、受講者数2,216名) ○心のバリアフリー推進隊活動(ミーティング5回、啓発活動等6回)			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①いきいきももりん体操・お口のももりん体操[583](長寿福祉課) ②路線バス等高齢者利用促進事業[163,537](交通政策課)
③地域生活支援拠点等整備事業[8,696](障がい福祉課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

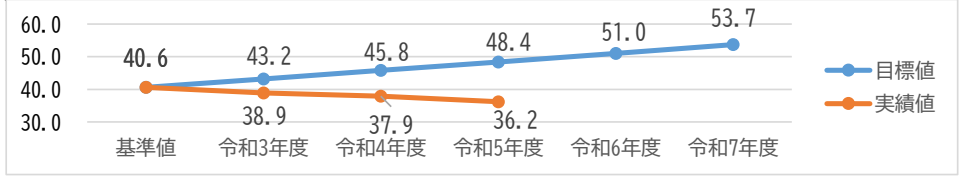
新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う行動制限緩和を受け、地域の見守りなどの活動が再開したことにより、実績値は上昇しているが地域で支え合う意識や心のバリアフリーの理解促進は、十分とは言えない状況である。
今後は、地域包括支援センター活動を継続するとともに心のバリアフリーの理解促進に取り組んでいく。

指標進捗管理担当		(主)	健康づくり推進課		(副)	長寿福祉課、スポーツ振興課																																						
成果指標		9. お達者度(65歳健康寿命)				★個別施策へ再掲																																						
1 成果指標の概要																																												
関連する施策		【重点施策】 4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進																																										
指標の説明		65歳における健康寿命により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。																																										
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																																				
①(男性) 17.52		目標値	①17.60	①17.68	①17.76	①17.84	①17.92	安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進により、健康寿命の延伸を目指します。																																				
②(女性) 20.58		実績値	②20.65	②20.72	②20.79	②20.86	②20.94																																					
		達成率	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%																																							
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価																																			
<table><caption>実績値推移表</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値(男性)</td><td>17.52</td><td>17.60</td><td>17.68</td><td>17.76</td><td>17.84</td><td>17.92</td></tr><tr><td>実績値(男性)</td><td>17.52</td><td>18.46</td><td>18.46</td><td>18.46</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値(女性)</td><td>20.58</td><td>20.65</td><td>20.72</td><td>20.79</td><td>20.86</td><td>20.94</td></tr><tr><td>実績値(女性)</td><td>20.58</td><td>21.24</td><td>21.24</td><td>21.24</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>								項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(男性)	17.52	17.60	17.68	17.76	17.84	17.92	実績値(男性)	17.52	18.46	18.46	18.46			目標値(女性)	20.58	20.65	20.72	20.79	20.86	20.94	実績値(女性)	20.58	21.24	21.24	21.24			①100.0% ②100.0%	A
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																						
目標値(男性)	17.52	17.60	17.68	17.76	17.84	17.92																																						
実績値(男性)	17.52	18.46	18.46	18.46																																								
目標値(女性)	20.58	20.65	20.72	20.79	20.86	20.94																																						
実績値(女性)	20.58	21.24	21.24	21.24																																								
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み																																												
No	取組名	健都ふくしまの創造（地域の健康づくり）			事業費 (千円)	2,127	担当課	健康づくり推進課																																				
1	具体的な取組内容	住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の特性に応じた市民の主体的な健康づくり活動を支援し、市民総ぐるみの健康づくりを推進する。 ○取組内容：①生活習慣病等の地域の健康課題解決に向けた学習会や取組の実施 ②地区組織や団体関係機関とのネットワークづくり ③地域の健康づくり推進組織の活動や立ち上げへの支援																																										
	取組成果	感染対策も継続し、住民や組織と共に、コロナ禍で顕在化した地域の健康課題解決を考える学習会や話し合いの場を開催し、地域へ生活習慣病予防の取組、健康情報の普及啓発を行った。その結果、個人の健康づくりに留まらない地域全体での健康づくりの取組や人と人とのつながりに広がり、安心して暮らせる地域づくりに繋がっている。 ○取組実績：(1)健康づくりに関する健康教育 149回 延べ4,027人 (2)地域の健康づくり推進組織への活動支援・その他の地区組織との連携																																										
No	取組名	国民健康保険特定健康診査等事業			事業費 (千円)	236,980	担当課	健康づくり推進課																																				
2	具体的な取組内容	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1)特定健診・保健指導事業 (2)特定健康診査未受診者等対策 (3)糖尿病重症化予防事業 (4)高齢者のフレイル対策など																																										
	取組成果	特定健診を実施し、特定保健指導に該当した者に対し特定保健指導を実施した。また、特定保健指導の未利用者に対し電話による利用勧奨を実施し、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者17,306人 受診率42.3% (速報値) ※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 206人 受診率14.3% (速報値) ※データヘルス計画目標値 45%																																										
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）																																												
①健康づくり推進事業[2,147]（健康づくり推進課） ②受動喫煙防止対策[5,735]（健康づくり推進課） ③「適しお」の推進（食環境整備）[2,919]（健康づくり推進課） ④歯と口腔の健康づくり推進[452]（健康づくり推進課） ⑤健都ふくしま創造市民会議[105]（健康づくり推進課） ⑥職場の健康づくり[200]（健康づくり推進課） ⑦いきいきももりん体操・お口のももりん体操[583]（長寿福祉課） ⑧パラスポーツ振興事業[1,023]（スポーツ振興課）																																												
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価																																												
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。																																												
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性																																												
今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていく。																																												

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	観光交流推進室、交通政策課
----------	-----	-------	-----	---------------

成果指標

10.「福島らしい文化芸術で自信を持って紹介できるものがある」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要									
関連する施策		【重点施策】 5. 豊かな文化芸術の振興と発信							
指標の説明		市民意識調査により、福島らしい文化芸術に対する満足度をはかる指標です。							
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠		
40.6	目標値	43.2	45.8	48.4	51.0	53.7	豊かな文化芸術の振興と発信により、市民満足度の向上を目指します。		
	実績値	38.9	37.9	36.2					
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%					
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価	
							0.0%	D	
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み									
No	取組名	古閑裕而を活かしたまちづくり事業			事業費 (千円)	38,520	担当課	文化振興課	
1	具体的な取組内容	古閑裕而氏と古閑メロディーを活用し、野球殿堂入り記念イベントの開催や街なかで古閑メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古閑氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○全早慶野球戦福島大会：古閑裕而氏の野球殿堂入りを記念し開催。古閑氏が作曲した両校応援歌で、応援合戦を繰り上げ、会場一体となって殿堂入りをたたえとともに、市内外に古閑裕而のまちづくりを発信した。 ○古閑裕而記念音楽祭2023：古閑メロディーと氏の功績を継承する、5年ぶりの市民参加型音楽祭を開催した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ活動支援：福島ゆかりのプロの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古閑裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしままちなか音楽祭2023：まちなかで特色を活かした5つのステージを設け、古閑メロディーのほか様々な音楽を楽しむイベントを初開催。発表の場と鑑賞の機会を創出し、まちなかのにぎわいづくりに寄与した。							
	取組成果	全早慶野球戦福島大会では、応援合戦により市内外に古閑裕而のまちづくりを発信したほか、殿堂入り関連展示、メロディーバスによる古閑メロディーの放送などを行い、古閑氏のさらなる認知度アップと功績継承へとつながった。また、初開催となったふくしままちなか音楽祭2023には多数の来場者があり、まちなかのにぎわい創出につながった。その他、古閑氏と音楽を活かした各種施策を行い、福島らしい芸術文化の発信に寄与した。							
No	取組名	「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業			事業費 (千円)	4,397	担当課	文化振興課	
2	具体的な取組内容	市内文化施設における既存事業との連携強化を図りながら、本来の用途とは異なる利用方法、いわゆるユニークバニユーを展開することで、新たに文化や歴史に触れる機会を創出するとともに、本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信することにより、市民のふるさとへの愛着・誇りを醸成し、次世代へと継承していく取組を進めた。							
	取組成果	市内文化施設（じょーもびあ宮畑、民家園、写真美術館、音楽堂）において、有名俳優・歌手とのトークイベントやプロジェクションマッピング投影など、多彩なユニークバニユーを実施することで、多くの来場者が「福島らしい文化」に触れる機会となった。 また、Instagramにおいて「福島らしい文化」を発信し、次世代を担う若い年齢層へのアプローチを図った。							
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）									
①市文化振興計画策定事業[102]（文化振興課） ②エールレガシー事業[21,991]（観光交流推進室） ③古閑裕而メロディーバス運行事業[14,959]（交通政策課） ④しゃがむ土偶ドキドキ事業[2,240]（文化振興課） ⑤ふくしま文化芸術振興事業[27,390]（文化振興課） ⑥じょーもびあ宮畑活用推進事業[6,746]（文化振興課） ⑦旧広瀬座活用事業[37,282]（文化振興課）									
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価									
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。									
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性									
現在、文化振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和7年度から5年間を計画期間とする文化振興計画を策定中である。 本計画は、文化振興条例（令和5年1月施行）第8条に基づき新たに策定するものであり、総合計画の個別計画に位置づけられるものである。今後は、計画に基づき、福島らしい文化芸術の振興と発信に努め、市民満足度の向上を目指していく。									

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	
成果指標	11. 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数			★個別施策へ再掲

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【重点施策】 5. 豊かな文化芸術の振興と発信																												
指標の 説明	市内主要文化施設の市民一人あたりの利用回数により、市民が文化芸術活動に触れ、親しんでいる状況をはかる指標です。 ※本市主要文化施設 音楽堂、草心苑、写真美術館、福島テルサ、アオウゼ、古閑裕而記念館																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
3.0 回	目標値	—	3.02	3.03	3.04	3.06	豊かな文化芸術の振興と発信により、5年間で2%の利用回数の増加を目指します。																						
	実績値	—	2.55	2.90																									
	達成率	—	0.0%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>3.0</td><td>3.02</td><td>3.03</td><td>3.04</td><td>3.06</td><td></td></tr><tr><td>実績値</td><td>3.0</td><td>2.55</td><td>2.90</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	3.0	3.02	3.03	3.04	3.06		実績値	3.0	2.55	2.90				0.0%	D
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	3.0	3.02	3.03	3.04	3.06																								
実績値	3.0	2.55	2.90																										

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

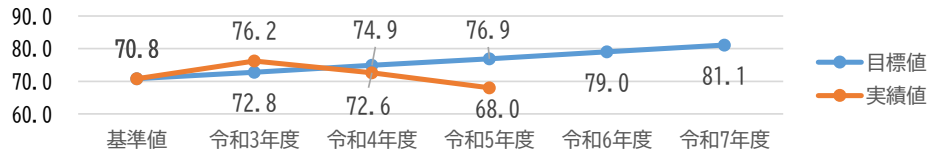
No	取組名	「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業	事業費 (千円)	4,397	担当課	文化振興課
1	具体的な 取組内容	市内文化施設における既存事業との連携強化を図りながら、本来の用途とは異なる利用方法、いわゆるユニークバニユーを展開することで、新たに文化や歴史に触れる機会を創出するとともに、本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信することにより、市民のふるさとへの愛着・誇りを醸成し、次世代へと継承していく取組を進めた。				
	取組成果	市内文化施設（じょーもびあ宮畑、民家園、写真美術館、音楽堂）において、有名俳優・歌手とのトークイベントやプロジェクションマッピング投影など、多彩なユニークバニユーを実施することで、多くの来場者が「福島らしい文化」に触れる機会となった。 また、Instagramにおいて「福島らしい文化」を発信し、次世代を担う若い年齢層へのアプローチを図った。				
No	取組名	主要文化施設管理運営事業	事業費 (千円)	617,620	担当課	文化振興課
2	具体的な 取組内容	本市主要文化施設の適切な維持管理を図るとともに、施設の指定管理者制度を活かし、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応した、文化芸術に親しむ機会を提供し、本市の文化振興につなげた。				
	取組成果	新型コロナウイルスの5類移行に伴い各種イベント等や貸館事業が通常通り実施可能となったことで、各施設の利用が対前年比で1.2倍に増加し、市民に文化芸術に親しむ機会を提供することができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①市文化振興計画策定事業[102]（文化振興課）	②古閑裕而を活かしたまちづくり事業[37,986]（文化振興課）
③ふくしま文化芸術振興事業[27,390]（文化振興課）	④しゃがむ土偶ドキドキ事業[2,240]（文化振興課）
⑤じょーもびあ宮畑活用推進事業[6,746]（文化振興課）	⑥旧広瀬座再整備事業[37,282]（文化振興課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数という指標にこだわらず、文化振興の度合いを測るよりふさわしい指標の設定が望まれる。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
目標達成には至らなかったものの、コロナ禍による年間利用回数の減少から回復傾向にあることから、引き続き市民が文化芸術活動に触れる機会を積極的に提供し、各施設の年間利用回数の増加に努めていく。 文化振興の度合いを測るよりふさわしい指標の設定については、どのような指標がふさわしいか引き続き検討していく。

指標進捗管理担当	(主)	環境課	(副)	ごみ減量推進課、環境施設整備室、管財課、農業振興課、農林整備課、道路保全課、下水道総務課
成果指標		12.「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合		

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築						
指標の説明	市民意識調査により、地球温暖化対策や環境保全等に対する満足度をはかる指標です。						
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
70.8 %	目標値	72.8	74.9	76.9	79.0	81.1	脱炭素社会の実現と循環型社会の構築への取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	76.2	72.6	68.0			
	達成率	100.0%	43.9%	0.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						0.0%	D

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	脱炭素住宅整備事業	事業費 (千円)	35,885	担当課	環境課
1	具体的な 取組内容	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備（V2H）、④ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円（上限100,000円） ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3（上限20,000円） ※いずれも助成対象経費以内				
	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム（計2,261kW）や蓄電池の設置により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数：①367件（14,680千円） ②254件（19,110千円） ③4件（400千円） ④140件（1,400千円） ⑤16件（295千円）				
No	取組名	ごみ減量化促進対策事業	事業費 (千円)	12,227	担当課	ごみ減量推進課
2	具体的な 取組内容	家庭から出る可燃ごみの8割を占める「生ごみ、紙類、草枝類」の減量化・資源化促進に関する事業、集団資源回収報奨金制度、事業者と連携した3R&食品ロス削減の推進等を通じ、ごみの減量化・資源化を図る。 ○対象内容：①ダンボールコンポスト購入費助成事業、②生ごみ処理容器購入費助成事業、③食品ロス削減事業、 ④使用済みはがき回収事業、⑤家庭用剪定枝破砕機貸与事業、⑥ごみ分別アプリの普及促進、 ⑦集団資源回収報奨金制度、⑧3R&食品ロス削減推進協力事業所・店舗認定制度、⑨古着等の臨時回収等				
	取組成果	可燃ごみの約4割を占める生ごみ削減を目的に生ごみ処理容器購入費助成（146件1,612千円）を引き続き行ったほか、食品ロス削減マイスターを認定しエコレシピ開発やエコッキング動画作成により食品ロス削減の周知に取り組んだ。また、家庭用剪定枝破砕機貸与事業（貸与76件）による枝類のたい肥化や、古着等の臨時回収によるリユース・リサイクルの推進に取り組んだ。これらにより、着実に生活系ごみ排出量の削減につなげることができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①脱炭素生活スタイル普及啓発事業[1,992]（環境課） ③環境に配慮した公用車の配置[21,876]（管財課） ⑤森林環境整備事業[81,319]（農林整備課） ⑦環境保全型農業直接支払交付金事業[3,297]（農業振興課） ⑧あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業[129,147]（環境施設整備室）	②ふくしま環境フェスタ開催事業[1,162]（環境課） ④街路灯・道路照明灯LED化推進事業[117,791]（道路保全課） ⑥浄化槽設置・撤去・宅内配管工事の補助[56,566]（下水道総務課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
近年、猛暑日の増加、降雪量の減少や集中豪雨の発生など気候変動の影響はより身近に感じられるようになり、市民の地球温暖化対策への関心は高まっていると推察される一方、メディア等で報じられる激甚化・頻発化する台風・豪雨による洪水災害の状況などから地球温暖化対策としての効果は実感しにくく、成果指標は相対的に低下したものと捉えている。 当該施策の達成には、市民一人ひとりの主体的な取り組みが重要である。CO2発生抑制のための省エネルギー化・再生可能エネルギーの利用推進や生活系ごみのうち約4割を占める「生ごみ」に焦点をあてた新たな取り組みとして、生ごみ消滅型の「キエーロ」の普及を行いごみの焼却処分量を減らすなど、啓発活動やポータルサイトを活用するなど情報発信に努める。

指標進捗管理担当	(主)	環境課	(副)	管財課、道路保全課、産業雇用政策課
成果指標		13. 温室効果ガス実質排出量		★個別施策へ再掲

1 成果指標の概要

関連する施策	【重点施策】 6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築					
指標の説明	温室効果ガスの実質排出量により、地球温暖化対策等の充実度をはかる指標です。					
基準値 (平成29年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,149 千t-CO2	目標値 (令和元年度)	2,071	1,994	1,812	1,730	1,648
	実績値 (令和元年度)	2,006	1,894	1,881		
	達成率	100.0%	100.0%	79.5%		
【成果指標の実績値推移】						目標値の根拠
						脱炭素社会の実現と循環型社会の構築への取り組みにより、温室効果ガス排出量実質ゼロとなる社会の達成を目指します。
						達成率
						79.5%
						評価
						C

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	35,885	担当課	環境課
1	脱炭素住宅整備事業				
	具体的な取組内容 家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備（V2H）、④ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円（上限100,000円） ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3（上限20,000円） ※いずれも助成対象経費以内				
2	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム（計2,261kW）や蓄電池の設置により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数：①367件（14,680千円） ②254件（19,110千円） ③4件（400千円） ④140件（1,400千円） ⑤16件（295千円）			
	取組成果				
No	取組名	事業費 (千円)	117,791	担当課	道路保全課
2	街路灯・道路照明灯LED化推進事業				
	省エネルギー化を推進するため、既存の街路灯及び照明灯をLEDに転換する。 ○対象内容 街路灯約1,300灯切替/年、道路照明灯約430灯切替/年 ○対象進捗 街路灯：LED灯14,514灯/総数19,429灯（令和5年度末）⇒LED化率74.7% 道路照明灯：LED灯476灯/総数3,068灯（令和5年度末）⇒LED化率15.5%				
2	取組成果	温室効果ガスの排出量削減のため、平成24年度から令和5年度まで街路灯14,514灯、道路照明灯476灯を蛍光灯及び水銀灯等からLED灯へ切り換えを行った。令和5年度の実績について、街路灯1,287灯、道路照明灯356灯のLED灯へ切り換えを街路灯・道路照明灯LED化推進事業により行った。			
	取組成果				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①環境に配慮した公用車の配備[21,876]（管財課）	②水素社会実現推進事業[1,999]（環境課）
③ふくしま環境フェスタ開催事業[1,162]（環境課）	④次世代エネルギーパーク推進事業[188]（環境課）
⑤再生可能エネルギー導入促進事業[1,923]（環境課）	⑥脱炭素生活スタイル普及啓発事業[1,992]（環境課）
⑦中小企業ゼロカーボン資金融資[500,000]（産業雇用政策課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

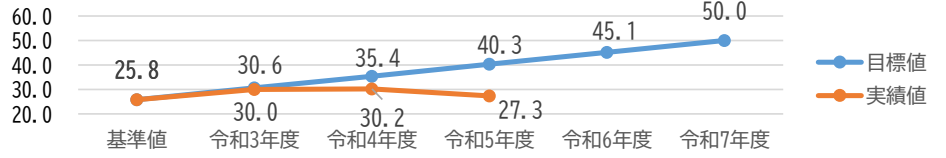
令和5年8月に温室効果ガス実質排出量の削減目標を引き上げた福島市脱炭素社会実現実行計画に基づき、市民・事業者・行政等など各主体の省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用を推進するため、脱炭素につながる啓発活動や必要な支援に取り組む。
--

指標進捗管理担当	(主)	産業雇用政策課	(副)	観光交流推進室、にぎわい商業課、企業振興課、農業企画課、農業振興課
----------	-----	---------	-----	-----------------------------------

成果指標

14.「農業や商業、工業などの産業が活力あふれるまちである」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要

関連する施策	【重点施策】 7.「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現					
指標の説明	市民意識調査により、農業や商業、工業の活性化等に対する満足度をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
25.8 %	目標値	30.6	35.4	40.3	45.1	50.0
	実績値	30.0	30.2	27.3		
	達成率	87.5%	45.8%	10.3%		
【成果指標の実績値推移】						目標値の根拠
						「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現への取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
						達成率
						10.3%
						評価
						D

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	10,345	担当課	観光交流推進室
1	具体的な取組内容	スイーツ・プレミアム事業 本市のイメージと市産農産物の附加価値向上、地域経済の活性化を図るため、本市農産物等を使用したスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランディングする。 ○ふくしまスイーツ・プレミアム認証委員会による認証品の選定 ○ふくしまスイーツ・プレミアム認証品PR事業			
	取組成果	○認証品の選定 7商品（合計36商品） ○首都圏主要駅1箇所、市内2箇所で開催された特別販売会を開催した。特別販売会では、開催に合わせてSNSを活用した情報を発信することにより誘客促進を図った。その他、インフルエンサーを活用したPR動画4本を制作して配信することにより認知の拡大を図ることができた。（4本合計で約32万回再生）			
No	取組名	事業費 (千円)	72,264	担当課	にぎわい商業課
2	具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により増加している空き店舗の解消や雇用の場の確保、賑わいを創出するため、中心市街地の空き店舗へ出店する事業者に対し、補助要件を緩和して、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか			
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度に引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。結果として、新規補助件数は前年度の32件から48件（うち市独自の補助43件）に増加した。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①福島大学食農学類連携事業[2,255]（農業企画課）	②ふくしまの農産物魅力アップ事業[2,926]（農業振興課）
③福島駅前軽トラ市開催事業[6,981]（農業振興課）	④地域6次産業化推進事業[2,829]（農業振興課）
⑤産学連携推進事業[10,585]（産業雇用政策課）	⑥新事業創出支援事業[2,186]（産業雇用政策課）
⑦食品加工産業創出事業[3,033]（産業雇用政策課）	⑧医産連携推進事業[11,815]（産業雇用政策課）
⑨第2期福島おおぞうインター工業団地整備事業[1,710,874]（企業振興課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

企業や生産者などの取り組みが活発になり、産業の活性化等に対する市民満足度の向上につながるよう、新製品・新技術開発の応援や新規出店・新規創業への支援などを引き続き推進するとともに、企業誘致の取り組みや中心市街地の賑わい創出、市農産物の流通促進など複合的に施策を展開し、将来にわたり持続可能な産業振興を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	農業振興課、農林整備課、観光交流推進室
成果指標	15. 農業産出額 ★個別施策へ再掲			

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 7.「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現						
指標の説明	農業生産の実態を示す金額（産出額）により、農業の振興の状況をはかる指標です。						
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
174 億円	目標値	177	180	183	186	190	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現に向けた取り組みにより、190億円の農業産出額を目指します。
	実績値	178	189	181			
	達成率	100.0%	100.0%	77.8%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
The graph shows the trend of agricultural production from the base value to the target and actual values for the 7th fiscal year. The x-axis represents the fiscal year (from base value to Heisei 30 to Heisei 27), and the y-axis represents the amount in billions of yen (from 160 to 200). The blue line represents the target value, and the orange line represents the actual value. The target value starts at 174 in the base year, increases to 177 in Heisei 30, 180 in Heisei 31, 183 in Heisei 32, 186 in Heisei 33, and 190 in Heisei 34. The actual value starts at 174 in the base year, increases to 178 in Heisei 30, 189 in Heisei 31, and 181 in Heisei 32. The achievement rate is 77.8%.						77.8%	C

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	あぐりっしゅサポートパッケージ	事業費 (千円)	77,436	担当課	農業企画課
1	具体的な 取組内容	新規就農を推進するため、相談・体験・研修・営農・定着に至る各ステップで、総合的に支援する。 ○あぐりっしゅサポート事業（農業体験支援事業、農業経営開始支援事業、農業メンター事業、農業用機械等導入支援事業、農地流動化支援事業(新規就農者対象)） ○新規就農者育成総合対策事業（新たに独立して農業経営を行う農業者に対し、資金を交付）				
	取組成果	就農希望者に対し相談業務を実施するとともに、各ステップにおける支援事業を案内することにより、事業活用の促進及び新規就農者数の増加につながった。また、営農を開始した農業者に対し、メンターのあっせんや資金面での支援を行うことにより、新規就農者の確保と定着を図った。 ○農業経営開始支援事業 16件 5,950千円 ○農業次世代人材育成事業 8件 10,516千円 ○経営開始資金（経営開始支援資金）16件 21,750千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業）7件 36,715千円				
No	取組名	農用地集積・集約の取り組み	事業費 (千円)	5,363	担当課	農業企画課
2	具体的な 取組内容	担い手の農業経営規模の拡大と安定化を図り、農用地の有効活用を図るため、担い手への農地集積・集約化を支援する。 ○農地中間管理事業 ○農地流動化支援事業（新たに農地を取得、または賃借した農業者へ支援金を交付）				
	取組成果	担い手への農地の集積・集約化等を加速化させ、農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化を促進した。 新規就農者や10a以上農地を集約した農業者に支援金を交付することで、担い手の安定的な農業経営の発展を支援し、農業者の経営規模拡大や新規就農者の確保を促進した。 ○農用地利用集積面積 1,346ha				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①鳥獣被害対策事業[40,874]（農業企画課） ②スマート農業推進事業[17]（農業企画課） ③農業経営安定化事業[3,806]（農業振興課） ④気候変動対応型農業支援事業[4,429]（農業振興課） ⑤地域6次産業化推進事業[2,829]（農業振興課） ⑥ふくしまの農産物魅力アップ事業[2,926]（農業振興課） ⑦スイーツ・プレミアム事業[10,345]（観光交流推進室） ⑧農道・水路・ため池等の整備[365,605]（農林整備課） ⑨福島駅前軽トラ市開催事業[6,981]（農業振興課） ⑩第三者認証GAP取得等促進事業[24]（農業振興課） ⑪「ゆうやけベリー」ブランド化推進事業[6,430]（農業振興課） ⑫周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、就農後の定着率が低くなる要因を関係機関と共有し、営農が継続できるような取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
本市農業の持続的発展に向け、福島市農業・農村振興計画を基本方針とした各種施策に今後も取り組み、担い手の育成、多様な人材の活躍促進、農産物の安全性確保・品質向上、消費拡大の推進などに努めていく。 さらに、新規就農者の営農定着に向け、各関係機関とともに引き続き連携して取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	企業振興課	(副)	産業雇用政策課
成果指標		16. 製造品出荷額等		★個別施策へ再掲

1 成果指標の概要																																				
関連する施策		【重点施策】 7.「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現																																		
指標の説明		製造品出荷額等により、工業の振興の状況をはかる指標です。																																		
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																													
5,637 億円	目標値	5,637	5,637	5,637	5,637	5,637	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現に向けた取り組みにより、基準値の維持を目指します。																													
	実績値	4,768	4,455	4,629																																
	達成率	84.6%	79.0%	82.1%																																
【成果指標の実績値推移】																																				
<table><caption>製造品出荷額等実績推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (億円)</th><th>実績値 (億円)</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>5,637</td><td>5,637</td><td>-</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>5,637</td><td>4,768</td><td>84.6%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5,637</td><td>4,455</td><td>79.0%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>5,637</td><td>4,629</td><td>82.1%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>5,637</td><td></td><td>-</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>5,637</td><td></td><td>-</td></tr></tbody></table>							年度	目標値 (億円)	実績値 (億円)	達成率 (%)	基準値	5,637	5,637	-	令和3年度	5,637	4,768	84.6%	令和4年度	5,637	4,455	79.0%	令和5年度	5,637	4,629	82.1%	令和6年度	5,637		-	令和7年度	5,637		-	達成率	評価
年度	目標値 (億円)	実績値 (億円)	達成率 (%)																																	
基準値	5,637	5,637	-																																	
令和3年度	5,637	4,768	84.6%																																	
令和4年度	5,637	4,455	79.0%																																	
令和5年度	5,637	4,629	82.1%																																	
令和6年度	5,637		-																																	
令和7年度	5,637		-																																	
							82.1%	B																												

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	新事業創出支援事業	事業費 (千円)	2,186	担当課	産業雇用政策課
1	具体的な 取組内容	市内中小企業の競争力の強化及び新事業の進出や新たなものづくりへの取り組みを支援し、本市産業の活性化に繋げる。 (1) 展示会出展・販路拡大支援事業 (2) 新製品・新技術開発支援事業				
	取組成果	新製品・新技術を開発する企業に対し支援を行ったほか、販路拡大や新規需要開拓のため展示会出展企業に対し支援を行い、競争力強化と地域経済の活性化を図った。 (1) 展示会出展・販路拡大支援事業 補助件数 5件 (2) 新製品・新技術開発支援事業 補助件数 4件				
No	取組名	第2期福島おおぞうインター工業団地整備事業	事業費 (千円)	1,710,874	担当課	企業振興課
2	具体的な 取組内容	イノベーションコースト構想の玄関口となる本市の魅力と立地優位性を活かし、産業振興、雇用創出のため、企業誘致の受け皿となる新たな工業団地の整備を進める。 (1) 用地取得 (2) 造成工事				
	取組成果	新たな工業団地の整備に向け、関係機関と協議を行い、県北都市計画用途地域の変更後、用地を取得して工業団地造成工事に着手した。 (1) 用地取得 取得面積 A=184,843.91㎡ (2) 造成工事 開発面積 A=195,465.26㎡（分譲区画：8区画）				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①食品加工産業創出事業[3,033]（産業雇用政策課） ②医産連携推進事業[11,815]（産業雇用政策課） ③産学連携推進事業[10,585]（産業雇用政策課） ④特定集積産業事業拡大・強化支援事業[10,000]（産業雇用政策課） ⑤ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業[515]（産業雇用政策課） ⑥クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071]（産業雇用政策課） ⑦企業立地促進事業[182,698]（企業振興課） ⑧「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711]（企業振興課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。 なお、企業誘致については、本社の誘致など、誘致企業の福島市への定着が図られる取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
地元企業の事業拡大や生産体制強化を図るため、引き続き企業間連携の促進や各種支援事業に取り組むとともに、企業誘致の受け皿となる第2期福島おおぞうインター工業団地の整備や新たな産業用地等の検討を進め、交通便利性に優れた本市の魅力を発信しながら特定集積産業や本社機能を有する工場等、本市への定着が期待される企業の誘致に努める。

指標進捗管理担当	(主)	にぎわい商業課	(副)	産業雇用政策課
成果指標		17. 中心市街地空き店舗数		
		★個別施策へ再掲		

1 成果指標の概要

関連する 施策		【重点施策】 7.「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現					
指標の 説明		中心市街地における商店街の空き店舗数により、まちなかの魅力やにぎわいの状況をはかる指標です。					
基準値 (令和2年12月 調査値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
110	目標値	104	98	92	86	80	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実 現に向けた取り組みにより、空き店舗の30店舗 減少を目指します。
	実績値	114	100	102			
	達成率	0.0%	83.3%	44.4%			
店舗							

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価																					
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>110</td><td>110</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>104</td><td>114</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>98</td><td>100</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>92</td><td>102</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>86</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>80</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	基準値	110	110	令和3年度	104	114	令和4年度	98	100	令和5年度	92	102	令和6年度	86		令和7年度	80		44.4%	D
年度	目標値	実績値																						
基準値	110	110																						
令和3年度	104	114																						
令和4年度	98	100																						
令和5年度	92	102																						
令和6年度	86																							
令和7年度	80																							

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	街なか再生リノベーション事業	事業費 (千円)	44,099	担当課	にぎわい商業課
1	具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により空き店舗が増加した中心市街地の再生を図りにぎわいを取り戻すため、街なかにおける空き店舗をリノベーションして開業する際に要する経費の一部を補助する。 ○対 象 者：法人、個人事業主、団体で事業を行う者 ○対象経費：内装・外装工事費、空調設備工事費、ネットワーク環境接続費（初期投資のみ）ほか				
	取組成果	クリエイティブ産業に対する補助率を他産業よりも優遇することで街なかへの新規創業を促し、補助件数は前年度の16件から27件に増加した。				
No	取組名	街なか空き店舗入居者家賃補助事業	事業費 (千円)	72,264	担当課	にぎわい商業課
2	具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により増加している空き店舗の解消や雇用の場の確保、賑わいを創出するため、中心市街地の空き店舗へ出店する事業者に対し、補助要件を緩和して、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対 象 者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか				
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度に引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。結果として、新規補助件数は前年度の32件から48件（うち市独自の補助43件）に増加した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①街なか賑わい創出事業 [32, 617]（にぎわい商業課）
- ②商店街等活性化イベント支援事業 [30, 837]（にぎわい商業課）
- ③創業応援利子補給パッケージ [3, 623]（産業雇用政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
 なお、官民連携して課題の共有を図り、若い世代へのPRなど、起業者等が出店しやすい取り組みを続けていく必要がある。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

新規出店が増えているものの短期間で廃業する事業者もいることから、新規出店の促進に加え長期的に事業継続できるよう伴走型支援の実施を検討する。地元商店街との課題共有、「街なか賑わい創出プロジェクト」との連携、官民連携した企画やイベント支援の継続に加え、若い世代に向けた街なかの魅力発信により若者を中心とした集客と回遊性の向上を図り、街なかの賑わいを創出する。

指標進捗管理担当	(主)	コンベンション推進課	(副)	地域共創課、にぎわい商業課、観光交流推進室、文化振興課、スポーツ振興課、市街地整備課、定住交流課
----------	-----	------------	-----	--

成果指標	18.「福島らしい個性とにぎわいのあるまちである」と答えた市民の割合
------	------------------------------------

1 成果指標の概要																													
関連する施策		【重点施策】 8. 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり																											
指標の説明		市民意識調査により、福島らしい個性とにぎわいに対する満足度をはかる指標です。																											
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
22.3	目標値	27.8	33.3	38.9	44.4	50.0	福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくりにより、市民満足度の向上を目指します。																						
	実績値	22.5	21.4	16.7																									
	%	3.6%	0.0%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>22.3</td><td>22.3</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>27.8</td><td>22.5</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>33.3</td><td>21.4</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>38.9</td><td>16.7</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>44.4</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>50.0</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	22.3	22.3	令和3年度	27.8	22.5	令和4年度	33.3	21.4	令和5年度	38.9	16.7	令和6年度	44.4		令和7年度	50.0		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	22.3	22.3																											
令和3年度	27.8	22.5																											
令和4年度	33.3	21.4																											
令和5年度	38.9	16.7																											
令和6年度	44.4																												
令和7年度	50.0																												
							0.0%	D																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	福島駅東口地区市街地再開発事業	事業費 (千円)	3, 732, 000	担当課	市街地整備課
1	具体的な 取組内容	中心市街地の活性化を図るため、県都ふくしまの顔、活性化の核となる福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で行う。 ○整備状況：平成29年度（関係者協議） 平成30年度（準備組合設立、基本計画等） 令和元年度（補助採択、都市計画決定等） 令和2年度（資金計画作成等） 令和3年度（組合設立認可、実施設計等） 令和4、5年度（既存建物解体等）				
	取組成果	令和4年度より着手していた既存建築物解体工事が令和6年3月に完了した。 福島駅東口周辺の賑わい創出のため、上記解体工事に合わせ親子を対象に「駅前再開発定点観測会＆現場見学会」を10回開催したほか、地元商店街や町内会等と連携し、駅前通りに花を植える美化活動を実施した。				
No	取組名	街なか空き店舗入居者家賃補助事業	事業費 (千円)	72, 264	担当課	にぎわい商業課
2	具体的な 取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により増加している空き店舗の解消や雇用の場の確保、賑わいを創出するため、中心市街地の空き店舗へ出店する事業者に対し、補助要件を緩和して、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する 商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか				
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度に引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。結果として、新規補助件数は前年度の32件から48件（うち市独自の補助43件）と年々増加傾向にある。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①福島駅前交流・集客拠点施設整備事業[25,268]（コンベンション推進課） ②ふくしまMICEパッケージ [12,717]（コンベンション推進課） ③「古閑裕而記念音楽祭」の開催[5,400]（文化振興課） ④全早慶野球戦福島大会の開催[15,511]（文化振興課） ⑤吾妻五葉松PR事業[2,000]（観光交流推進室） ⑥「ふくしまステイ。」プロモーション[12,100]（観光交流推進室） ⑦温泉地活性化推進事業[15,000]（観光交流推進室） ⑧福島三名湯ブランディング事業[1,693]（観光交流推進室） [1,693] ⑨「道の駅ふくしま」運営[36,813]（観光交流推進室） ⑩地域おこし協力隊活用事業[25,382]（地域共創課） ⑪多文化共生センターの開設[10,194]（定住交流課） ⑫「ふくしまシティハーフマラソン」の開催[66,000]（スポーツ振興課） ⑬学生等によるにぎわい創出[921]（市街地整備課） ⑭街なか再生リノベーション[44,099]（にぎわい商業課） ⑮周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、街なかへのアクセスが課題であり、公共交通の利用を促進する取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
主な取り組みとして、福島駅東口地区市街地再開発事業について、工事費高騰やコロナ禍などの影響を受け、事業改善の努力を行うも限界となり、計画の見直しを図っている。見直し方針について、自治振興協議会の場合などを活用し、市民周知と理解促進に努めているが、今後は基本設計などの設計について可能な限り早急に取り組み、市民の期待感に応えられよう努める。 また、街なか空き店舗入居者家賃補助事業について、令和4年度からの補助要件緩和により申請件数が増加していることから、引き続き空き店舗解消による街なかの人流増加とにぎわい創出を図る。その他の取り組みについても、福島らしさやにぎわい創出の視点をもって、引き続き市民満足度の向上に向けた取り組みを進める。なお、公共交通の利用促進については関係部署にて、今後も継続的に関係機関と連携し取り組む。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	交通政策課、市街地整備課、にぎわい商業課
成果指標	19. 休日の歩行者・自転車通行量(7地点)			★個別施策へ再掲

1 成果指標の概要																												
関連する施策		【重点施策】 8. 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり																										
指標の説明		歩行者・自転車通行量により、まちなかの魅力と回遊性の状況をはかる指標です。																										
基準値 (令和2年7月測定値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
13,690 人/日	目標値	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837	人々の往来につながる施策の展開により、休日の歩行者・自転車通行量の増加を目指します。																					
	実績値	11,594	13,393	13,668																								
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>13,690</td><td>13,719</td><td>13,748</td><td>13,778</td><td>13,807</td><td>13,837</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>11,594</td><td>13,393</td><td>13,668</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	13,690	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837	実績値		11,594	13,393	13,668			
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	13,690	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837																						
実績値		11,594	13,393	13,668																								
							達成率	評価																				
							0.0%	D																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	商店街等活性化イベント支援事業	事業費 (千円)	30,837	担当課	にぎわい商業課
1	具体的な 取組内容	交流人口拡大や賑わいを創出し、地域経済や商店街等の活性化を図るために、商店街等が実施するイベント経費の一部を補助する（補助率 1/2、上限500千円 ほか）。また、新しい生活様式や感染予防に対応したイベントの推進と定着を促す。				
	取組成果	商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補助件数 80件				
No	取組名	まちなか広場管理運営事業	事業費 (千円)	4,979	担当課	市街地整備課
2	具体的な 取組内容	中心市街地の賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、さらには防災広場として、休日のイベントに限らず、日常的にも多くの市民が安全かつ快適に滞在できるよう、良好な環境の維持保全に努める。				
	取組成果	まちなか広場は、令和4年7月にリニューアルオープンし、新たに大屋根、ベンチ、緑地、更にはWi-Fi環境等が整備されたことで、日常的に滞在しやすい公共空間が生み出された。オープン後はランチや休息などによる利用者が増え、また様々なイベント等にも使用されることとなり、使用件数が増加している。 【R5年度：56件、R4年度（R4.7～3月）：46件】（参考）R3:16件、R2:24件、R1:18件				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①街なかにぎわい創出事業[32,617]（にぎわい商業課） ②街なかテーマパーク事業 [9,966]（にぎわい商業課） ③街なか空き店舗入居者家賃補助事業[72,264]（にぎわい商業課） ④街なか再生リノベーション事業[44,099]（にぎわい商業課） ⑤ももりんシェアサイクル運営事業[26,607]（交通政策課） ⑥古閑裕而メロディーバス運行事業[14,959]（交通政策課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
新型コロナの5類移行や空き店舗対策による魅力的な個店の出店、週末のイベント開催などにより、文化通りや並木通りを中心に通行量が増加し、徐々に街なかに来街者が回帰してきている。街なかの活性化を一層推進するため、新規出店者に対する伴走型支援の検討や、若い世代への街なかの魅力発信など、街なかへの更なる集客と回遊性の向上を図る。 また、パークアンドライド、シェアサイクル、メロディーバスの利用者も年々増加しており、面的な回遊性の向上に寄与している。引き続き成果指標の進捗に貢献する取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、こども家庭課、幼稚園・保育課、住宅政策課
----------	-----	-------	-----	------------------------------------

成果指標

20.「移住・定住先として自信を持って紹介できるまちである」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【重点施策】 9. 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化					
指標の 説明		市民意識調査により、移住・定住支援施策に対する満足度をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
26.8	目標値	31.4	36.0	40.7	45.3	50.0	移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	28.3	26.6	25.6			
	達成率	32.6%	0.0%	0.0%			
%							

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>26.8</td><td>31.4</td><td>36.0</td><td>40.7</td><td>45.3</td><td>50.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>-</td><td>28.3</td><td>26.6</td><td>25.6</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>						年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	26.8	31.4	36.0	40.7	45.3	50.0	実績値	-	28.3	26.6	25.6	-	-	0.0%	D
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	26.8	31.4	36.0	40.7	45.3	50.0																						
実績値	-	28.3	26.6	25.6	-	-																						

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	10,223	担当課	定住交流課
1	具体的な取組内容	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料パスポート交付事業			
	取組成果	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住準備支援金：補助件数：152件（補助額：9,182千円） ○湯めぐり無料パスポート：交付件数192件			
No	取組名	事業費 (千円)	6,566	担当課	幼稚園・保育課
2	具体的な取組内容	豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助する。 また、プロジェクトを市内外に広くPRするため、SNSを利用してPR動画を広告配信するとともに、市内の子育て世帯へ配布するための広報誌を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげる。 ○補助額：事業費の1/2（上限額3年目まで1,200千円、4年目以降300千円）			
	取組成果	特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する幼児教育・保育施設12施設・グループに対し、事業費等の支援を行った。また、YouTubeで首都圏や福島県の近県を対象にPR動画を広告配信し、204,079回の動画視聴回数となった。広報誌作成3,000部。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①U I J ターン移住支援事業[34,089]（定住交流課） ②クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071]（産業雇用政策課）
 ③「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711]（企業振興課）
 ④待機児童対策推進パッケージ[340,688]（幼稚園・保育課）
 ⑤こども家庭センター事業（児童福祉機能）[15,253]（こども家庭課）
 ⑥結婚新生活支援事業[65,330]（定住交流課） ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業（住宅政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

ニーズを踏まえた質の高い移住・定住施策を実施するとともに、移住者数が年々増加するなど、本市が暮らしやすく、選ばれるまちであることを市民に広く認識していただけるよう、様々な施策やその成果等を積極的に発信していく。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、住宅政策課、農業企画課、男女共同参画センター
----------	-----	-------	-----	--------------------------------------

成果指標	21. 人口の社会動態(20歳～39歳)	★個別施策へ再掲
------	----------------------	----------

1 成果指標の概要										
関連する施策		【重点施策】 9. 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化								
指標の説明		若年層の社会動態（20歳～39歳）により、移住定住先に選ばれる環境の充実度をはかる指標です。								
基準値 (H28～R元の4年間平均値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠			
△ 650 人	目標値	△ 585	△ 520	△ 455	△ 390	△ 325	移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。			
	実績値	△ 647	△ 571	△ 725						
	達成率	4.6%	60.8%	0.0%						
【成果指標の実績値推移】										
△ 300 △ 400 △ 500 △ 600 △ 700 △ 800 △ 650 △ 585 △ 520 △ 455 △ 390 △ 325 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 ● 目標値 ● 実績値 <table><tr><th>達成率</th><th>評価</th></tr><tr><td>0.0%</td><td>D</td></tr></table>							達成率	評価	0.0%	D
達成率	評価									
0.0%	D									

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	事業費 (千円)	10,223	担当課	定住交流課	
1	具体的な取組内容	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料パスポート交付事業				
	取組成果	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住準備支援金：補助件数：152件（補助額：9,182千円） ○湯めぐり無料パスポート：交付件数192件				
No	取組名	事業費 (千円)	65,330	担当課	定住交流課	
2	具体的な取組内容	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用（敷金・礼金・家賃等）及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約800件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円				
	取組成果	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しになった。 ○補助世帯数：374世帯（補助額：65,330千円） ○スタートアップ支援：145件（住宅購入・リフォーム費用：21件、賃貸初期費用：112件、引越費用：12件） ○家賃支援：291件				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071]（産業雇用政策課） ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711]（企業振興課） ③U I J ターン移住支援事業[34,089]（定住交流課） ④広報推進事業[3,828]（定住交流課） ⑤多世帯同居・近居支援事業[3,850]（定住交流課） ⑥移住コーディネーター活動事業[4,353]（定住交流課） ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業（住宅政策課） ⑧空家等対策事業[19,797]（住宅政策課） ⑨あぐりっしゅサポートパッケージ（新規就農支援）[77,436]（農業企画課） ⑩ふくしま起業女子応援パッケージ[332]（男女共同参画センター） ⑪外国人生活相談事業[4,667]（定住交流課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
移住者数は年々増加傾向にあるが、市全体の若年層の転出超過に歯止めがかからないため、若い世代の移住定住の地として選ばれるよう、本市の様々な施策（仕事、住まい、子育て等）を通じて新生活を支援する取り組みや活用事例などを積極的に発信していく。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	政策調整課、地域共創課、産業雇用政策課、定住交流課、共生社会推進課、障がい福祉課、長寿福祉課
成果指標		22.「性別や年齢、立場に関わらず、個性や能力を十分に生かすことができるまちである」と答えた市民の割合		

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり						
指標の説明	市民意識調査により、市民が活躍できる地域づくりや仕組みづくりに対する満足度をはかる指標です。						
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
17.3	目標値	23.8	30.3	36.9	43.4	50.0	市民総活躍と市民共創のまちづくりへの取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	16.9	18.6	18.6			
	達成率	0.0%	10.0%	6.6%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
55.0 45.0 35.0 25.0 15.0 17.3 23.8 30.3 36.9 43.4 50.0 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 ● 目標値 ● 実績値						6.6%	D

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	バリアフリー推進事業	事業費 (千円)	3,865	担当課	共生社会推進課
1	具体的な 取組内容	障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面に加え「心のバリアフリー」の普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による「心のバリアフリー」推進隊による啓発活動を実施する。				
	取組成果	講演会や出前講座の開催により、市民への心のバリアフリーに対する理解促進を図った。 ○バリアフリー推進パートナーミーティングの開催(10/2開催、会場:ホテル福島グリーンパレス、参加者数:55名(45団体)) ○心のバリアフリー市民講演会の開催(2/16開催、会場:とうほうみんなの文化センター、参加者数112名) ○心のバリアフリー出前講座の開催(開催回数44回、受講者数2,216名) ○心のバリアフリー推進隊活動(ミーティング5回、啓発活動等6回)				
No	取組名	働く女性応援事業	事業費 (千円)	1,203	担当課	産業雇用政策課
2	具体的な 取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境づくりを推進するために、福島市独自の認証基準を設定し、積極的な取り組みを行なう中小企業を認証する。また、認証した企業と取組事例を広く公表することで、福島市の企業のイメージアップ、地域社会への波及効果を促し、女性の活躍するまちづくりの推進を図る。 ○対象内容:(1)働く女性応援企業認証事業				
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを推進する中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証事業数 18社 ・ゴールド認証企業数 5社				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)
①地域生活支援拠点等整備事業[8,696](障がい福祉課) ②男女共同参画啓発事業[469](男女共同参画センター) ③地域包括ケアシステムの推進[479,736](長寿福祉課) ④共創のまちづくりの推進[45](地域共創課) ⑤産官学連携プラットフォーム推進事業[2,000](政策調整課) ⑥外国人生活相談事業[4,667](定住交流課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
市民総活躍と市民共創のまちづくりの実現に向けて、上記結果を関係各課と共有し、各課の取り組みを踏まえながら、市民満足度の向上及び成果の達成に努める。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	政策調整課、広聴広報課、にぎわい商業課、道路保全課、都市計画課、交通政策課、公園緑地課、市街地整備課、生涯学習課
----------	-----	-------	-----	--

成果指標	23.「まちづくりに参加している、参加したい」と答えた市民の割合
------	----------------------------------

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【重点施策】 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり																												
指標の 説明	市民意識調査により、市民のまちづくりに対する満足度をはかる指標です。																												
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
11.8 %	目標値	19.4	27.0	34.7	42.3	50.0	市民総活躍と市民共創のまちづくりの取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。																						
	実績値	11.4	13.0	9.0																									
	達成率	0.0%	7.9%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>11.8</td><td>11.4</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>19.4</td><td>11.4</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>27.0</td><td>13.0</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>34.7</td><td>9.0</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>42.3</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>50.0</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	11.8	11.4	令和3年度	19.4	11.4	令和4年度	27.0	13.0	令和5年度	34.7	9.0	令和6年度	42.3		令和7年度	50.0		0.0%	D
年度	目標値	実績値																											
基準値	11.8	11.4																											
令和3年度	19.4	11.4																											
令和4年度	27.0	13.0																											
令和5年度	34.7	9.0																											
令和6年度	42.3																												
令和7年度	50.0																												

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	共創のまちづくりの推進	事業費 (千円)	45	担当課	地域共創課	
1	具体的な取組内容	市民等の各主体との「共創のまちづくり」を念頭に各施策を進めるため、地域におけるまちづくりの活性化に向けた支援を行っていく。 ○ファシリテーター養成講座を開催（各地区のまちづくり担当者（市職員）向け） ○若者のまちづくり活動への参加を促進					
	取組成果	共創のまちづくりの推進のための体制を市全体（地域と市内）で構築した。 （１）市職員のまちづくり担当者向けにファシリテーター養成講座を実施した。（16名参加） （２）若者が気軽にまちづくりに参加できるきっかけとなる、若者と市（行政）、地域をつなぐ「こくりナビ」の体制を構築した。 こくりナビ登録者数：183名 配信事業数：22事業					
No	取組名	産官学連携プラットフォーム推進事業	事業費 (千円)	2,000	担当課	政策調整課	
2	具体的な取組内容	産業界・市・高等教育機関による連携体制「福島市産官学連携プラットフォーム」を活用し、若者の地元定着や人材育成など、地域課題の解決に取り組む。 ○対象内容：（１）大学生による地元企業研究および魅力発信事業 （２）市内高等教育機関の学生を対象とした、企業と学生の意見交換会					
	取組成果	（１）大学生が地元企業を訪問し、インタビューや職場体験を通して地元企業を知る機会を創出した。 （２）学生を対象に「就職セミナー」を開催し、市長・地元企業の経営者等によるパネルディスカッションや合同企業説明会を行い、地元での就職や地元定着の意識付けを図った。 産官学で連携し、地元の魅力発信に取り組むとともに、若者と地元企業との接点の創出にも繋げることができた。					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①地域コミュニティ等支援事業[13,391]（地域共創課） ②地域生活基盤整備事業[149,996]（道路保全課） ③ふくしま花のまちづくり事業[2,983]（公園緑地課） ④地域と学校の共創推進事業[654]（生涯学習課） ⑤地域除雪活動支援[1,925]（道路保全課） ⑥ふくしま元気トークの開催[99]（広聴広報課） ⑦街なか若者活動促進事業[990]（にぎわい商業課） ⑧地域で支える交通推進事業[46]（交通政策課） ⑨学生等によるにぎわい創出[921]（市街地整備課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
まちづくりへの参加者はまだ一部の人にとどまっており、特に現役世代や若い世代の参加者を増やすためには、参加しやすい状況を作るなど工夫が必要である。 より多くの人がまちづくりに取り組むことができる環境づくりを進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標	24.「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数	★個別施策へ再掲
------	------------------------------	----------

1 成果指標の概要

関連する施策	【重点施策】 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり
--------	--------------------------------

指標の説明	共創の考え方や手法を用いた取り組み数により、各地区における「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗度合いをはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0 件	目標値	275	310 (R3～R4年度 までの2年間)	345 (R3～R5年度 までの3年間)	380 (R3～R6年度 までの4年間)	411 (R3～R7年度 までの5年間)	共創のまちづくり意識の醸成により、5年間で411件の「ふくしま共創のまちづくり計画」の実施を目指します。
	実績値	290	327	358			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
500 400 300 200 100 0 0 275 310 345 380 411 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 ● 目標値 ● 実績値						100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	540	担当課	地域共創課
1	具体的な取組内容 各地区のふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会における取組を支援するとともに、「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗管理を行う。 ○「ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会」運営の支援 ○「ふくしま共創のまちづくり計画」の評価・検証のための支援 取組成果 市内18地区の懇談会が、多種多様な視点を取り入れながら計画の推進を図った。懇談会において計画の進捗管理を行うことで、解決すべき地域の課題を明確にして、まちづくりの取り組みを進めることが出来た。				
2	具体的な取組内容 地域の新たな魅力や価値の創出、市民活動の活性化、地域活力の向上を図るため、地域ごとの主体的なまちづくりへの取り組みにかかる経費の一部を補助する。 ○一般事業枠 ○花いっぱい推進事業枠 取組成果 一般事業枠・花いっぱい運動等に併せて18地区102事業のまちづくりの取り組みに補助金を交付することが出来た。本事業により、地区懇談会のふくしま共創のまちづくり計画の推進を支援し、住民自治意識の醸成、地域活動の活性化に寄与した。	13,391			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地域の実情に応じて新たな視点を取り入れるためのマッチングを行うなど、懇談会の活性化及び各地区のまちづくり計画の推進に向けた支援を行っていく。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	危機管理室、産業雇用政策課、観光交流推進室、農林整備課、定住交流課、文化振興課、保健総務課、健康づくり推進課、幼稚園・保育課、河川課、市街地整備課、住宅政策課、下水道室 ほか
成果指標		25.「福島市に住み続けたい」と答えた市民の割合		

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上						
指標の説明	市民意識調査により、地域への愛着や暮らしに対する満足度をはかる指標です。						
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
66.0	目標値	68.1	70.2	72.4	74.5	76.7	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	63.5	64.1	59.5			
	%	0.0%	0.0%	0.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						0.0%	D

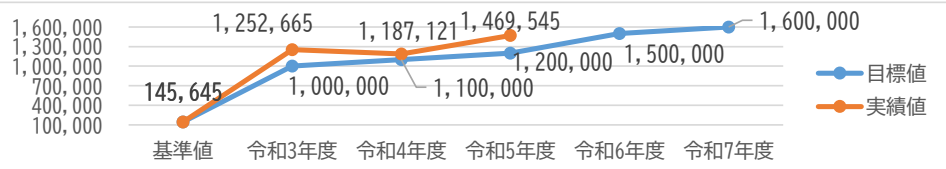
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	福島駅東口地区市街地再開発事業	事業費 (千円)	3,732,000	担当課	市街地整備課
1	具体的な取組内容	中心市街地の活性化を図るため、県都ふくしまの顔、活性化の核となる福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で行う。 ○整備状況：平成29年度（関係者協議） 平成30年度（準備組合設立、基本計画等） 令和元年度（補助採択、都市計画決定等） 令和2年度（資金計画作成等） 令和3年度（組合設立認可、実施設計等） 令和4,5年度（既存建物解体等）				
	取組成果	令和4年度より着手していた既存建築物解体工事が令和6年3月に完了した。 福島駅東口周辺の賑わい創出のため、上記解体工事に合わせ親子を対象に「駅前再開発定点観測会＆現場見学会」を10回開催したほか、地元商店街や町内会等と連携し、駅前通りに花を植える美化活動を実施した。				
No	取組名	古関裕而を活かしたまちづくり事業	事業費 (千円)	38,520	担当課	文化振興課
2	具体的な取組内容	古関裕而氏と古関メロディーを活用し、野球殿堂入り記念イベントの開催や街なかで古関メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古関氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○全早慶野球戦福島大会：古関裕而氏の野球殿堂入りを記念し開催。古関氏が作曲した両校応援歌で、応援合戦を繰り広げ、会場一体となって殿堂入りをたたえとともに、市内外に古関裕而のまちづくりを発信した。 ○古関裕而記念音楽祭2023：古関メロディーと氏の功績を継承する、5年ぶりの市民参加型音楽祭を開催した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ活動支援：福島ゆかりのプロの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしままちなか音楽祭2023：まちなかで特色を活かした5つのステージを設け、古関メロディーのほか様々な音楽を楽しむイベントを初開催。発表の場と鑑賞の機会を創出し、まちなかのにぎわいづくりに寄与した。				
	取組成果	全早慶野球戦福島大会では、応援合戦により市内外に古関裕而のまちづくりを発信したほか、殿堂入り関連展示、メロディーバスによる古関メロディーの放送などを行い、古関氏のさらなる認知度アップと功績継承へとつなげた。また、初開催となったふくしままちなか音楽祭2023には多数の来場者があり、まちなかのにぎわい創出につながった。その他、古関氏と音楽を活かした各種施策を行い、福島らしい芸術文化の発信に寄与した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①水害対策パッケージ[697,822]（河川課、危機管理室ほか） ②地域医療確保対策[302,078]（保健総務課） ③健都ふくしまの創造[15,416]（健康づくり推進課） ④特定集積産業事業拡大・強化支援[10,000]（産業雇用政策課） ⑤スイーツ・プレミアム事業[10,345]、ふくしま花回廊推進事業[27,853]、福島三名湯ブランディング事業[1,693]、「ふくしまステイ。」プロモーション事業[12,100]、周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室） ⑥待機児童対策推進パッケージ[340,688]（幼稚園・保育課） ⑦移住定住推進パッケージ[77,335]（定住交流課、住宅政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
市民が福島市の魅力を再認識し、地域への愛着や暮らしに対する市民満足度の向上につながるよう、古関裕而氏を活かした本市の魅力発信の強化や、駅前再開発においては、新たに「人が住む」「人が働き学ぶ」「人が集まる」「人が流れる」の4要素を促進するための施策を一体として展開しながら、地元商店街や町内会等と連携し、中心市街地の賑わい創出、商店街の活性化を推進、都市ブランドの向上に取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	広聴広報課
成果指標		26. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額		★個別施策へ再掲

1 成果指標の概要							
関連する施策	【重点施策】 11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上						
指標の説明	元気ふくしま・ふるさと寄附金額により、本市ファンの拡大と戦略的なシティセールスの充実度をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
145,645 千円	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	ふるさと納税促進事業	事業費 (千円)	715,263	担当課	政策調整課
1	具体的な 取組内容	各種施策を実施する財源を確保するため、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進する。 ○市観光コンベンション協会と連携し、話題性と魅力にあふれる返礼品開発 ○各ポータルサイトを活用し、市の施策や魅力ある返礼品を積極的にPR				
	取組成果	(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、返礼品取扱事業者・生産者募集説明会や事業者訪問を行うなど、事業者との意思統一を図り、返礼品の開拓を推進するとともに、寄附の使い道をはじめ、本市の旬な情報の発信を行い、関係人口の拡大を図った。				
No	取組名	シティセールス推進事業	事業費 (千円)	3,573	担当課	政策調整課
2	具体的な 取組内容	マーケティング分析ツールの活用とSNSによる情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図る。 ○シティセールス特設Webサイトの管理運営 ○マーケティングデータ分析ツールの導入及び活用 ○SNSの拡散キャンペーン等による情報発信				
	取組成果	ふるさと納税などを通じ、本市への更なる応援を募るため、寄附の使い道を親しみやすくかつ分かりやすく伝える特設Webサイト等で本市の魅力を効果的に発信した。 また、本市特産品の魅力を拡散してもらえるよう、レビューキャンペーンを実施し、ふるさと納税寄附者からの情報発信を促進した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①福島市応援関係人口創出事業[2,210]（政策調整課） ②テレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報[43,123]（広聴広報課） ③市ホームページの充実[10,807]（広聴広報課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き情報発信を戦略的にを行い、賛同と共感を得ながら、ふるさと納税による本市への寄附を促進し、本市ファンの拡大を図るとともに、シティセールスを推進する。

指標進捗管理担当	(主)	デジタル推進課	(副)	情報企画課、市民課、市民税課、契約検査課、スポーツ振興課、障がい福祉課、幼稚園・保育課、図書館、地域共創課ほか
----------	-----	---------	-----	---

成果指標

27.「地域社会のICT化が進み、市民生活が快適で便利になった」と答えた市民の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【重点施策】 12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革					
指標の 説明		市民意識調査により、地域社会の I C T化に対する満足度をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23.2 %	目標値	28.5	33.9	39.2	44.6	50.0	I C Tを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	31.7	35.3	32.8			
	達成率	100.0%	100.0%	60.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値 (令和2年度)</td><td>23.2</td><td>23.2</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>28.5</td><td>31.7</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>33.9</td><td>35.3</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>39.2</td><td>32.8</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>44.6</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>50.0</td><td></td></tr></tbody></table>						年度	目標値	実績値	基準値 (令和2年度)	23.2	23.2	令和3年度	28.5	31.7	令和4年度	33.9	35.3	令和5年度	39.2	32.8	令和6年度	44.6		令和7年度	50.0		60.0%	C
年度	目標値	実績値																										
基準値 (令和2年度)	23.2	23.2																										
令和3年度	28.5	31.7																										
令和4年度	33.9	35.3																										
令和5年度	39.2	32.8																										
令和6年度	44.6																											
令和7年度	50.0																											

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	LINE推進事業	5,027	情報企画課
	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。	
2	電子図書館の運用	3,411	図書館
	具体的な取組内容	インターネット環境を活用して、24時間いつでも、どこでも、スマートフォンやタブレット等で電子書籍を借りて読むことができる電子図書館を運用し、市民の多様なライフスタイルに合わせた読書環境を提供する。	
3	電子図書館の運用	3,411	図書館
	取組成果	市ホームページやSNSでの情報発信を積極的に行ったほか、令和5年7月に電子図書館にアクセスできる利用者IDを市内の全小中学生に付与し、1人1台に配付されたタブレットから電子図書館の利用を可能とした。また、電子図書館に興味のある方、はじめて使用する方を対象とした電子図書館に関する講座を開催した。 ○電子書籍貸出冊数 29,399冊	

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①自治体オンライン手続の推進[3,065](情報企画課)	②電子入札システム運用[5,561](契約検査課)
③オンライン申請の推進[783](市民課・市民税課)	④公共施設予約システムの運用[22,213](スポーツ振興課ほか)
⑤行政手続案内システムの運用[726](障がい福祉課、幼稚園・保育課)	⑥電子町内会の活動促進[604](地域共創課)
⑦デジタル人材バンクの設置[172](デジタル推進課)	⑧シルバー人材センターICT班活動支援[810](デジタル推進課)
⑨高齢者等スマートフォン利活用支援講座の実施(シニアICTサポーターの育成含む)[13,255](デジタル推進課)	
⑩ふくしまデジタルサポートデスクの設置運営[3,641](デジタル推進課)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

広く市民にデジタル化の利便性を周知しながら、市民生活が快適で便利になるようなデジタル化の様々な取組を推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	情報企画課	(副)	デジタル推進課、契約検査課、市民課、市民税課、図書館、スポーツ振興課ほか
----------	-----	-------	-----	--------------------------------------

成果指標	28. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)	★個別施策へ再掲
------	-----------------------------	----------

1 成果指標の概要

関連する施策	【重点施策】 12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革					
指標の説明	行政手続きのオンラインサービスの利用件数により、行政手続きのICT化の充実度と利便性向上の状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000
	実績値	155,116	151,466	186,926		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
		目標値の根拠				
		ICTを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。				

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価
290,000 250,000 210,000 170,000 130,000 90,000 50,000 10,000 19,078 61,250 82,250 103,250 231,000 285,000 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 —●— 目標値 —●— 実績値		100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課	情報企画課
1	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。		
	取組成果	市LINE公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。15所属 48業務		
No	取組名	事業費 (千円)	担当課	契約検査課
2	具体的な取組内容	応札者の利便性の向上を図り、また、コロナ禍や災害時にあっても入札を継続するため、インターネットにより電子的に執行する電子入札を制限付一般競争入札から開始する。		
	取組成果	建設工事及び工事関連業務委託(測量、設計等)の制限付一般競争入札において令和5年7月1日以降の公告分より、指名競争入札については令和6年2月より本格運用を開始した。 ・工事 制限付一般競争入札: 51件 指名競争入札: 13件 合計: 64件 ・業務委託 制限付一般競争入札: 7件 指名競争入札: 5件 合計: 12件		

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

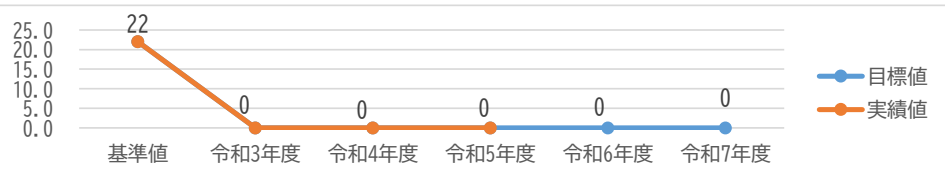
- ①申請・届出オンライン事業[3,065](情報企画課) ②コンビニ交付サービス事業[27,758](市民課・市民税課)
 ③オンライン申請の推進[783](市民課・市民税課) ④電子図書館の運用[3,411](図書館)
 ⑤公共施設予約システムの運用[22,213](スポーツ振興課ほか) ⑥シルバー人材センターICT班活動支援[810](デジタル推進課)
 ⑦ふくしまデジタルサポートデスクの設置運営[3,641](デジタル推進課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も市民がオンラインで申請可能な手続きを拡充することと併せて、オンラインサービスの利用を促進することにより、市民の利便性向上の取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当		(主)	幼稚園・保育課		(副)		
成果指標		1. 保育施設における待機児童数					
1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 1. 子育て支援の充実					
指標の説明		待機児童の解消により、子育てのしやすさをはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
22人	目標値	0	0	0	0	0	待機児童については、仕事と子育てを両立でき、子育てしやすい環境をつくるため、「0（ゼロ）」を目指します。
	実績値	0	0	0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						100.0%	A
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	保育の受け皿の拡大（待機児童対策推進パッケージ）			事業費 (千円)	238,106	担当課 幼稚園・保育課
1	具体的な取組内容	施設整備による利用定員の拡大や既存施設での受け入れ拡大により保育の受け皿の拡大を図り、保育を希望する保護者が保育施設を利用できるようにする。 1 施設整備による利用定員の拡大 (1) 私立保育所・認定こども園整備支援 2 既存施設での受け入れ拡大 (1) 私立幼稚園預かり保育支援 (2) 保育アテンダントによるマッチングの促進 (3) 幼稚園送迎ステーションの運営 (4) AIを活用したマッチングの拡大					
	取組成果	私立保育所1施設の新設を支援し、保育利用定員を拡大した。 また、私立幼稚園の預かり保育支援や幼稚園送迎ステーションの運営により、幼稚園の教育時間外における保育サービスの充実を支援した。					
No	取組名	保育士の確保（待機児童対策推進パッケージ）			事業費 (千円)	102,582	担当課 幼稚園・保育課
2	具体的な取組内容	処遇の改善、労働環境の改善、就労・就学支援により保育士を確保し、保育の受け皿確保と保育の質の向上を図り、希望する保育施設への利用につなげる。 1 現職保育士の支援（処遇改善、労働環境改善） (1) 保育士宿舍借り上げ支援 (2) 保育支援員雇用支援 (3) 保育士相談支援 (4) 保育士の働きやすい職場づくり 2 潜在保育士の確保（就労支援） (1) UIJターン保育士等就労支援 (2) 輝け！保育人材活躍促進 3 新卒保育士の確保（就学支援、就労支援） (1) 保育士等奨学金貸付 (2) 保育士するなら福島市！プロモーション					
	取組成果	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設に対する支援等により、現職保育士の労働環境改善を図ったほか、県外から本市に移住して就労する保育士等への支援や、保育士等を目指す学生への一部資金の無利子貸し付け支援により、保育士の確保を推進した。					
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）							
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価							
当該年度の目標を達成しているが、保育所の潜在的待機児童の解消が子育てしやすいまちとしての満足度の向上につながると考える。							
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性							
4月1日現在の待機児童数は4か年連続でゼロを達成しているが、同日現在における潜在的待機児童（入所保留児童）数は未だ100人を超過している。待機児童数ゼロの維持とあわせ、潜在的待機児童数の更なる縮減を図るため、待機児童対策推進パッケージによる「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」を推進し、官民一体で施策に取り組む。							

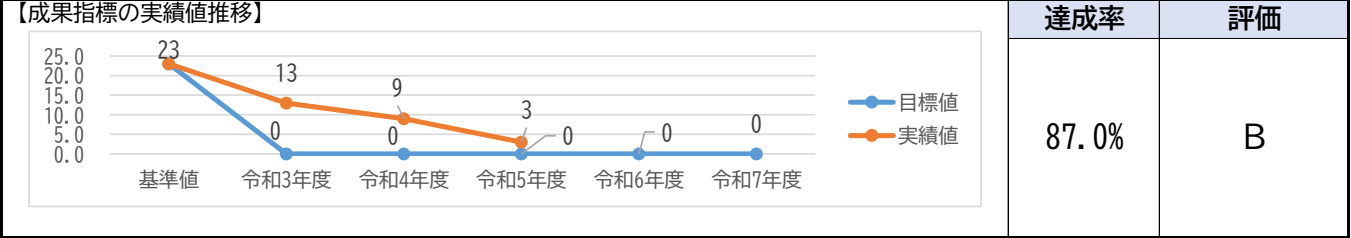
成果指標	2. 放課後児童クラブにおける待機児童数
------	----------------------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 1. 子育て支援の充実
--------	-----------------------

指標の説明	待機児童の解消により、子育てのしやすさをはかる指標です。
-------	------------------------------

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23 人	目標値	0	0	0	0	0	子育てと仕事が両立でき、子育てしやすい環境を整備するため、待機児童「0」を目指します。
	実績値	13	9	3			
	達成率	43.5%	60.9%	87.0%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	702,007	担当課	こども政策課
1	具体的な取組内容	放課後児童健全育成事業〔702,007〕 児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブへの運営支援の充実に取り組む。 ○設置数：94㍻㍻（令和4年度：94㍻㍻） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など			
	取組成果	放課後の子どもの居場所を提供するため、実情に応じた柔軟な受け入れ枠の拡大を行った。【充足率103.7%】 また、待機児童調査等により、新たに放課後児童クラブの開設が必要との判断に至った小学校区には、同区の放課後児童クラブ運営事業者との協議により定員増が図れる基準を明示し、早期の待機児童解消に向けた取組を推進した。			
No	取組名	事業費 (千円)	195,125	担当課	こども政策課
2	具体的な取組内容	放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助する。 ○放課後児童支援員等処遇改善等事業 放課後児童支援員等の基本賃金等の改善や、18時30分を超えて事業を行う者に対して処遇改善に必要な経費の補助を行う。 ○放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業 経験等に応じた放課後児童支援員の処遇改善を促進するため、賃金改善に必要な経費の補助を行う。			
	取組成果	放課後児童支援員等処遇改善等事業により、職員の賃金改善や支援員の経験等に応じた処遇改善に必要な経費の補助により、クラブのさらなる質の向上を図った。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- | |
|---|
| ①放課後児童クラブ家賃補助事業〔22,834〕（こども政策課）
②放課後児童クラブ育成支援体制強化事業〔6,794〕（こども政策課） |
|---|

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいるが、放課後児童クラブの待機児童の解消が子育てしやすいまちとしての満足度の向上につながると考える。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地区ごとの利用ニーズの把握により、放課後児童クラブの整備による受け皿を拡大し、待機児童の解消を図っていく。 また、放課後児童クラブ育成支援体制強化事業において、会計事務等の業務を外部委託により実施することで、放課後児童クラブ支援員の負担軽減を図り、働きやすい環境づくりにより質の高い育成支援ができる環境を整備し、子どもたちに安全で安心な遊びと生活の場を提供していく。
--

指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	こども家庭課、幼稚園・保育課、教育施設管理課、定住交流課、教育研修課、住宅政策課
----------	-----	--------	-----	--

成果指標	3. 11歳以下の人口
------	-------------

1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 1. 子育て支援の充実					
指標の説明		11歳以下の人口動態により、子育て支援施策の効果をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
25,202人	目標値	24,919以上	24,637以上	24,355以上	24,073以上	23,791以上	子育て支援施策の充実により、福島市子ども・子育て新ステージプランにおける推計人口値以上を目指します。
	実績値	23,756	23,201	22,413			
	達成率	95.3%	94.2%	92.0%			
【成果指標の実績値推移】							
26,000 25,000 24,000 23,000 22,000 25,202 24,919 以上 24,637 以上 24,355 以上 24,073 以上 23,791 以上 23,756 23,201 22,413 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 目標値 実績値							
達成率							
評価							
92.0%							
B							

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	妊娠・出産包括支援事業	事業費 (千円)	19,258	担当課	こども家庭課
1	具体的な取組内容	①産前・産後サポート事業（ホームスタート事業） 妊婦や乳幼児のいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問し、傾聴（親の気持ちを受け止めて話を聴くこと）と協働（親と一緒に家事や育児、外出などをする）を行い、親の心の安定と子育て意欲の向上を生み出すとともに、地域の子育て力の底上げを図る。 ②産後ケア事業 心身の不調や育児に不安を持つ産婦及び家族などから十分なサポートを受けられない産婦等に対し、医療機関等におけるショートステイ、デイケア及びアウトリーチにより産後の身体的回復と心理的な安定を図るとともに母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。				
	取組成果	①利用家庭数26件 延べ訪問件数145回 ホームビジター養成数4名 ②ショートステイ利用者数47人延べ利用者日数211日 デイケア利用者数65人 延べ利用日数145日 えがお赤ちゃん訪問（生後2か月までの乳児がいるすべての家庭を対象）1,295件 産婦およびその家族が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるようサポートをする体制を強化することができた。				
No	取組名	子育て環境の充実	事業費 (千円)	1,140,005	担当課	幼稚園・保育課 こども政策課
2	具体的な取組内容	①放課後児童健全育成事業〔702,007〕 児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブへの運営支援の充実に取り組む。 ○設置数：94ヵ所（令和4年度：94ヵ所） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など ②待機児童対策推進パッケージ〔340,688〕 待機児童ゼロとその維持に向けて、「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」の2本の柱で取り組む。 ○私立保育所・認定こども園整備支援 ○保育士するなら福島市！プロモーション ○輝け！保育人材活躍促進 等				
	取組成果	①放課後の子どもの居場所を提供するため、実情に応じた柔軟な受け入れ枠の拡大を行った。 ②待機児童対策推進パッケージの取り組みにより、保育の受け皿の拡大や保育士の確保が図られたことで、4カ年連続で4月1日現在の待機児童数ゼロを達成した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①放課後児童クラブ多子世帯利用料補助〔35,252〕（こども政策課） ②こども家庭センター事業（母子保健機能）〔12,227〕（こども家庭課） ③ICT教育フューチャービジョン推進事業〔396,234〕（教育研修課） ④福島型給食推進事業〔518,510〕（こども政策課、幼稚園・保育課、教育施設管理課） ⑤結婚新生活支援事業〔65,330〕（定住交流課） ⑥ふくしま☆スタイル住宅整備事業（住宅政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
こども家庭センターを中心に、出産や育児に対する不安や孤立感を軽減し、安心して子育てできるよう切れ目ない支援を推進する。 また、保育施設、放課後児童クラブにおける待機児童対策に引き続き取り組み、子育て世代が安心して働き、子育てできる環境を整備する。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育総務課、教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------------

成果指標

4. 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学6年、中学3年)

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 2. 学校教育の充実					
指標の 説明		児童生徒が将来の夢や希望をもって、自己実現に向けて前向きに生活している状況をはかる指標です。 ※全国学力・学習状況調査					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小学校) 83.7	目標値	①84.9	①86.2	①87.4	①88.7	①90.0	夢や希望をもって生活することは、すべての活動の根幹となるため、基準値をもとにさらに上回る小学6年生90%、中学3年生80%を目指します。
②(中学校) 73.5	実績値	②74.8	②76.1	②77.4	②78.7	②80.0	
%	達成率	①0.0% ②0.0%	①0.0% ②0.0%	①0.0% ②0.0%			

【成果指標の実績値推移】

項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(小学校)	83.7	84.9	86.2	87.4	88.7	90.0
実績値(小学校)	83.7	84.9	86.2	87.4	88.7	90.0
目標値(中学校)	73.5	74.8	76.1	77.4	78.7	80.0
実績値(中学校)	73.5	69.7	68.3	67.1		

達成率

①0.0%
②0.0%

評価

D

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	ふくしま・ふれあい・夢ぱらん事業 具体的な取組内容 取組成果	4,235	学校教育課
2	中学生ドリームアップ事業 具体的な取組内容 取組成果	6,986	学校教育課

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①ICT教育フューチャービジョン推進事業〔396,234〕(教育研修課) ②福島型個性をのばす教育推進事業〔3,586〕(教育総務課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
 なお、子どもたちの将来の選択肢を増やすため、中学生ドリームアップ事業の職業体験の場がさらに広がることを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

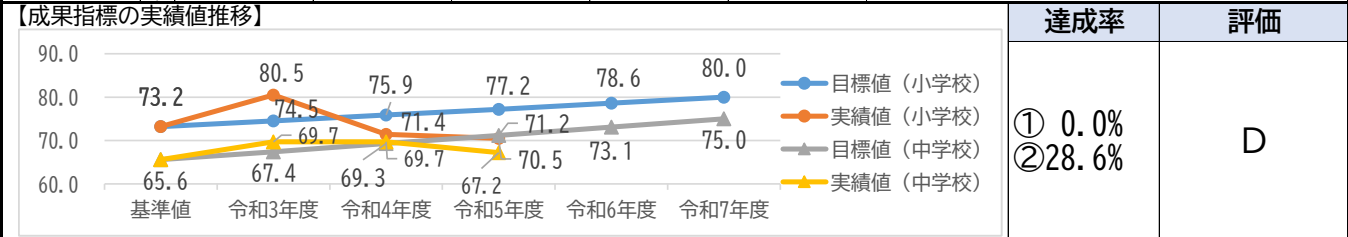
コロナ禍の収束を踏まえ、児童生徒の思いを大切にしながら地域人材と積極的に交流する活動を推進していくとともに、小・中学校の接続を意識した学習を展開できるようにする。
 また、職場体験については、各事業団体への協力要請を広げることで選択肢を増やしていくとともに、実施学年や時期等について各中学校が生徒の自主性を大切にし、3年間を見通した系統的な探究活動となるよう、実施方法や内容について見直しを図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	図書館
----------	-----	-------	-----	-----

成果指標 5. 読書が好きな児童生徒の割合(小学6年、中学3年)

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 2. 学校教育の充実					
指標の説明	児童生徒の読書への取組状況により、読書への関心の高さをはかる指標です。 ※全国学力・学習状況調査					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①(小学校) 73.2	目標値	①74.5	①75.9	①77.2	①78.6	①80.0
②(中学校) 65.6	実績値	②67.4	②69.3	②71.2	②73.1	②75.0
%	達成率	①100.0%	①0.0%	①0.0%		
		②100.0%	②100.0%	②28.6%		



達成率	① 0.0%	② 28.6%
評価	D	

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	16,146	担当課	学校教育課
1	学校図書館図書整備事業				
	具体的な取組内容	学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館図書の更新を計画的に行えるよう、予算を確保し、子どもが最新の良書に触れ、本を手に取りやすい環境を整備するとともに、学校図書館への新聞配備を推進する。 ○学校図書更新可能冊数(予定): 小学校 5,700冊 中学校 3,200冊 特別支援学校 55冊			
	取組成果	・児童生徒の興味関心に応じた図書資料や情報を得られる図書資料、学習に役立つ本等を各学校の実態に応じて補充し、読書環境の整備を図った。 ○令和5年度学校図書購入冊数 小学校 5,605冊/中学校 3,534冊/特別支援学校 77冊			
No	取組名	事業費 (千円)	1,369	担当課	図書館
2	子どもの読書活動推進事業				
	具体的な取組内容	子どもが言葉や知識を身につけ、創造力や感性を磨き、思考力や表現力を高め、人生をより深く生きる力を身につけるため、各世代向けの事業を行う。 ○主な内容: (1)4カ月児健診時の絵本プレゼント(ブックスタート) (2)3歳6カ月児健診時の読書啓発(ブックステップ) (3)中高生のビブリオバトルの開催 (4)小・中学生全員を対象とした「読書オリムピックふくしまっ子大会2023」として「読書ハードル」を書店等と共創イベントとし実施			
	取組成果	「10分読書運動」、「ふくしま読書の日」の普及・啓発を、ポスターや市広報紙、ラジオ、学校での放送等を通じて行ったほか、「ふくしま読書の日」において、おはなし会、映画会、貸出2倍キャンペーン、当日本を借りた方へのプレゼント等を実施するなど、子どもの読書活動推進の機運を盛り上げ、市全体への波及を図った。また、小中学校向けの学校支援図書セットの貸出やブックスタート・ブックステップ等の実施により子どもの読書活動や環境整備の推進に努めた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①学校図書館支援事業 [35,764] (図書館)	②図書サービスの充実 [17,784] (図書館)
③学校図書館ICT化事業 [131,865] (学校教育課)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

学校図書館システムが導入されたことで、今まで以上に子どもの読書環境が整備された。今後、有効に活用し、機能を十分に発揮できるよう、各学校の担当者等を対象とした研修の機会を設ける。
また、学校と市立図書館、地域、家庭との連携を強化して読書を推進し、子どもが読書に対して興味・関心を高めることができるようにする。さらに、各学校で実施している事例を市内に発信し、互いに共有することで取り組みの改善につながるようにする。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------

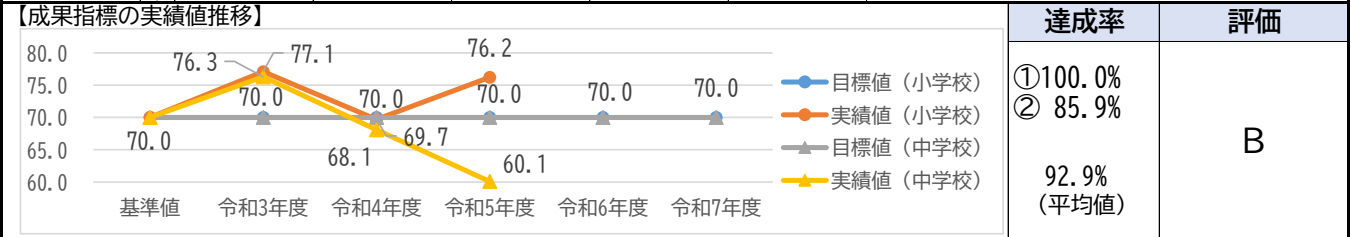
成果指標 6. 学力を伸ばした児童生徒の割合(小学5・6年、中学1・2年)

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 2. 学校教育の充実
--------	----------------------

指標の説明	学力を伸ばした児童生徒の割合により、学習内容の習得状況をはかる指標です。 ※ふくしま学力調査
-------	---

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小学校)	目標値	①70.0	①70.0	①70.0	①70.0	①70.0	児童生徒の実態に応じた対応や学習意欲を向上させる取組により、小学5・6年生、中学1・2年生ともに70%を目指します。
—	実績値	②70.0	②70.0	②70.0	②70.0	②70.0	
②(中学校)	目標値	①77.1	①69.7	①76.2			
—	実績値	②76.3	②68.1	②60.1			
%	達成率	①100.0%	①99.6%	①100.0%			
		②100.0%	②97.3%	②85.9%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	学力向上推進事業	事業費 (千円)	担当課	学校教育課
1	具体的な 取組内容	各小中学校の学力向上へ向けた取組を推進するため「全国学力・学習状況調査」及び「ふくしま学力調査」の結果を分析し、効果的な取組や手立ての共有化を図るとともに、中学校区単位で学力向上に関する会議を開催する。また、各学校からの要請に応じ授業研究会等に指導主事を派遣する。 ○学力向上グレードアップ会議 ○学力グレードアップ指導主事派遣			
	取組成果	○すべての中学校区において、6月と2月に会議を開催した。小中学校の学力向上担当教員が各校の学力の現状と改善に向けた取組について共有するとともに、中学校区の実態に応じた共通実践事項について協議を行った。 ○小中学校からの要請に応じ、延べ37人の指導主事を派遣し、授業改善と学力向上に向けた指導助言を行った。			
No	取組名	学力向上サポート事業	事業費 (千円)	10,556	担当課 学校教育課
2	具体的な 取組内容	重点課題の一つである中学校数学科の学力向上のため、学習支援員を配置し、授業等における個に応じた手厚い指導を実施する。また、小学校算数科の学力向上のため、教育委員会が選定した学校に、学力向上担当指導主事を継続的に派遣し、直接授業を実施するほか、当該校の学力向上策について指導助言する。 ○【小】学力向上担当指導主事の派遣（令和5年度は渡利小学校）○【中】中学校学習支援員の配置 11校 ○【小・中】学力向上推進訪問（算数・数学科の授業に特化した指導主事の訪問）			
	取組成果	○中学校に学習支援員を配置し、個に応じた指導及び昼休み時間等を活用した学習支援により、できる・わかる喜びを味わわせることができた。 ○学力向上担当指導主事による授業実践を公開したり、授業記録を公開し取組のよさを広げたりすることにより、教員の授業改善への意識が向上し、授業改善につながった。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①学力グレードアップ指導主事派遣(学校教育課) ②ICT教育ビューチャービジョン推進事業[396,234](教育研修課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。なお、中学生の学力が前年度からの低下が見られるが、教育のまち子育てのまちとして選ばれるために、学力向上の取り組みを行う必要がある。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

学力向上担当指導主事による授業を、小学校だけでなく中学校教員にも公開し、よりよい授業のイメージを共有することで、算数・数学科の授業改善につなげる。

また、学力向上担当指導主事を中学校に派遣し、授業づくりの支援を行っていくことも検討していく。さらに学習支援員の業務内容について、県が派遣している学力向上支援アドバイザー(数学科)を参考にし、現在の生徒中心の支援から教師への支援(授業づくり、授業力向上に向けた助言など)に切り替えることで、中学校の教員に直接働きかけ、中学校数学科の授業改善につなげる。

指標進捗管理担当	(主)	教育研修課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標

7. 授業にICT機器(タブレットPC・タブレット端末)を活用して指導できると回答する教員の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 3. 学びの環境の充実					
指標の 説明		教員のＩＣＴ機器（タブレットＰＣ・タブレット端末）を用いた指導力をはかる指標です。 ※学校における教育の情報化の実態等に関する調査（教員のＩＣＴ活用指導力等の実態）					
基準値 （令和元年度）	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
54.4	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	ＩＣＴ機器の急速な配備（指導者用タブレット ＰＣと学習者用タブレット機器の一人一台配 置）に応じた教員の指導力の向上が不可欠であ るため、全ての教員が授業においてＩＣＴ機器 を有効に活用できることを目指します。
	実績値	65.2	65.8	88.1			
	%	100.0%	73.1%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>54.4</td><td>54.4</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>65.0</td><td>65.2</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>70.0</td><td>65.8</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>75.0</td><td>88.1</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>85.0</td><td>85.0</td></tr></tbody></table>						年度	目標値	実績値	基準値	54.4	54.4	令和3年度	65.0	65.2	令和4年度	70.0	65.8	令和5年度	75.0	88.1	令和6年度	80.0	80.0	令和7年度	85.0	85.0	100.0%	A
年度	目標値	実績値																										
基準値	54.4	54.4																										
令和3年度	65.0	65.2																										
令和4年度	70.0	65.8																										
令和5年度	75.0	88.1																										
令和6年度	80.0	80.0																										
令和7年度	85.0	85.0																										

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	6,791	担当課	教育研修課
1	ICT研修推進事業				
	具体的な取組内容	・学校に導入した端末やソフトウェアの操作・活用方法について、ICT指導員や指導主事による研修を実施する。また、有識者を招聘し、各学校のICT推進役となる教職員向けの研修も行い、授業にICT機器を活用して指導できる教員の割合を増やす。 ○主な内容：フォローアップ研修、ニーズに応じた専門的な研修、全体研修など			
2	取組成果	・活用度合に差が生じているという課題に対し、本市へ赴任してきた教職員や操作に不慣れな教職員向けの基本的な研修から、大手IT企業の講師を招聘した専門的で実践的な研修まで活用能力に応じた研修を実施した。アンケートでは「丁寧に教えていただいた」、「期待値以上」などの感想が寄せられ、成果指標の実績値も前年度比133.9%まで上がった。			
	取組成果	・4年度は成果指標が目標値に満たなかったため、「全市一斉オンライン授業の日」などの主要事業のほか、臨時的に指導主事による「学校のICT活用支援訪問」を実施した。本調査によりICT活用の課題や成果を把握することができ、結果を全校で共有するとともに、今後の研修や支援の在り方について検証を行うことができた。これらの取り組みにより、5年度の実績値は、目標値を大きく上回ることができた。			
No	取組名	事業費 (千円)	396,234	担当課	教育研修課
2	ICT教育フューチャービジョン推進事業				
	具体的な取組内容	・児童生徒が日常的に端末を活用する「福島型オンライン授業」を定着させるため、安心して利用できる端末やネットワークの適切な管理と、導入したICT機器の活用支援を行い、児童生徒の個別最適化された学びの実現と情報活用能力の育成を図る。 ○主な内容：全市一斉オンライン授業の日、端末貸借、ICT支援員派遣業務、スキルアンケート調査など			
2	取組成果	・4年度は成果指標が目標値に満たなかったため、「全市一斉オンライン授業の日」などの主要事業のほか、臨時的に指導主事による「学校のICT活用支援訪問」を実施した。本調査によりICT活用の課題や成果を把握することができ、結果を全校で共有するとともに、今後の研修や支援の在り方について検証を行うことができた。これらの取り組みにより、5年度の実績値は、目標値を大きく上回ることができた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

--	--	--	--	--	--

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

技術開発や社会への実装が速い分野であるため、国や先進自治体、関係事業者から情報を収集しながら、教職員のICT活用について支援する必要があると考えている。機器の更新を予定していることから、活用支援をより充実させるため、技術レベルに合わせた研修の実施や、ICT機器の使い方に関する動画研修の作成など、教職員が必要とするタイミングで、確認できる体制を整えていく。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------

成果指標

8. 家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合(中学3年)

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 3. 学びの環境の充実					
指標の 説明		家庭学習への計画的な取組により、自己実現に向けて生涯にわたる学びの習慣を身に着けている状況を表 かる指標です。 ※全国学力・学習状況調査					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
49.6 %	目標値	50.4	51.3	52.2	53.1	54.0	学校と家庭の連携などにより、家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合の向上を目指します。
	実績値	68.1	61.5	60.7			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>【成果指標の実績値推移】</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>49.6</td><td>50.4</td><td>51.3</td><td>52.2</td><td>53.1</td><td>54.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>68.1</td><td>61.5</td><td>60.7</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	49.6	50.4	51.3	52.2	53.1	54.0	実績値		68.1	61.5	60.7			100.0%	A
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	49.6	50.4	51.3	52.2	53.1	54.0																						
実績値		68.1	61.5	60.7																								

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	670	担当課	学校教育課
1	具体的な取組内容 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校の学びのつながりを重視した学習を推進するとともに、中学校区における各校・園等及び保護者との共通理解による「家庭学習の手引き」等の自校化と実践を進めることにより、自らの学びをマネジメントする力を育成する。 ○対象施設：公立小中学校、公・私立幼稚園、認定こども園、公・私立保育所、地域型保育施設、認可外保育所 計 197施設 取組成果 幼・保・小・中学校の担当者が家庭学習の状況やタブレットの活用等について情報交換し、発達段階に応じた家庭学習の内容や方法について検討し「家庭学習の手引き」等により家庭に発信した。また、各中学校区でメディアコントロールの取組を定期的に実施し、生活習慣の改善を図ることに努めた。				
No	取組名	事業費 (千円)	396,234	担当課	教育研修課
2	具体的な取組内容 授業において、各教科等の特質に応じて、児童生徒一人一台端末を活用した学習活動の充実を図るとともに、緊急時の家庭学習支援を見通し、定期的に児童生徒一人一台端末の持ち帰り学習を実施する。 ○主な内容：児童生徒一人一台端末の活用（学校、家庭） 取組成果 児童生徒1人1台端末を活用して家庭で取り組める課題を紹介し、原則毎日の持ち帰りを実施した。また、学級閉鎖等の緊急時においても児童生徒の学びを止めないために、緊急時を想定した「全市一斉オンライン授業の日」を実施し、児童生徒1人1台端末を活用した家庭学習支援を行うことができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、「幼・保・小・中連携推進事業」において、年度当初に各中学校区の担当者が集まりそれぞれの家庭学習への取組内容等を共有し、系統的・連続的に進めていくことを確認していく。
また、家庭学習のあり方について、授業と関連した内容とする等、必要感のある家庭学習となるよう検討し、子どもが主体的に取り組めるようにしていく。さらに、取組について家庭の理解と協力が得られるよう引き続き啓発していく。

指標進捗管理担当	(主)	教育施設管理課	(副)	
成果指標 9. 学校施設の更新及び長寿命化改修数				

1 成果指標の概要									
関連する施策	【個別施策】 3. 学びの環境の充実								
指標の説明	学校施設全体の改築及び長寿命化改修の取り組みにより、学校の教育環境の改善状況をはかる指標です。								
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠		
1 (1件)	目標値	3	5	7	9	11 (13件)	学校施設全体の改築及び長寿命化改修を計画的に進めることにより、今後5年間に11校13件の事業に着手することを目指します。		
	実績値	6	6	6					
	達成率	100.0%	100.0%	83.3%					
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価	
							83.3%	B	

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	松陵中学校校舎等改築事業	事業費 (千円)	1, 202, 370	担当課	教育施設管理課
1	具体的な 取組内容	施設老朽化が著しく、耐震性の不足が確認されている松陵中学校について改築工事を実施し、学校の教育環境の改善を図る。 ○改築設計委託事業（令和2～4年度） ○改築事業（令和4～6年度）				
	取組成果	校舎改築事業施工中				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な 取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①瀬上小学校屋内運動場改築事業[42, 090]（教育施設管理課） ②余目小学校屋内運動場改築事業[314, 984]（教育施設管理課） ③西信中学校屋内運動場改築事業[67, 071]（教育施設管理課） ④渡利中学校屋内運動場改築事業[398, 707]（教育施設管理課） ⑤ふくしま支援学校校舎等改築事業[830, 301]（教育施設管理課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
財源の確保に努めるとともに、事業実施に向けて調整・検討を進め、子どもたちの良好な学習環境の確保を図る。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	産業雇用政策課、生涯学習課
----------	-----	------------	-----	---------------

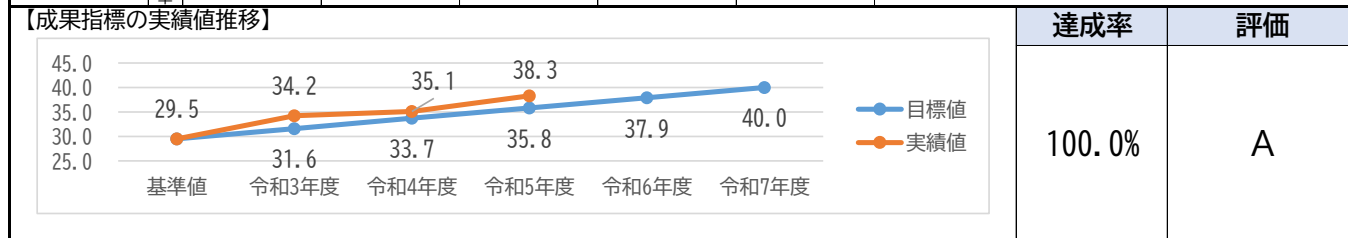
成果指標 10. 女性委員の参画割合

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 4. 男女共同参画・人権尊重の推進
--------	-----------------------------

指標の説明	市政における政策や方針決定の場への女性の参画状況をはかる指数です。
-------	-----------------------------------

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
29.5	目標値	31.6	33.7	35.8	37.9	40.0	様々な意思決定過程に男女がバランスよく参画し、多様な意見を反映させるため、男女のいずれか一方の委員の数が、総数の10分の4未満としないことを目指します。
	実績値	34.2	35.1	38.3			
%	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	469	担当課	男女共同参画センター
1	男女共同参画啓発事業				
	具体的な取組内容	男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」の募集事業の実施、広報のためのWebマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成により、男女共同参画意識および人権尊重意識の啓発を図る。 ○対象内容：(1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集 (2)Webマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成			
	取組成果	男女共同参画意識及び人権尊重意識の啓発を図るため、以下の取り組みを行った。 (1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集…548作品 (2)WEBマガジン「ふくしまさんかく通信」…6回、4コマ漫画…9回 社会情勢に対応したテーマ設定など、啓発方法や内容について工夫した。			

No	取組名	事業費 (千円)	2,369	担当課	生涯学習課
2	女性学級開設・女性教育振興事業				
	具体的な取組内容	女性が自発的な学習意欲を持ち、豊かな人間性を培うとともに一人一人の個性と能力を十分に発揮し、社会において活躍できるよう支援する。 また、女性共通の課題の学習と、女性のリーダーを育成するため各種講座・研修会を実施する。 ○対象内容：(1)地域連帯意識の形成に寄与する (2)現代的・社会的課題への理解を深める (3)自らの能力開発に努める			
	取組成果	各学習センターにおいて、女性学級を開設し、健康・日常生活に役立つ学びやSDGs等現代的・社会的課題へ理解を深める学習等を通して団体活動を体験し、特色ある学級づくりに努めた。 また、女性教育の振興をはかるため、各学習センターに女性教育指導員を配置した。 ○実績 女性学級開設：16学習センター26学級 計438回開催 女性教育指導員：16学習センターに設置			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位：千円)

①働く女性応援事業[1, 203] (産業雇用政策課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。
なお、4割が目標となっているが、5割を目標に掲げていくような取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

上記結果について全庁的に共有のうえ、さらなる参画率の向上を図る。
また、審議会等における委員構成について、必要に応じて選出方法の見直しを検討するなど、関係各課の協力を得ながら、参画割合の向上に向けて、さらなる取り組みを図る。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	こども家庭課
----------	-----	------------	-----	--------

成果指標

11. DVの被害、認識状況の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 4. 男女共同参画・人権尊重の推進						
指標の 説明		特に女性が被害者となりやすい、配偶者や恋人などから受ける暴力の存在をはかる指標です。 ※男女共同参画に関する意識調査（DV被害を受けたことがある、身近で見聞きしたことがある人の割合）						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
24.1 %	目標値	基準値未満	基準値未満	基準値未満	基準値未満	基準値未満	あらゆる暴力行為は犯罪となりうる重大な人権侵害であるため、基準値からの減少を目指します。	
	実績値	18.7	19.5	18.8				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								
							達成率	評価
							100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	5,999	担当課	こども家庭課
1	女性相談事業				
	具体的な取組内容 配偶者等からの暴力や離婚、生活の悩み等、女性からの相談に対応するため、専門の女性相談員を配置する。相談内容に応じ、庁内関係各課や福島県女性のための相談支援センター等を紹介して女性の自立を支援する。 また、DV等は子どもの心理的虐待にあたることから、女性保護の観点に加えて、児童福祉部門と連携し児童保護の観点を踏まえて相談対応を行う。 併せて、市HP等において女性に関する情報を掲載し、相談先の周知や被害に関する普及啓発を行う。				
2	取組成果	離婚に関して必要な手続きの助言や、関係機関の斡旋を行った。 DV被害者に対しては、警察や女性のための相談支援センターと連携を取り、適切な保護や自立の支援を行った。 子どもの虐待を含むケースについては、児童相談所等の関係機関と連携を取りながら適切な支援を行った。 相談件数（延べ）859件			
	具体的な取組内容 男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」の募集事業の実施、広報のためのWebマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成により、男女共同参画意識および人権尊重意識の啓発を図る。 ○対象内容：(1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集 (2)Webマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成				
3	取組成果	男女共同参画意識及び人権尊重意識の啓発を図るため、以下の取り組みを行った。 (1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集…548作品 (2)WEBマガジン「ふくしまさんかく通信」…6回、4コマ漫画…9回 社会情勢に対応したテーマ設定など、啓発方法や内容について工夫した。			
	具体的な取組内容 男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」の募集事業の実施、広報のためのWebマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成により、男女共同参画意識および人権尊重意識の啓発を図る。 ○対象内容：(1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集 (2)Webマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①ひとり親家庭自立支援事業[8,028]（こども家庭課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、女性相談事業に関する相談先の周知や被害に関する普及啓発を行う。 併せて、相談内容に応じ、関係各課や関係機関と連携し、児童保護の観点を踏まえて相談対応を行う。 さらに、男女共同参画及び人権意識の観点からの啓発を図る。
--

指標進捗管理担当	(主)	保健総務課	(副)	衛生課、健康づくり推進課、農業振興課、環境課、環境再生推進課、幼稚園・保育課、公園緑地課、教育施設管理課
----------	-----	-------	-----	--

成果指標	12. 講座受講後の不安軽減率	★重点施策の再掲
------	-----------------	----------

1 成果指標の概要																												
関連する施策		【個別施策】 5. 放射線対策の充実																										
指標の説明		放射線に関する健康講座を受講した後の不安軽減率により、放射線に関する正しい知識の理解度をはかる指標です。																										
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
88.9 %	目標値	89.5	90.1	90.7	91.3	92.0	不安を抱えている市民に寄り添った健康講座の開催により、不安軽減率が年0.5%程度増加することを目指します。																					
	実績値	82.2	85.5	96.1																								
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>【成果指標の実績値推移】</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>88.9</td><td>89.5</td><td>90.1</td><td>90.7</td><td>91.3</td><td>92.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>88.9</td><td>82.2</td><td>85.5</td><td>96.1</td><td>91.3</td><td>92.0</td></tr></tbody></table>							項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	88.9	89.5	90.1	90.7	91.3	92.0	実績値	88.9	82.2	85.5	96.1	91.3	92.0	
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	88.9	89.5	90.1	90.7	91.3	92.0																						
実績値	88.9	82.2	85.5	96.1	91.3	92.0																						
							達成率	評価																				
							100.0%	A																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	仮置場返還等推進事業	事業費 (千円)	985,971	担当課	環境再生推進課
1	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消				
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR5実績 12箇所 ※R5までに全41箇所中35箇所の返還が完了 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR5実績 20件 ※R5までに全203件中39件を解消				
No	取組名	放射線健康管理事業	事業費 (千円)	50,883	担当課	保健総務課
2	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催				
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査、及びガラスバッジによる外部被ばく量測定の検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、96.1%の受講者から放射線への基本的な知識と健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 7,268件 ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 452件 ○放射線と市民の健康講座の開催 7回 516人				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①放射性物質吸収抑制対策事業〔22,853〕（農業振興課） ②環境放射線量測定事業〔21,728〕（環境課、公園緑地課） ③農産物・食品等放射能測定事業〔69,786〕（環境課、衛生課、農業振興課） ④給食まるごと検査事業〔47,541〕（幼稚園・保育課、教育施設管理課） ⑤一般健康診査対象者拡大事業〔96〕（健康づくり推進課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き、国や県と連携しながら今後も着実に事業を実施することで、放射線の基本的な知識の理解と健康への不安軽減を推進する。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課、障がい福祉課、予防課 ほか
成果指標 13. 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数				

1 成果指標の概要

関連する施策		【個別施策】 6. 危機管理・防災減災体制の充実																																									
指標の説明		地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数により、幼少期からの危機管理・防災減災に対する危機対応力と地域防災の担い手の育成度、地域と学校の連携度をはかる指標です。																																									
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																																				
① (小中学校) — ② (児童生徒) — ①校、②人	目標値	①5 ②約2, 250	①20 ②約6, 000	①35 ②約10, 000	①50 ②約14, 000	①全65 ②約18, 000	地域の実情を踏まえた、より実践的な防災減災に学び触れる機会などの一層の推進を図ることにより、すべての小中学校、児童生徒への実施を目指します。																																				
	実績値	①5 ②2, 182	①21 ②7, 366	①35 ②11, 941																																							
	達成率	①100. 0% ②97. 0%	①100. 0% ②100. 0%	①100. 0% ②100. 0%																																							
【成果指標の実績値推移】																																											
<table><caption>【成果指標の実績値推移】データ表</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>小中学校 (目標値)</td><td>5</td><td>20</td><td>35</td><td>50</td><td>65</td><td>65</td></tr><tr><td>小中学校 (実績値)</td><td>2,250</td><td>6,000</td><td>10,000</td><td>11,941</td><td>14,000</td><td>18,000</td></tr><tr><td>児童生徒 (目標値)</td><td>2,182</td><td>7,366</td><td>11,941</td><td>14,000</td><td>18,000</td><td>18,000</td></tr><tr><td>児童生徒 (実績値)</td><td>2,182</td><td>7,366</td><td>11,941</td><td>14,000</td><td>18,000</td><td>18,000</td></tr></tbody></table>							項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	小中学校 (目標値)	5	20	35	50	65	65	小中学校 (実績値)	2,250	6,000	10,000	11,941	14,000	18,000	児童生徒 (目標値)	2,182	7,366	11,941	14,000	18,000	18,000	児童生徒 (実績値)	2,182	7,366	11,941	14,000	18,000	18,000	達成率	評価
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																					
小中学校 (目標値)	5	20	35	50	65	65																																					
小中学校 (実績値)	2,250	6,000	10,000	11,941	14,000	18,000																																					
児童生徒 (目標値)	2,182	7,366	11,941	14,000	18,000	18,000																																					
児童生徒 (実績値)	2,182	7,366	11,941	14,000	18,000	18,000																																					
							①100. 0% ②100. 0%	A																																			

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	防災意識醸成・危機対応力向上事業	事業費 (千円)	639	担当課	危機管理室
1	具体的な取組内容	子どもたちの防災意識向上を図るため、防災に関するアンケートを実施し、災害への備えや避難行動等について家族と一緒に考える機会を創出する。○実施校：福島一小ほか13校 また、様々な世代の防災意識醸成と危機対応力向上を図るため、学校や企業、地域で「ぼうさい体験パッケージ」を実施し、子どもから大人まで気軽に楽しく防災について学ぶ機会を創出する。				
	取組成果	中央地区・清水地区の小中学校14校、約4,600人の児童生徒を対象に、災害について家族と一緒に考える機会を創出し、日頃からの防災意識の向上につなげるためアンケートを実施した。 また、気軽に楽しみながら学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を学校、企業、地域において実施し、災害時の危機対応力の向上を図った。○実績：学校9校 企業5社 地域6団体				
No	取組名	地域防災訓練	事業費 (千円)	1,185	担当課	危機管理室
2	具体的な取組内容	地域防災対策に関する課題への対応力向上を図るため、地震災害・風水害・火山災害等、各地域で発生する可能性が高い災害を想定し、幅広い層の地域住民が連携・参加できる防災訓練を実施する。 ○実施地区：災害対策現地本部となる各支所・茂庭出張所を単位とする18地区 ○補助内容：一地区75,000円（総合防災訓練実施地区を除く）				
	取組成果	自主防災組織など多くの市民の参加協力のもとに自助・共助を基調に地域の特性に応じた実効性のある訓練を実施し、災害時における迅速かつ的確な防災体制の確立と地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図ることができた。 ○実施地区：災害対策現地本部となる各支所・茂庭出張所を単位とする18地区				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①自主防災組織育成事業 [543]（危機管理室） ②要援護者支援パッケージ事業 [29,513]（危機管理室ほか） ③ふくしま防災体験フェア [985]（危機管理室） ④避難行動要支援者支援事業 [20,837]（長寿福祉課ほか） ⑤障がい者に配慮した災害時支援事業 [0]（障がい福祉課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

当初計画に基づき、引き続き目標を達成できるよう取組を推進する。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課
成果指標		14. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数		★重点施策の再掲

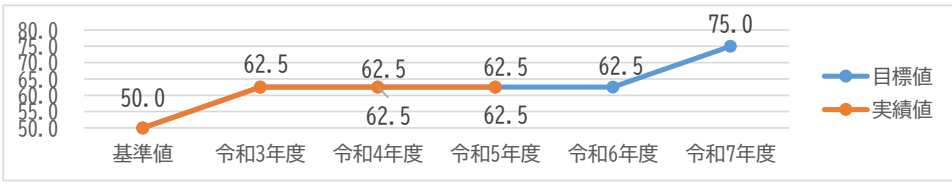
1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 6. 危機管理・防災減災体制の充実																												
指標の 説明	地区防災マップ・防災計画を策定している地区数により、市民防災力の充実度をはかる指標です。																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
0 地区	目標値	2	4	6	8	10	防災意識の醸成により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を10地区目指します。																						
	実績値	1	3	7																									
	達成率	50.0%	75.0%	100.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>0</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td></tr><tr><td>実績値</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>7</td><td>8</td><td>10</td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	0	2	4	6	8	10	実績値	0	1	3	7	8	10	達成率	評価
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	0	2	4	6	8	10																							
実績値	0	1	3	7	8	10																							
							100.0%	A																					

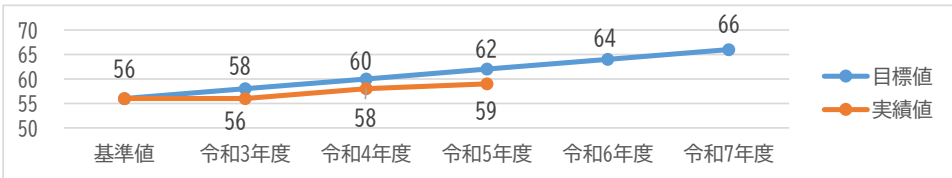
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	地域防災力強化事業	事業費 (千円)	4,512	担当課	危機管理室
1	具体的な取組内容	地域コミュニティの強化と災害に強いまちづくりを推進するため、地域の実態に応じた地区防災マップや地区防災計画の作成を支援する。 ○実施内容：(1)防災専門家による防災講話の実施 (2)防災ワークショップの開催 (3)地区防災マップ・地区防災計画の作成支援 ○対象地区：(1)防災マップ：清明学区、小倉寺地区、湯野地区、土船地区、瀬上地区 (2)防災計画：清明学区、渡利地区、吉井田地区、上鳥渡地区				
	取組成果	地域住民が主体となり、地区の防災マップや防災計画を作成することで、自助・共助の意識の醸成や地域防災力の強化に寄与するとともに、「自らの地域は自分たちが守る」という住民意識の向上につながった。				
No	取組名	避難行動要支援者支援事業	事業費 (千円)	20,837	担当課	長寿福祉課、障がい福祉課 危機管理室
2	具体的な取組内容	災害時における要支援者の避難に備え、福祉専門職や地域の協力を得ながら、個別避難支援プランの作成を進める。避難行動要支援者の登録台帳を整備するとともに、新規登録勧奨を進める。 ○実施内容：(1)福祉専門職による個別避難支援プランの作成業務委託 (2)地域による個別避難支援プランの作成支援 (3)福祉避難所の追加指定				
	取組成果	○避難行動要支援者名簿登録者数：12,253人（R5.12.15時点） ○個別避難支援プラン作成数（R5年度末時点） ・目標数3,801件（浸水想定区域内）に対し、作成済み404件 ○福祉避難所（障がい者関係） 新規避難所確保のため、事業所に対し周知啓発を行い、1事業所と協定締結（R5末現在：12法人21事業所）				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①災害対策オペレーションシステムの運用[67,943]（危機管理室） ②障がい者に配慮した災害時支援事業[0]（障がい福祉課） ③自主防災組織育成事業[543]（危機管理室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成しているが、すべての地区が策定することを考えると、目標の設定を上げて策定ペースを早める必要がある。 また、住民の自主的な計画策定が進むよう行政の手助け、橋渡しを戦略的に進める必要がある。 なお、要支援者の個別避難支援プランの作成も加速が望まれる。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
地区防災計画の策定については、過去の災害で浸水した地域を優先的に支援を行っており、今後も地区の意向を踏まえ、自主的な作成を促すとともに、支援を継続し、計画策定の推進に努めてまいります。 また、個別避難支援プランについても地域作成と福祉専門職への業務委託を進め、進捗を上げてまいります。

指標進捗管理担当		(主)	消防総務課		(副)			
成果指標		15. 消防庁舎耐震化率						
1 成果指標の概要								
関連する施策		【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実						
指標の説明		耐震改修促進法による消防庁舎耐震化率により、消防力の充実度をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
50.0	目標値	62.5	62.5	62.5	62.5	75.0	福島市公共施設等総合管理計画に基づく計画的な庁舎整備により、耐震化率75%を目指します。	
	実績値	62.5	62.5	62.5				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価	
						100.0%	A	
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み								
No	取組名	消防本部・福島消防署整備事業			事業費 (千円)	96,994	担当課	消防総務課
1	具体的な取組内容	プロポーザル方式により設計者を選定し基本設計に着手するほか、建設予定地である市民会館を中心とした用地測量や地質調査を実施する。 ○対象内容：(1)プロポーザルに基本設計者選定 (2)基本設計 (3)用地測量 (4)地質調査 ○進捗状況：(1)基本設計者を選定 (2)基本設計を完了 (3)用地測量を実施 (4)地質調査を実施						
	取組成果	各担当課と連携をとり進捗やスケジュールの管理を行い、年度内に事業を終了することができた。 プロポーザル基本設計者選定（令和5年5月9日に選定完了） 基本設計（令和6年3月15日完了） 用地測量（令和5年5月31日完了） 地質調査（令和6年3月29日完了）						
No	取組名				事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容							
	取組成果							
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）								
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価								
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。 当該指標は、目標最終年度までの間、実績値の変動が見込まれないと思慮されることから、途中年度の進捗測定に適した指標の検討もされたい。								
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性								
消防庁舎の耐震化に係わる事業毎の進捗を確認できるよう、取組成果欄を活用し具体的な進捗を報告していく。								

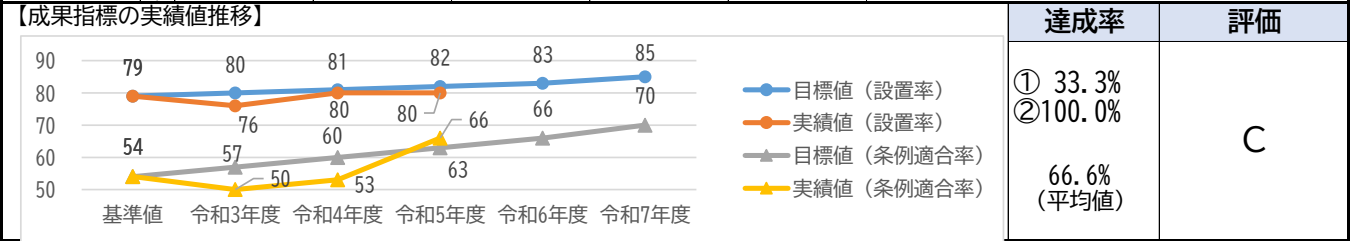
指標進捗管理担当		(主)	救急課		(副)	消防総務課	
成果指標		16. 救急救命士の人数					
1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実					
指標の説明		救急救命士の人数により、救急医療サービスの充実度をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
56 名	目標値	58	60	62	64	66	高度な知識と技術を持つ救急救命士の計画的な養成により、10名の増員を目指します。
	実績値	56	58	59			
	達成率	0.0%	50.0%	50.0			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						50.0%	D
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	救急救命士養成研修事業			事業費 (千円)	5,356	担当課 消防総務課 救急課
1	具体的な取組内容	10隊の救急隊全てを救急救命士運用隊として安定稼働し、救急医療サービスを持続的に提供するため、救急救命士を養成する。 ○対象内容：(1)救急救命士養成研修への参加 (2)研修教材費 (3)東京研修所負担金 ○育成数：2名（令和5年度）					
	取組成果	救急救命士養成研修に2名派遣した。					
No	取組名				事業費 (千円)		担当課
2	具体的な取組内容						
	取組成果						
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）							
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価							
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。							
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性							
職員採用試験において、救急救命士枠を新設し有資格者を採用することで、救急救命士の増員を図る。							

指標進捗管理担当	(主)	予防課	(副)	消防総務課
----------	-----	-----	-----	-------

成果指標	17. 住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)
------	-------------------------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実					
指標の説明	住宅用火災警報器の設置率により、住宅防火対策の強化をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①(設置率)	目標値	①80	①81	①82	①83	①85
	実績値	②57	②60	②63	②66	②70
②(条例適合率)	目標値	①76	①80	①80		
	実績値	②50	②53	②66		
%	達成率	①0.0%	①50.0%	①33.3%		
		②0.0%	②0.0%	②100.0%		



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	40	担当課	予防課
1	女性防火クラブ被服等整備事業	クラブ員により住宅用火災警報器の設置と維持管理の徹底について広報活動をする。 ○広報時期(予定): 春季火災予防週間(3月1日~7日)、秋季火災予防週間(11月9日~15日)、消防フェア(3月2日) ○クラブ員定数: 444名			
	取組成果	被服等を整備、消防団関係行事や地区の行事等に参加し、住宅用火災警報器の設置促進活動や火災予防活動を実施した。			
No	取組名	事業費 (千円)	560	担当課	消防総務課
2	学生団員活動(機能別団員制度)	学生団員活動(市内に居住し、又は市内の大学、専門学校等に通学するもののうち、主に火災予防活動や広報活動を行う団員)を推進する。 ○活動内容: (1)火災予防活動や入団促進 (2)イベント等による防火広報 (3)大規模災害時における避難所開設等の後方支援 ○学生団員数: 50名(上限目安)			
	取組成果	夏休みや火災予防運動期間中のイベントにおいて、火災予防広報や消防団入団促進の活動を実施した。 ※ 活動協力3校: 桜の聖母短期大学、福島学院大学、大原看護専門学校 ※ 協力者数: 夏休み子ども消防フェア7名、令和6年春季福島市火災予防運動消防フェア6名			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位: 千円)

①住宅用火災警報器設置状況等調査(予防課・消防総務課) ②高齢者対策事業(予防課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

女性防火クラブと消防団学生団員が連携し、さまざまなイベント活動を通じて一般市民に直接アプローチし、住宅用火災警報器の重要性を呼びかける。また、SNSや広報誌等を活用しながら、火災予防の啓発活動を行う。 また、住宅火災における高齢者の死者割合が高い現状を踏まえ、高齢者世帯に特化した対策として、外郭団体が実施する住宅用火災警報器の給付事業を案内するほか、取り付け支援を実施するなど、設置率向上と住宅火災による死傷者の減少を目指す。

指標進捗管理担当	(主)	生活課	(副)	道路保全課、学校教育課
----------	-----	-----	-----	-------------

成果指標	18. 1年間の交通事故による死者数
------	--------------------

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 8. 安心安全な市民生活の確保																												
指標の 説明	交通安全意識の高揚や交通環境の整備状況など交通安全に関する総合的な施策の取り組みの成果をはかる指標です。																												
基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
8 人	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下	毎年5以下	交通安全に対する意識の高揚や交通安全施設の整備等を推進し、交通事故による死者数を過去5年間平均よりも少ない毎年5人以下を目指します。																						
	実績値	3	8	7																									
	達成率	100.0%	62.5%	71.4%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>交通安全指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>5以下</td><td>8</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>5以下</td><td>3</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5以下</td><td>8</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>5以下</td><td>7</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>5以下</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>5以下</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	5以下	8	令和3年度	5以下	3	令和4年度	5以下	8	令和5年度	5以下	7	令和6年度	5以下		令和7年度	5以下		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	5以下	8																											
令和3年度	5以下	3																											
令和4年度	5以下	8																											
令和5年度	5以下	7																											
令和6年度	5以下																												
令和7年度	5以下																												
							71.4%	C																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	通学路等安全対策事業	事業費 (千円)	18,291	担当課	生活課、道路保全課、 学校教育課
1	具体的な 取組内容	児童等の安全を確保するため、小学校の通学路等の危険箇所について、関係機関等との合同点検に基づき、交通安全施設を整備する。 ○対象内容：(1)通学路の合同点検 (2)通学路の安全対策工事（側溝の蓋掛、カラー舗装等）				
	取組成果	●福島市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携して、西部地区の小学校8校を対象に、計15か所の合同点検を実施した。合同点検後、6箇所安全対策工事が行われ、通学路の安全確保を図ることができた。 ●通学路の安全対策工事：令和5年度は福島第三小学校、森合小学校、南向台小学校、笹谷小学校、渡利小学校、矢野目小学校、庭坂小学校、飯野小学校における路側帯のカラー化など安全対策を実施した。				
No	取組名	交通安全教育推進事業	事業費 (千円)	547	担当課	生活課
2	具体的な 取組内容	幼児から高齢者まで幅広い年齢層で交通安全意識の醸成を図るため、交通安全教育や各種啓発活動を実施する。 ○対象内訳：(1)交通安全教室の開催 (2)交通安全啓発活動用品の支給				
	取組成果	自転車の安全利用研修会や夜の交通安全教室等、各種啓発活動を実施した。残念ながら死者数は横ばいではあるものの、交通事故全体の件数は減少させることができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①交通教育専門員費 [12,848]（生活課）②交通安全運動推進費 [1,028]（生活課）③高齢者交通安全対策事業費 [275]（生活課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、高齢者の事故が増えてきており、警察と連携して事故の軽減に取り組み、市民の安心安全な生活を確保してもらうことを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き、幼児から高齢者まで全ての年齢層に対して、交通安全教育や各種啓発活動を実施するとともに、通学路等の安全対策に取り組み、安全安心な市民生活の確保に努める。 また、高齢者の交通事故防止を図るため、警察等と連携しながら、高齢者を対象とした交通安全講習を開催するなど交通安全意識の向上に取り組む。

指標進捗管理担当	(主)	健康づくり推進課	(副)	長寿福祉課、スポーツ振興課
成果指標		19. お達者度(65歳健康寿命)		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 9. 健康・医療体制の充実					
指標の 説明		65歳における健康寿命により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(男性) 17.52 ②(女性) 20.58	目標値	①17.60 ②20.65	①17.68 ②20.72	①17.76 ②20.79	①17.84 ②20.86	①17.92 ②20.94	健康づくりの取り組みを推進することにより、 健康寿命の延伸を目指します。
	実績値	①18.46 ②21.24	①18.46 ②21.24	①18.46 ②21.24			
	達成率	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%			

【成果指標の実績値推移】	達成率	評価																																			
<table><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値(男性)</td><td>17.52</td><td>17.60</td><td>17.68</td><td>17.76</td><td>17.84</td><td>17.92</td></tr><tr><td>実績値(男性)</td><td>17.52</td><td>18.46</td><td>18.46</td><td>18.46</td><td>18.46</td><td>18.46</td></tr><tr><td>目標値(女性)</td><td>20.58</td><td>20.65</td><td>20.72</td><td>20.79</td><td>20.86</td><td>20.94</td></tr><tr><td>実績値(女性)</td><td>20.58</td><td>21.24</td><td>21.24</td><td>21.24</td><td>21.24</td><td>21.24</td></tr></tbody></table>	項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(男性)	17.52	17.60	17.68	17.76	17.84	17.92	実績値(男性)	17.52	18.46	18.46	18.46	18.46	18.46	目標値(女性)	20.58	20.65	20.72	20.79	20.86	20.94	実績値(女性)	20.58	21.24	21.24	21.24	21.24	21.24	①100.0% ②100.0%	A
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																															
目標値(男性)	17.52	17.60	17.68	17.76	17.84	17.92																															
実績値(男性)	17.52	18.46	18.46	18.46	18.46	18.46																															
目標値(女性)	20.58	20.65	20.72	20.79	20.86	20.94																															
実績値(女性)	20.58	21.24	21.24	21.24	21.24	21.24																															

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	健都ふくしまの創造(地域の健康づくり)	事業費 (千円)	2,127	担当課	健康づくり推進課
1	具体的な取組内容	住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の特性に応じた市民の主体的な健康づくり活動を支援し、市民総ぐるみの健康づくりを推進する。 ○取組内容: ①生活習慣病等の地域の健康課題解決に向けた学習会や取組の実施 ②地区組織や団体関係機関とのネットワークづくり ③地域の健康づくり推進組織の活動や立ち上げへの支援				
	取組成果	感染対策も継続し、住民や組織と共に、コロナ禍で顕在化した地域の健康課題解決を考える学習会や話し合いの場を開催し、地域へ生活習慣病予防の取組、健康情報の普及啓発を行った。その結果、個人の健康づくりに留まらない地域全体での健康づくりの取組や人と人とのつながりに広がり、安心して暮らせる地域づくりに繋がっている。 ○取組実績: (1)健康づくりに関する健康教育 149回 延べ4,027人 (2)地域の健康づくり推進組織への活動支援・その他の地区組織との連携				
No	取組名	国民健康保険特定健康診査等事業	事業費 (千円)	236,980	担当課	健康づくり推進課
2	具体的な取組内容	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容: (1)特定健診・保健指導事業 (2)特定健康診査未受診者等対策 (3)糖尿病重症化予防事業 (4)高齢者のフレイル対策など				
	取組成果	特定健診を実施し、特定保健指導に該当した者に対し特定保健指導を実施した。また、特定保健指導の未利用者に対し電話による利用勧奨を実施し、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者 17,306人 受診率42.3%(速報値) ※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 206人 受診率14.3%(速報値) ※データヘルス計画目標値 45%				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①健康づくり推進事業[2,147](健康づくり推進課)	②受動喫煙防止対策[5,735](健康づくり推進課)
③「適しお」の推進(食環境整備)[2,919](健康づくり推進課)	④歯と口腔の健康づくり推進[452](健康づくり推進課)
⑤健都ふくしま創造市民会議[105](健康づくり推進課)	⑥職場の健康づくり[200](健康づくり推進課)
⑦いきいきももりん体操・お口のももりん体操[583](長寿福祉課)	⑧パラスポーツ振興事業[1,023](スポーツ振興課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

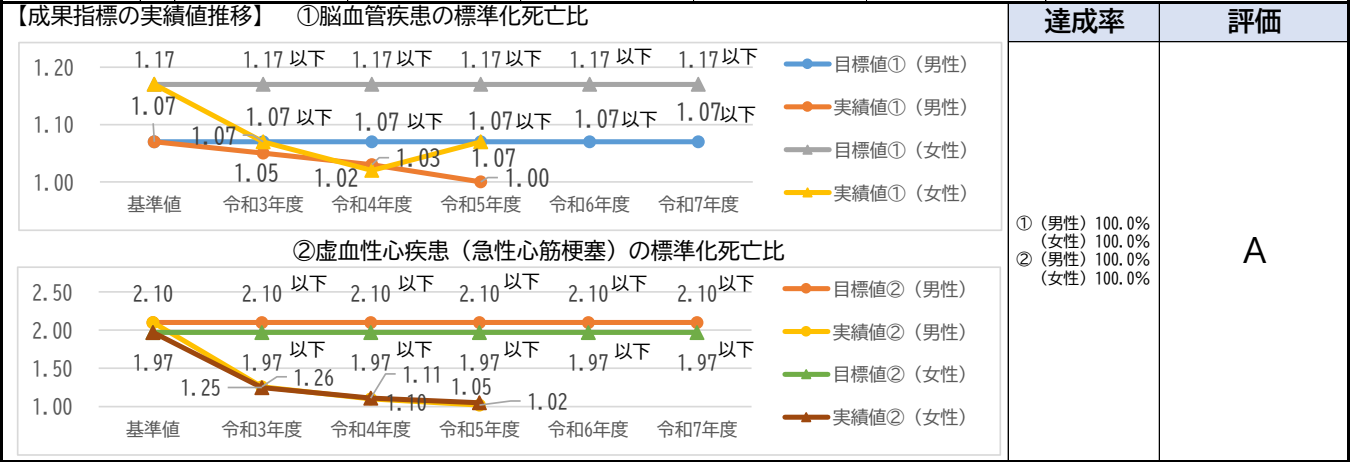
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていく。

成果指標	20. ①脳血管疾患の標準化死亡率 ②虚血性心疾患(急性心筋梗塞)の標準化死亡率
------	--

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 9. 健康・医療体制の充実					
指標の説明	人口構成の違いを除去した死亡率の比較により、市民の健康状況をはかる指標です。					
基準値 (H25-29)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①脳血管疾患の標準化死亡率 (男性) 1.07 (女性) 1.17 ②虚血性心疾患(急性心筋梗塞)の標準化死亡率 (男性) 2.10 (女性) 1.97	目標値	① (男性) 1.07以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下
	実績値	① (男性) 1.05 ② (男性) 1.26 (女性) 1.25	① (男性) 1.03 ② (男性) 1.10 (女性) 1.11	① (男性) 1.00 ② (男性) 1.02 (女性) 1.05		
	達成率	① (男性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%	① (男性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%	① (男性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%		
目標値の根拠		健康づくりの取り組みを推進することにより、脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡率の基準値以下を目指します。				



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	国民健康保険特定健康診査等事業	事業費 (千円)	236,980	担当課	健康づくり推進課
1	具体的な取組内容	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1) 特定健診・保健指導事業 (2) 特定健康診査未受診者等対策 (3) 糖尿病重症化予防事業 (4) 高齢者のフレイル対策など				
	取組成果	特定健診を実施し、特定保健指導に該当した者に対し特定保健指導を実施した。また、特定保健指導の未利用者に対し電話による利用勧奨を実施し、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1) 特定健診受診者17,306人 受診率42.3% (速報値) ※データヘルス計画目標値 60% (2) 特定保健指導者 206人 受診率14.3% (速報値) ※データヘルス計画目標値 45%				
No	取組名	健都ふくしまの創造(「適しお」の推進)	事業費 (千円)	2,919	担当課	健康づくり推進課
2	具体的な取組内容	健都ふくしま創造事業の「一人ひとりの健康づくりを応援する環境づくり」の一環として、「適しお(減塩)」を推進し、脳血管疾患や虚血性心疾患の予防を図る。 ○事業内容：(1) 「適しお(減塩)」の広報・周知 (2) 適しおサポーター事業 (3) 食生活改善推進員活動による食環境整備事業の推進				
	取組成果	地域での食生活改善推進員による活動や適しおサポーターなどの様々な担い手と協働により、「適しお(減塩)」を周知し、市民への啓発・普及に取り組み、健康的な食環境整備を図った。 ○取組実績：(1) 「適しおサポーター」 実施団体 76団体 実施施設 113施設 (2) 食生活改善推進員 86名 食生活改善推進員活動数 実施回数64回 参加人数1,667人				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位：千円)

①健康づくり推進事業[2,147](健康づくり推進課)	②受動喫煙防止対策[5,735](健康づくり推進課)
③地域の健康づくり[2,127](健康づくり推進課)	④歯と口腔の健康づくり推進[452](健康づくり推進課)
⑤健都ふくしま創造市民会議[105](健康づくり推進課)	⑥職場の健康づくり[200](健康づくり推進課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていく。

指標進捗管理担当	(主)	健康づくり推進課	(副)	
----------	-----	----------	-----	--

成果指標	21. 喫煙習慣の割合
------	-------------

1 成果指標の概要							
関連する施策	【個別施策】 9. 健康・医療体制の充実						
指標の説明	生活習慣病やがんのリスクである「たばこを習慣的に吸っている」者の減少の割合により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。 ※福島市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導報告						
基準値 (H30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
① (男性) 21.8	目標値	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	喫煙者の割合が高い状況にあることから、さらに禁煙・受動喫煙防止を推進し、健康づくりに取り組むことにより、喫煙習慣の基準値以下を目指します。
② (女性) 5.3	実績値	①19.6 ② 4.9	①20.1 ② 5.0	①19.7 ② 5.0			
%	達成率	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						①100.0% ②100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	健都ふくしまの創造（受動喫煙防止対策）	事業費 (千円)	5,735	担当課	健康づくり推進課
1	具体的な 取組内容	「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、家庭・学校・職場・地域ぐるみで受動喫煙防止対策に取り組めるよう「福島市受動喫煙防止条例ガイドライン」等を活用し周知啓発を図る。また、受動喫煙防止指導員を配置し、受動喫煙防止重点区域における喫煙中止の指導等を実施する。 ○事業内容：(1)パンフレット等による広報・周知 (2)「空気のきれいな施設」の認証 (3)受動喫煙防止指導員による巡回指導等				
	取組成果	「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、受動喫煙防止対策に取り組み、市民への周知啓発を図った。また、福島市受動喫煙防止対策推進委員会において、受動喫煙防止に関する学童思春期向け（小学校高学年）のリーフレットの作成と活用に向けて調整を図った。 取組実績：(1)健康教育などの機会を通して「福島市受動喫煙防止条例ガイドライン・ダイジェスト版」の配布 (2)「空気のきれいな施設」の認証 R5年度新規施設認証数2件 現在施設認証数 369件 (3)受動喫煙防止指導員の巡回指導による指導件数 R5年度 407件				
No	取組名	国民健康保険特定健康診査等事業	事業費 (千円)	236,980	担当課	健康づくり推進課
2	具体的な 取組内容	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1) 特定健診・保健指導事業（COPD啓発・禁煙支援等）(2) 特定健康診査未受診者等対策 (3) 糖尿病重症化予防事業(4) 高齢者のフレイル対策など				
	取組成果	特定健診を実施し、特定保健指導に該当した者に対し特定保健指導を実施した。また、特定保健指導の未利用者に対し電話による利用勧奨を実施し、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者17,306人 受診率42.3%（速報値）※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 206人 受診率14.3%（速報値）※データヘルス計画目標値 45%				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①がん検診事業[672,447]（健康づくり推進課）	②健康づくり推進事業[2,147]（健康づくり推進課）
③地域の健康づくり[2,127]（健康づくり推進課）	④歯と口腔の健康づくり推進[452]（健康づくり推進課）
⑤健都ふくしま創造市民会議[105]（健康づくり推進課）	⑥生活習慣病重症化予防対策[57]（健康づくり推進課）
⑦職場の健康づくり[200]（健康づくり推進課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていく。

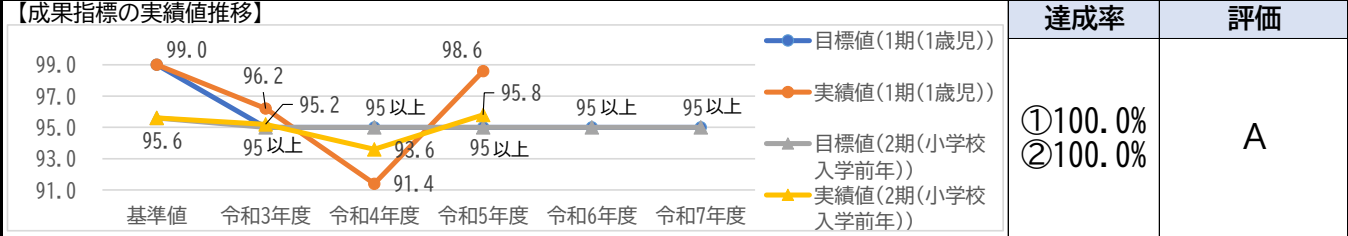
成果指標	22. 予防接種率(麻しん風しん混合ワクチン)
------	-------------------------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 10. 保健衛生・健康危機管理体制の充実
--------	--------------------------------

指標の説明	麻しん風しん混合ワクチンの接種により、市内の感染拡大、まん延防止の状況をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(1期(1歳児))99.0 ②(2期(小学校入学前年))95.6	目標値	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	接種勧奨等を図ることにより、国の目標値である95%以上の維持を目指します。
	実績値	①96.2% ②95.2%	①91.4% ②93.6%	①98.6% ②95.8%			※国の目標値 麻しんに関する特定指針 風しんに関する特定指針
%	達成率	①100.0% ②100.0%	①96.2% ②98.5%	①100.0% ②100.0%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	733, 128	担当課	感染症・疾病対策課
1	定期的予防接種事業				
	具体的な取組内容	麻しんは感染力が強く、風しんは妊娠初期の妊婦が感染すると先天性風しん症候群により障がいを持った児が生まれる可能性が高くなることから、麻しん風しん混合ワクチンの接種率95%を目標に予防接種を実施する。また、昭和37～53年度生まれの男性の風しん抗体検査及び予防接種を実施する。その他、乳幼児・就学児や高齢者等の予防接種を実施する。 ○対象内容：A類疾病及びB類疾病 ○接種率：A類疾病95%以上目標			
	取組成果	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延の防止、また個人の発病又はその重点化の防止に繋がった。 ○接種率(A類疾病)：ロタウイルス・B型肝炎・ヒブ・小児肺炎球菌・BCG・4種混合・麻しん風しん混合・日本脳炎(特例含む)は95%以上達成。HPV、2種混合2期、水痘は目標未達。 ○接種率(B類疾病)：高齢者インフルエンザ58.1%、高齢者肺炎球菌31.3%			
No	取組名	事業費 (千円)	12, 833	担当課	感染症・疾病対策課
2	任意予防接種事業				
	具体的な取組内容	(1)先天性風しん症候群の予防のため、妊娠を希望する女性等(対象：①妊娠を希望する女性②妊娠をしている女性の配偶者③妊娠を希望する女性の配偶者)の風しんワクチンの接種費用の一部を助成する。 (2)無菌性髄膜炎や難聴などの合併症を引き起こすおたふくかぜの発症や重症化予防のため、1歳～2歳未満を対象におたふくかぜ任意予防接種費用の一部を助成する。			
	取組成果	ワクチンの接種費用の一部助成を実施したことにより、先天性風しん症候群・おたふくかぜそのものの周知や、接種に繋がることで、発生及び重症化予防に繋がった。 ○接種者数：(1)①妊娠を希望する女性 330人 ②妊娠をしている女性の配偶者 65人 ③妊娠を希望している女性の配偶者 18人 (2)おたふくかぜ 1,458人			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位：千円)

--

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。 なお、予防接種については、幅広く保健衛生・健康危機管理体制の充実を図ってほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き関係機関とも連携し、適時適切な接種勧奨を実施していく。 今後も国における定期接種化の動向などを注視し、適宜検討・見直しを行いながら、予防接種事業に取り組んでいく。
--

指標進捗管理担当	(主)	衛生課	(副)	
----------	-----	-----	-----	--

成果指標	23. 食中毒の件数
------	------------

1	成果指標の概要
---	---------

関連する施策		【個別施策】 10. 保健衛生・健康危機管理体制の充実					
指標の説明		食中毒の年間発生件数により、食の安全性をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
6 (アニサキス 3、カンピロバ クター3) 件	目標値	6以下	6以下	6以下	6以下	6以下	事業者への衛生指導および消費者への衛生思想の普及を図り、食中毒発生件数の基準値以下を目指します。
	実績値	1	4	7			
	達成率	100.0%	100.0%	85.7%			

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価																					
<table><caption>食中毒の件数推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>6以下</td><td>6</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>6以下</td><td>1</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>6以下</td><td>4</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>6以下</td><td>7</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>6以下</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>6以下</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	基準値	6以下	6	令和3年度	6以下	1	令和4年度	6以下	4	令和5年度	6以下	7	令和6年度	6以下		令和7年度	6以下		85.7%	B
年度	目標値	実績値																						
基準値	6以下	6																						
令和3年度	6以下	1																						
令和4年度	6以下	4																						
令和5年度	6以下	7																						
令和6年度	6以下																							
令和7年度	6以下																							

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	食品衛生指導事業	事業費 (千円)	3,681	担当課	衛生課
1	具体的な 取組内容	食中毒の発生件数を減少させるため、食品衛生監視員による営業施設等の衛生監視及び衛生指導を実施する。また、食品等事業者を対象とした衛生講習会を開催し、食品衛生の正しい知識を普及する。 なお、食品衛生講習会については、「福島市食品衛生監視指導計画」に基づき実施する。				
	取組成果	○卸売市場・大型小売店、大規模製造加工施設、観光地関連施設及び大量調理施設等の影響の大きい施設に延べ652件の立ち入り検査を実施し、安全な食品の提供に寄与した。 ○食品等事業者や食品関連従事者を対象に衛生講習会を35回開催することで、食品衛生に関する知識の向上が図られた。 ○食中毒の増加傾向がみられたため、飲食店（12月）や弁当の調理・製造施設（1月）に対し食中毒予防に関する巡回指導（計168施設）を行うことで、食中毒予防について再認識させることができた。				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な 取組内容					
	取組成果					

3	成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4	成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。	

5	外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
今後も、食品営業者等を対象とした計画的な監視指導に加え、食中毒の傾向に応じた巡回指導を行うとともに食品衛生の正しい知識を普及するため衛生講習会を継続的に開催する。また、一般市民を対象にホームページやLINE、広報誌等を活用しながら食中毒予防を呼び掛ける。	

指標進捗管理担当	(主)	共生社会推進課	(副)	障がい福祉課、道路保全課、交通政策課
----------	-----	---------	-----	--------------------

成果指標	24. バリアフリー推進パートナー賛同数
------	----------------------

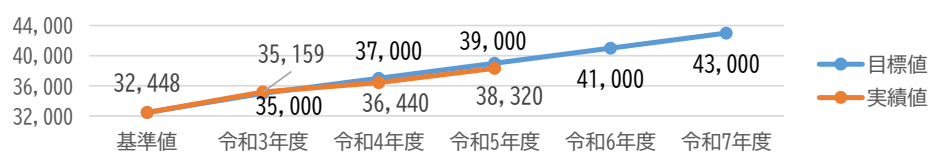
1 成果指標の概要							
関連する施策	【個別施策】 11. 地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実						
指標の説明	市のバリアフリーの取り組みの趣旨に賛同し、協力いただける民間事業所や団体数により、「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現に向けた推進度合いをはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
263	目標値	283	293	303	313	323	ハード面のバリアフリーの推進と心のバリアフリーの充実などにより、毎年10件のバリアフリーパートナー数の増加を目指します。
	実績値	267	297	304			
	達成率	20.0%	100.0%	100.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	歩道点字シート等設置事業	事業費 (千円)	63,435	担当課	道路保全課
1	具体的な取組内容	中心市街地地区のうち、以下路線の点字シート等を整備する。 ○整備内容：(1)市道本町・上町線 260m (片側歩道) (2)市道杉妻町・御山線 650m (両側歩道) (3)市道腰浜町・町庭坂線 645m (両側歩道) (4)市道太田町5号線 145m (片側歩道) (5)市道大平寺・山口線 (福島駅西口付近) 60m (片側歩道) (6)市道大平寺・山口線 (福島駅西口付近) 105m (片側歩道) (7)市道入江町・桜木町線 60m (片側歩道) (8)市道春日町・入江町線 90m (片側歩道) (9)市道入江町7号線 105m (片側歩道)				
	取組成果	中心市街地地区のうち、以下路線の点字シート等を整備する。 ○整備内容：(1)市道本町・上町線 260m (片側歩道) (2)市道杉妻町・御山線 650m (両側歩道) (3)市道腰浜町・町庭坂線 645m (両側歩道) (4)市道太田町5号線 145m (片側歩道) (5)市道大平寺・山口線 (福島駅西口付近) 60m (片側歩道) (6)市道大平寺・山口線 (福島駅西口付近) 105m (片側歩道) (7)市道入江町・桜木町線 60m (片側歩道) (8)市道春日町・入江町線 90m (片側歩道) (9)市道入江町7号線 105m (片側歩道)				
No	取組名	バリアフリー推進事業	事業費 (千円)	3,865	担当課	共生社会推進課
2	具体的な取組内容	障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面に加え「心のバリアフリー」の普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による「心のバリアフリー」推進隊による啓発活動を実施する。				
	取組成果	講演会や出前講座の開催により、市民への心のバリアフリーに対する理解促進を図った。 ○バリアフリー推進パートナーミーティングの開催(10/2開催、会場：ホテル福島グリーンパレス、参加者数：55名(45団体)) ○心のバリアフリー市民講演会の開催(2/16開催、会場：とうほうみんなの文化センター、参加者数112名) ○心のバリアフリー出前講座の開催(開催回数44回、受講者数2,216名) ○心のバリアフリー推進隊活動(ミーティング5回、啓発活動等6回)				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位：千円)
①手話言語条例関連事業[1,271](障がい福祉課) ②意思疎通支援事業[15,235](障がい福祉課) ③ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業[1,925](交通政策課) ④社会参加促進事業[2,110](障がい福祉課) ⑤相談支援事業[23,769](障がい福祉課)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き、ハード・ソフト面の整備を計画に沿い着実に取り組むと共に、心のバリアフリーの理解促進について、各パートナーの取り組みや合理的配慮、具体的な行動等について、SNS等の広報手段を活用して啓発に努める。 また、ハード・ソフト・心のバリアフリーを官民一体となって進める本市のバリアフリー推進の趣旨を発信し、賛同いただけるバリアフリー推進パートナーの登録拡大を図る。

指標進捗管理担当		(主)	長寿福祉課		(副)				
成果指標		25. 認知症サポーター養成講座修了者数							
1 成果指標の概要									
関連する施策		【個別施策】 12. 高齢者福祉の充実							
指標の説明		認知症サポーターの養成を通じて、認知症に対する正しい知識と理解を持つ市民の広がりをはかる指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
32,448 人	目標値		35,000	37,000	39,000	41,000	43,000	65歳以上の人口割合や認知症患者数の増加を踏まえ、地域や職域などで認知症サポーターの養成を一層進めることにより、43,000人（人口の15%）までの増加を目指します。	
	実績値		35,159	36,440	38,320				
	達成率		100.0%	87.7%	89.6%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								89.6%	B
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み									
No	取組名	地域包括ケアシステムの推進			事業費 (千円)	479,736	担当課	長寿福祉課	
1	具体的な取組内容	市民が高齢期を安心して過ごせるよう、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」（22カ所）を運営する。また、認知症高齢者やその家族を支えるために認知症地域支援推進員を、地域で高齢者の生活を支える体制づくりのため地域支え合い推進員を各センターに配置する。							
	取組成果	○高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」（22カ所）を運営し、高齢期の市民の安心につながった。 ○認知症地域支援推進員および地域支え合い推進員を全包括（22カ所）に配置したことにより、認知症高齢者等や家族を支える体制、地域支え合い体制の推進が図られた。							
No	取組名	福島市オレンジプラン推進事業			事業費 (千円)	2,592	担当課	長寿福祉課	
2	具体的な取組内容	認知症の人も、その周囲の人も安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症ガイドブックの配布や「ふくふくオレンジフェスタ」の開催等により、「予防」と「共生」について普及・啓発を図る。 また、認知症の人やその家族とともに、地域の人に参加する認知症カフェの開催を支援する。							
	取組成果	○認知症ガイドブックを市民や医療機関等へ幅広く配布、また、認知症講演会や世界アルツハイマー月間での啓発活動等により、認知症普及啓発につながった。 ○認知症サポーター養成講座の実施により、認知症について理解のある市民の増加につながり、認知症の人もその周囲の人も安心して暮らせる地域づくりの推進が図られた。							
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）									
①権利擁護支援事業[4,598]（長寿福祉課） ②いきいきももりん体操・お口のももりん体操 [583]（長寿福祉課） ③認知症高齢者見守り事業[753]（長寿福祉課） ④在宅医療・介護連携推進事業[19,021]（長寿福祉課）									
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価									
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。									
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性									
引き続き、地域包括ケアシステムの推進及び福島市オレンジプラン推進事業等に取り組み高齢者福祉の充実を図っていく。									

指標進捗管理担当	(主)	生涯学習課	(副)	中央学習センター
----------	-----	-------	-----	----------

成果指標	26. 市民一人あたりの学習センター利用回数
------	------------------------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 13. 生涯学習の振興
--------	-----------------------

指標の説明	学習センターの利用により、生涯学習への取組状況をはかる指標です。
-------	----------------------------------

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
4.0 回	目標値	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	学びの機会の充実を図ることにより、過去5年間の実績をさらに上回る4.5回を目指します。
	実績値	2.2	2.6	3.1			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 目標値 実績値						0.0%	D

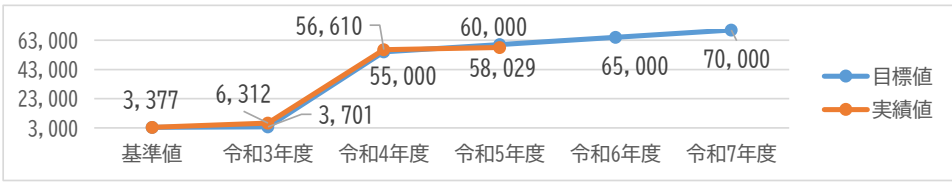
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	87,309	担当課	生涯学習課
1	具体的な取組内容 ・ユニバーサルデザインに配慮し、年代や障がいの有無にかかわらず快適に利用できる三河台学習センターを整備し、生涯学習環境の充実を図る。 ・H29実施設計、R2造成工事、R3～R4建築工事、R5供用開始（開館式）、旧館解体工事完了、外構工事着手、R6外構工事完了予定、整備事業完了予定（落成式） ・敷地面積5,198㎡、延べ床面積1,246㎡、多目的トイレ、エレベーター、授乳室、球技も可能な大ホール 取組成果 ・定期的に活動してきた団体に加え、新たな団体やこれまで利用が少なかった若年層の利用も増え、生涯学習の拠点としての役割を果たしている。 ・開館後実績（R6.4.1現在、対R4年度）⇒登録団体数：83団体（26団体増）、延利用団体数：2,617団体（1,198団体増）、延利用人数：31,619人（16,056人増）				
2	具体的な取組内容 ・一般教養や生活文化等の様々な学習活動を通じて自己の資質向上を図るとともに、仲間づくりや地域とのつながりを深める機会とする。文化・芸術、スポーツに親しむ機会を創出することで、心身ともに健やかで豊かな人間性の醸成を図る。 取組成果 ・子どもから高齢者までライフステージ・ライフサイクルの様々な生活課題等に応じた学びを提供し、生き生きと充実した生活が送れるよう支援した。学び、交流する場を通して、自分が住む地域を知り、仲間づくりやサークル化に繋げる機会とした。 ○主な講座：16学習センターで各種講座を実施 延587回、延参加者30,253人（防災講座、健康講座、ガーデニング教室、歴史・文学講座など）	事業費 (千円)	3,514	担当課	生涯学習課

3	成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
	①飯野学習センター整備事業 [1,463]（生涯学習課） ②青少年教育・青年教育・青少年振興事業 [3,390]（生涯学習課） ③女性学級開設・女性教育振興事業 [2,369]（生涯学習課） ④家庭教育学級開設・家庭教育振興事業 [2,323]（生涯学習課） ⑤成人教育振興事業 [1,437]（生涯学習課） ⑥高齢者学級開設 [1,431]（生涯学習課） ⑦ふくしまマスターズ大学事業 [3,024]（中央学習センター）

4	成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
	目標達成に遅れが生じている。市民一人あたりの学習センター利用回数という指標にこだわらず、生涯学習の度合いを測るよりふさわしい指標の設定が望まれる。

5	外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
	地域の特色・課題を取り入れた講座を企画することで、新しいサークル化につなげるとともに、既存の団体においても、増員となるような働きかけを行っていく。誰もが立ち寄りやすい雰囲気づくり、快適に利用できる環境づくりを一つひとつ進める。 生涯学習への取組状況をはかる、よりよい指標を考えるとともに、指標のあり方についても見直しを検討する。

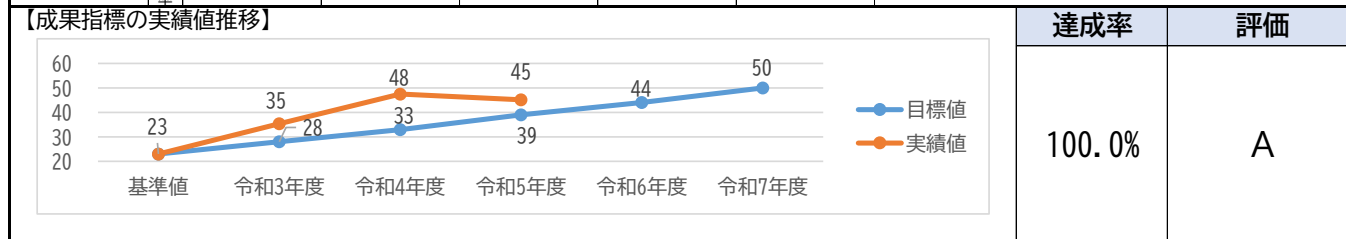
指標進捗管理担当		(主)	定住交流課		(副)		
成果指標		27. 多文化共生関連の取り組みへの総参加者数					
1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 14. 多文化共生の推進					
指標の説明		市民の共生活動への参加により、外国人受入れ・共生の意識向上をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 関係機関・団体や外国人コミュニティなどとの連携強化を図ることにより、令和7年度目標値は令和4年度目標値の約1.3倍増を目指します。
3,377 人	目標値	3,701	55,000	60,000	65,000	70,000	
	実績値	6,312	56,610	58,029			
	達成率	100.0%	100.0%	96.5%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						96.5%	B
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	国際交流事業		事業費 (千円)	1,800	担当課	定住交流課
1	具体的な取組内容	協会加盟団体等のネットワークを活用した国際交流活動を推進するため、市国際交流協会が実施する国際交流や多文化共生を推進するイベント等を支援する。 ○対象内容：(1)多文化共生支援事業（8,486人） (2)国際交流推進団体助成事業 (3)広報PR等（Facebook・Instagram）					
	取組成果	R5.9.30に福島市多文化共生センター「Yuiverse」を開設し、外国人が孤立せず外国人同士や外国人と日本人が交流できるスペースとして活用されている。市内の各国コミュニティ団体や市国際交流協会の会員がYuiverseでイベントを実施するなど、本市の多文化共生推進の拠点となった。また、国際交流推進団体への事業補助や海外から本市へ避難を余儀なくされた方に対する支援等を実施した。					
No	取組名	結・ゆい・フェスタ事業		事業費 (千円)	2,000	担当課	定住交流課
2	具体的な取組内容	多文化共生の推進を図るため、市国際交流協会と共同で多文化共生イベント「結・ゆい・フェスタ」を開催するとともに、多くの市民に共生社会の意識の醸成を図るため「結アンブレラスカイ」を実施する。 ○結・ゆい・フェスタ令和5年度開催実績（R5.10/7日・8日 場所：まちなか広場 参加者数：12,000人） ○結アンブレラスカイ実績（場所：市内6箇所 参加者数：37,043人）					
	取組成果	市協会の会員団体、民間事業者、外国人コミュニティなどが連携して、外国料理・ワークショップ・活動展示等のブースを出店したほか、結アンブレラスカイの展示を行ったことで、より多くの市民に対し、多文化共生の意識醸成が図られた。また、2日間開催したことにより参加者が増加した。加えて、道の駅ふくしまで「出張！結・ゆい・ランチ」（500人）も実施した。					
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）							
①国際交流員の配置[5,619]（定住交流課） ②外国人生活相談事業[4,667]（定住交流課） ③外国のこども日本語サポート推進事業[766]（定住交流課） ④多文化共生センターの開設[10,194]（定住交流課）							
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価							
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。							
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性							
今後とも市協会の会員団体、民間事業者及び外国人コミュニティなどと連携して創意工夫を重ね、より多くの市民の多文化共生活動への参加を図っていく。							

指標進捗管理担当	(主)	スポーツ振興課	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標 28. スポーツに触れる機会に恵まれていると感じる割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 15. スポーツの振興					
指標の 説明		スポーツを「する」「みる」「ささえる」参画機会の充実により、スポーツ振興の状況をはかる指標です。					
基準値 (令和2年度市政 ネットモニター)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23	目標値	28	33	39	44	50	スポーツの「機会」と「場」の提供と充実により、運動やスポーツを行う機会に恵まれていると感じる市民の割合50%を目指します。
	実績値	35	48	45			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課	スポーツ振興課
1	具体的な取組内容 スポーツを通じた賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、福島ユナイテッドFCと連携し、高校生や大人を対象としたサッカー交流大会、パブリックビューイングなどを実施する。 ○対象内容：(1)福島ユナイテッドFCとの連携 (2)スポーツを「みる」機会の創出 (3)中長期的なホームタウン事業の推進 (4)障がい者等のスポーツに親しむ機会の提供など	12,313		
	取組成果 福島ユナイテッドFC等と連携し、感染防止対策を講じながら、福島市ホームタウンデーやユナフェスを開催し盛り上げることで、試合観客数の増加を図ったほか、福島駅西口ふくしまエールビジョンでパブリックビューイングを開催し、スポーツを「みる」機会を提供した。また、障がいのある方と介助者の試合観戦を支援し、スポーツ参画機会を提供した。高校生や大人を対象とした交流大会を開催し、競技力の向上と交流人口の拡大を図った。			
2	具体的な取組内容 東京2020大会を契機としたレガシー創出の一環として、パラスポーツの普及・振興に寄与することで、スポーツを通じた共生社会を推進するため、ポッチャを核とした事業として、体験イベント・交流大会・市長杯を開催するとともに、競技力の向上にも取り組む。 ○対象内容：(1)パラアスリート派遣事業 (2)ライジングポッチャプロジェクト	1,023		
	取組成果 先導的共生社会ホストタウンとして、ポッチャ交流会（2回）を開催したほか、上位チームによる市長杯を開催するとともに、体験イベントを開催し、競技力向上に寄与した。 また、パラアスリート派遣事業では、東京2020パラリンピック競技大会でポッチャ日本代表監督を務めた村上氏らを、市内の小学校に3回派遣し、パラスポーツの振興と共生社会への理解を深めた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①スポーツコミッション運営事業[7,388]（スポーツ振興課）
 ②「ふくしまシティハーフマラソン大会」の開催[66,000]（スポーツ振興課）
 ③スポーツのまちづくり推進事業[2,970]（スポーツ振興課） ④オリ・パラレガシー事業[1,849]（スポーツ振興課）
 ⑤圏域スポーツ推進事業[2,183]（スポーツ振興課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、スポーツの「機会」と「場」の提供と充実を図り、「スポーツによるまちづくり」を推進させ、市民がスポーツに触れる機会が実感できるよう努める。

指標進捗管理担当	(主)	スポーツ振興課	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標

29. 市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 15. スポーツの振興					
指標の 説明		スポーツ施設が持続的かつ安定的に市民に提供され、スポーツ参画機会が充実し、市民が自発的にスポーツに参画している状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
7.6 回	目標値	7.9	8.2	8.5	8.8	9.2	スポーツの「機会」と「場」の提供と充実により、市民一人あたりの利用回数の増加（東日本大震災前と同水準）を目指します。
	実績値	5.7	6.9	7.2			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>7.6</td><td>7.6</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>7.9</td><td>5.7</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>8.2</td><td>6.9</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>8.5</td><td>7.2</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8.8</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>9.2</td><td></td></tr></tbody></table>						年度	目標値	実績値	基準値	7.6	7.6	令和3年度	7.9	5.7	令和4年度	8.2	6.9	令和5年度	8.5	7.2	令和6年度	8.8		令和7年度	9.2		0.0%	D
年度	目標値	実績値																										
基準値	7.6	7.6																										
令和3年度	7.9	5.7																										
令和4年度	8.2	6.9																										
令和5年度	8.5	7.2																										
令和6年度	8.8																											
令和7年度	9.2																											

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	445,886	担当課	スポーツ振興課
1	具体的な取組内容	施設の適切な管理運営に必要な保守点検や公認更新等を行うことで、施設を安全に利用することができる。併せて必要な保守を行うことで施設の長寿命化を図るとともに施設利用者のスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の創出継続を図る。			
	取組成果	指定管理者制度による施設の適切な管理運営と合わせ、必要な保守点検や公認更新等を行い、安定的な施設利用を可能とした。			
No	取組名	事業費 (千円)	1,023	担当課	スポーツ振興課
2	具体的な取組内容	東京2020大会を契機としたレガシー創出の一環として、パラスポーツの普及・振興に寄与することで、スポーツを通じた共生社会を推進するため、ポッチャを核とした事業として、体験イベント・交流大会・市長杯を開催することで世代間交流や競技力の向上に取り組む。 ○対象内容：(1)パラアスリート派遣事業 (2)ライジングポッチャプロジェクト			
	取組成果	先導的共生社会ホストタウンとして、ポッチャ交流会（2回）を開催したほか、上位チームによる市長杯を開催するとともに、体験イベントを開催し、競技力向上に寄与した。 また、パラアスリート派遣事業では、東京2020パラリンピック競技大会でポッチャ日本代表監督を務めた村上氏らを、市内の小学校に3回派遣し、パラスポーツの振興と共生社会への理解を深めた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①スポーツコミッション運営事業[7,388]（スポーツ振興課）	②「ふくしまシティハーフマラソン大会」[66,000]の開催（スポーツ振興課）
③スポーツのまちづくり推進事業[2,970]（スポーツ振興課）	④オリ・パラレガシー事業[1,849]（スポーツ振興課）
⑤圏域スポーツ推進事業[2,183]（スポーツ振興課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数という指標にこだわらず、スポーツの振興の度合いを測るよりふさわしい指標の設定が望まれる。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

市有公共施設利用回数による指数をスポーツ振興の目安としているが、民間スポーツ施設の普及も進んでいることから、今後利用回数による指標のあり方についても見直しを検討する。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	
成果指標		30. 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 16. 文化芸術の振興					
指標の 説明		市内主要文化施設の市民一人あたりの利用回数により、市民が文化芸術活動に触れ、親しんでいる状況をはかる指標です。 ※本市主要文化施設 音楽堂、草心苑、写真美術館、福島テルサ、アオウゼ、古閑裕而記念館					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
3.0 回	目標値	—	3.02	3.03	3.04	3.06	市民が様々な文化芸術に触れ、鑑賞し、自らも参加できる機会などを創出・充実することにより、5年間で2%の利用回数の増加を目指します。
	実績値	—	2.55	2.90			
	達成率	—	0.0%	0.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>3.0</td><td>3.02</td><td>3.03</td><td>3.04</td><td>3.06</td><td></td></tr><tr><td>実績値</td><td>3.0</td><td></td><td>2.55</td><td>2.90</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	3.0	3.02	3.03	3.04	3.06		実績値	3.0		2.55	2.90			0.0%	D
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	3.0	3.02	3.03	3.04	3.06																							
実績値	3.0		2.55	2.90																								

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業	4,397	文化振興課
	具体的な取組内容	市内文化施設における既存事業との連携強化を図りながら、本来の用途とは異なる利用方法、いわゆるユニークメニューを展開することで、新たに文化や歴史に触れる機会を創出するとともに、本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信することにより、市民のふるさとへの愛着・誇りを醸成し、次世代へと継承していく取組を進めた。	
	取組成果	市内文化施設（じょーもびあ宮畑、民家園、写真美術館、音楽堂）において、有名俳優・歌手とのトークイベントやプロジェクションマッピング投影など、多彩なユニークメニューを実施することで、多くの来場者が「福島らしい文化」に触れる機会となった。 また、Instagramにおいて「福島らしい文化」を発信し、次世代を担う若い年齢層へのアプローチを図った。	
2	主要文化施設管理運営事業	617,620	文化振興課
	具体的な取組内容	本市主要文化施設の適切な維持管理を図るとともに、施設の指定管理者制度を活かし、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応した文化芸術に親しむ機会を提供し、本市の文化振興につなげた。	
	取組成果	新型コロナウイルスの5類移行に伴い各種イベント等や貸館事業が通常通り実施可能となったことで、各施設の利用が対前年比で1.2倍に増加し、市民に文化芸術に親しむ機会を提供することができた。	

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①市文化振興計画策定事業 [102]（文化振興課） ②古閑裕而を活かしたまちづくり事業 [37,986]（文化振興課）
 ③ふくしま文化芸術振興事業 [27,390]（文化振興課） ④じゃがむ土偶ドキドキ事業 [2,240]（文化振興課）
 ⑤じょーもびあ宮畑活用推進事業 [6,746]（文化振興課） ⑥旧広瀬座再整備事業 [37,282]（文化振興課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数という指標にこだわらず、文化振興の度合いを測るよりふさわしい指標の設定が望まれる。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

目標達成には至らなかったものの、コロナ禍による年間利用回数の減少から回復傾向にあることから、引き続き市民が文化芸術活動に触れる機会を積極的に提供し、各施設の年間利用回数の増加に努めていく。
 文化振興の度合いを測るよりふさわしい指標の設定については、どのような指標がふさわしいか引き続き検討していく。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標

31. 民家園・宮畑遺跡史跡公園(体験学習施設「じょいもん」)の年間来園者数

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 16. 文化芸術の振興					
指標の 説明		市内主要文化財施設の来園者数により、本市文化財の認知度、市民に親しまれている状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
76,296 人	目標値	76,601	76,906	77,211	77,516	77,822	本市固有の文化財を活用した各種事業を積極的に展開することにより、5年間で2%の来園者数の増加を目指します。
	実績値	81,628	104,082	102,309			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価																					
<table><caption>【成果指標の実績値推移】</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>76,296</td><td>76,601</td><td>76,906</td><td>77,211</td><td>77,516</td><td>77,822</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>81,628</td><td>104,082</td><td>102,309</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	76,296	76,601	76,906	77,211	77,516	77,822	実績値		81,628	104,082	102,309			100.0%	A
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																		
目標値	76,296	76,601	76,906	77,211	77,516	77,822																		
実績値		81,628	104,082	102,309																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業	4,397	文化振興課
	具体的な取組内容 取組成果	本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信するため、福島が誇る文化施設において様々なユニークメニューを展開するとともに、SNS等を活用した広報戦略により、市民のふるさとへの愛着と誇りを醸成し、次世代へと継承していく取組を進めた。 市内文化施設（じょいもびあ宮畑、民家園、写真美術館、音楽堂）において、有名俳優・歌手とのトークイベントやプロジェクションマッピング投影など、多彩なユニークメニューを実施することで、多くの来場者が「福島らしい文化」に触れる機会となった。 また、Instagramにおいて「福島らしい文化」を発信し、次世代を担う若い年齢層へのアプローチを図った。	
2	民家園・宮畑遺跡史跡公園管理運営事業	135,848	文化振興課
	具体的な取組内容 取組成果	民家園及び宮畑史跡公園の適切な維持管理を行うとともに、地域との共創により各種イベントを開催するなど積極的な活用を図った。 また、SNSを活用した広報発信やボランティア団体と連携した魅力創出に努め、更なる利用者増につなげた。 民家園及び宮畑史跡公園では、文化財の適切な維持管理に努めながら、地元との共創による各種イベントを開催し、市民をはじめ多くの方の利用があった。 SNSについてはX（旧Twitter）やInstagramを活用し、若年層をターゲットとした広報の発信を行うとともに、夜の民家園等でプロジェクションマッピングなどのイベントを実施し、若年層をターゲットとしたイベントについても実施することが出来た。	

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み

※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①市文化振興計画策定事業【102】（文化振興課）
 ②しゃがむ土偶ドキドキ事業【2,240】（文化振興課）
 ③じょいもびあ宮畑活用推進事業【6,746】（文化振興課）
 ④旧広瀬座再整備事業【37,282】（文化振興課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。
 なお、成果指標は本市文化施設の2施設の来園者数に限っているが、回遊性を検討するなら、他の施設も含めた指標の設定を検討してもらいたい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、創意工夫した各種事業を実施し、各施設の魅力を存分に発信し、本市の「文化財」に触れる機会の創出に努めていく。
 なお、文化財は個人所有が多く、見学者数を把握することが困難なため、市所有の2施設としたものである。今後も、2施設以外
 の本市文化財の認知向上に取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	環境課	(副)	管財課、産業雇用政策課
----------	-----	-----	-----	-------------

成果指標	32. エネルギー自給率(電力)
------	------------------

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 17. 環境の保全																												
指標の 説明	市内の1年間の電力消費量に占める市産再生可能エネルギー発電量の割合により、市の再エネ自給率の充実度をはかる指標です。 ※非バイオマス系による廃棄物発電を含む。																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
30.8	目標値	32.2	32.9	46.7	49.0	51.4	再エネ設備の導入を促進することにより、再エネ自給率を高めていくことを目指します。																						
	実績値	32.8	41.5	46.5																									
	達成率	100.0%	100.0%	98.7%																									
%																													
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>30.8</td><td>30.8</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>32.2</td><td>32.8</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>32.9</td><td>41.5</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>46.7</td><td>46.5</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>49.0</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>51.4</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値 (%)	実績値 (%)	基準値	30.8	30.8	令和3年度	32.2	32.8	令和4年度	32.9	41.5	令和5年度	46.7	46.5	令和6年度	49.0		令和7年度	51.4		達成率	評価
年度	目標値 (%)	実績値 (%)																											
基準値	30.8	30.8																											
令和3年度	32.2	32.8																											
令和4年度	32.9	41.5																											
令和5年度	46.7	46.5																											
令和6年度	49.0																												
令和7年度	51.4																												
							98.7%	B																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	脱炭素住宅整備事業	事業費 (千円)	35,885	担当課	環境課
1	具体的な 取組内容	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備（V2H）、④ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円（上限100,000円） ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3（上限20,000円） ※いずれも助成対象経費以内				
	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム（計2,261kW）や蓄電池の設置により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数：①367件（14,680千円） ②254件（19,110千円） ③4件（400千円） ④140件（1,400千円） ⑤16件（295千円）				
No	取組名	脱炭素生活スタイル普及啓発事業	事業費 (千円)	1,992	担当課	環境課
2	具体的な 取組内容	リフォーム用品を取り扱う事業者数地区内で省エネ等の導入を促す普及啓発イベントを実施することにより、今まで省エネ製品に関心が低かった市民に対し、効果的な住宅断熱改修や設備の体感ブース、国・県の補助説明など普及啓発を通して、直接的な省エネ製品の導入につなげる。				
	取組成果	【おトクに省エネ！体感フェア】 来場者276名に対し、効果的な住宅断熱改修や設備の体感ブース、国・県の補助制度の紹介を行った。 【省エネ家電買い換えキャンペーン】 市内家電販売店44店舗と協力し、買い換え促進につなげるキャンペーンを実施。買い換え数を前年と比較し、13%増加(38t-CO2削減量増)する効果があった。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①環境に配慮した公用車の配備 [21,876]（管財課）	③水素社会実現推進事業 [1,999]（環境課）
③ふくしま環境フェスタ開催事業 [1,162]（環境課）	④次世代エネルギーパーク推進事業 [188]（環境課）
⑤再生可能エネルギー導入促進事業 [1,923]（環境課）	⑥中小企業ゼロカーボン資金融資 [500,000]（産業雇用政策課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
市民生活の安全・安心とふるさとの景観を次世代に守り継ぐノーモア メガソーラー宣言により、今後は山地における大規模な太陽光発電の導入は見込めない状況にある。 そのため、屋根置きや平場での太陽光発電や盆地地形を活用した再生可能エネルギーの導入と併せて省エネルギー化を図り、エネルギー自給率の向上に努める。

指標進捗管理担当	(主)	ごみ減量推進課	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標	33. 1人1日当たりの生活系ごみの排出量
------	-----------------------

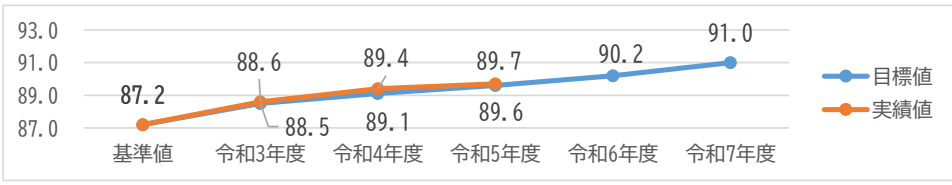
1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 17. 環境の保全																												
指標の 説明	ごみの減量化や資源物の分別徹底の達成度により、循環型社会の充実度をはかる指標です。 ※資源物・集団資源回収量を除く。																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
770 g	目標値	530	530	530	530	530	ごみの発生抑制と資源物の徹底した分別回収を推進し、市民1人が1日あたりに出す生活系ごみの減量の早期達成を目指します。																						
	実績値	681	671	612																									
	達成率	37.1%	41.3%	65.8%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>770</td><td>530</td><td>530</td><td>530</td><td>530</td><td>530</td></tr><tr><td>実績値</td><td>770</td><td>681</td><td>671</td><td>612</td><td>530</td><td>530</td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	770	530	530	530	530	530	実績値	770	681	671	612	530	530	達成率	評価
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	770	530	530	530	530	530																							
実績値	770	681	671	612	530	530																							
							65.8%	C																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	ごみ減量化促進対策事業	事業費 (千円)	12,227	担当課	ごみ減量推進課
1	具体的な取組内容	家庭から出る可燃ごみの8割を占める「生ごみ、紙類、草枝類」の減量化・資源化促進に関する事業、集団資源回収報奨金制度、事業者と連携した3R&食品ロス削減の推進等を通じ、ごみの減量化・資源化を図る。 ○対象内容：①ダンボールコンポスト購入費助成事業、②生ごみ処理容器購入費助成事業、③食品ロス削減事業、④使用済みはがき回収事業、⑤家庭用剪定枝破砕機貸与事業、⑥ごみ分別アプリの普及促進、⑦集団資源回収報奨金制度、⑧3R&食品ロス削減推進協力事業所・店舗認定制度、⑨古着等の臨時回収 等				
	取組成果	可燃ごみの約4割を占める生ごみ削減を目的に生ごみ処理容器購入費助成（146件1,612千円）を引き続き行ったほか、食品ロス削減マイスターを認定し、エコレシビ開発やエコクッキング動画作成により食品ロス削減の周知に取り組んだ。また、家庭用剪定枝破砕機貸与事業（貸与76件）による枝類のたい肥化や、古着等の臨時回収によるリユース・リサイクルの推進に取り組んだ。これらにより、着実に生活系ごみ排出量の削減につなげることができた。				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、生ごみ処理機で生成した堆肥の有効活用する取り組みを検討してもらいたい。 また、生産者・販売者が、ごみを少なくするというような意識を持つような取り組みの検討も望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
組成の上位を占める生ごみ、草枝類、紙類の減量化・資源化に引き続き取り組む。特に生ごみに焦点をあてた「生ごみゼロチャレンジ！」事業を継続し生ごみ消滅型「キエーロ」の普及に努めるとともに、生成した堆肥の要否や各自のライフスタイルに応じた生ごみ処理が選択できるよう周知啓発を行う。 また、フードシェアリングサービス「ふくしまバスケ」を引き続き運用し、生産者・販売者の食品ロス削減への取り組みを支援するほか、循環型社会形成を担う一員として意識付ける手法を調査研究してまいる。

指標進捗管理担当		(主)	下水道建設課		(副)	下水道総務課		
成果指標		34. 汚水処理人口普及率						
1 成果指標の概要								
関連する施策		【個別施策】 17. 環境の保全						
指標の説明		本市人口のうち下水道、合併処理浄化槽等を利用できる人口の割合により、生活排水処理の進展度をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
87.2	目標値	88.5	89.1	89.6	90.2	91.0	福島市下水道ビジョン（平成28年度から令和7年度）中期計画の目標値に向けて汚水処理人口普及率の向上を目指します。	
	実績値	88.6	89.4	89.7				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価
							100.0%	A
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み								
No	取組名	下水道整備事業			事業費 (千円)	1,317,899	担当課	下水道建設課
1	具体的な取組内容	公共下水道の普及による市民の生活環境の改善及び公共用水域の保全を行う。 ○対象内容：公共下水道認可区域内の整備を行い、供用開始区域の拡大に努める。 ○公共下水道普及率：67.5%（令和5年度末）						
	取組成果	公共下水道の整備を実施し、汚水処理の普及拡大に努めた。 ・整備面積：約6ha						
No	取組名	浄化槽設置・撤去・宅内配管工事の補助			事業費 (千円)	56,566	担当課	下水道総務課
2	具体的な取組内容	公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽設置等に対し補助を実施し、普及促進を図る。 (1) 合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助 (2) 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽の撤去費用の一部を補助 (3) 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽からの転換に伴う宅内配管工事費用の一部を補助						
	取組成果	(1) 171基（新築 122基 単独処理浄化槽からの転換 25基（重点地区5基含） 汲み取り便槽からの転換 24基） (2) 36基（単独処理浄化槽の撤去 22基 汲み取り便槽の撤去 14基） (3) 43基（単独処理浄化槽転換に伴う宅内配管 23基 汲み取り便槽転換に伴う宅内配管 20基）						
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）								
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価								
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。								
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性								
引き続き効率的な公共下水道の整備及び合併処理浄化槽の普及促進に努め、汚水処理人口普及率の向上を目指す。								

指標進捗管理担当	(主)	環境課	(副)	管財課、道路保全課、産業雇用政策課
成果指標		35. 温室効果ガス実質排出量		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要

関連する 施策	【個別施策】 17. 環境の保全					
指標の 説明	温室効果ガスの実質排出量により、地球温暖化対策等の充実度をはかる指標です。					
基準値 (平成29年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,149 千t-CO2	目標値	2,071 (令和元年度)	1,994 (令和2年度)	1,812 (令和3年度)	1,730 (令和4年度)	1,648 (令和5年度)
	実績値	2,006 (令和元年度)	1,894 (令和2年度)	1,881 (令和3年度)		
	達成率	100.0%	100.0%	79.5%		
【成果指標の実績値推移】						目標値の根拠
						達成率
						評価
						79.5%
						C

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	35,885	担当課	環境課
1	脱炭素住宅整備事業	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備（V2H）、④ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円（上限100,000円） ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3（上限20,000円） ※いずれも助成対象経費以内			
	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム（計2,261kW）や蓄電池の設置により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数：①367件（14,680千円） ②254件（19,110千円） ③4件（400千円） ④140件（1,400千円） ⑤16件（295千円）			
No	取組名	事業費 (千円)	117,791	担当課	道路保全課
2	街路灯・道路照明灯LED化推進事業	省エネルギー化を推進するため、既存の街路灯及び照明灯をLEDに転換する。 ○対象内容 街路灯約1,300灯切替/年、道路照明灯約430灯切替/年 ○対象進捗 街路灯：LED灯14,514灯/総数19,429灯（令和5年度末）⇒LED化率74.7% 道路照明灯：LED灯476灯/総数3,068灯（令和5年度末）⇒LED化率15.5%			
	取組成果	温室効果ガスの排出量削減のため、平成24年度から令和5年度まで街路灯14,514灯、道路照明灯476灯を蛍光灯及び水銀灯等からLED灯へ切り換えを行った。令和5年度の実績について、街路灯1,287灯、道路照明灯356灯のLED灯へ切り換えを街路灯・道路照明灯LED化推進事業により行った。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①環境に配慮した公用車の配備 [21,876]（管財課）	②水素社会実現推進事業 [1,999]（環境課）
③ふくしま環境フェスタ開催事業 [1,162]（環境課）	④次世代エネルギーパーク推進事業 [188]（環境課）
⑤再生可能エネルギー導入促進事業 [1,923]（環境課）	⑥脱炭素生活スタイル普及啓発事業 [1,992]（環境課）
⑦中小企業ゼロカーボン資金融資 [500,000]（産業雇用政策課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

令和5年8月に温室効果ガス実質排出量の削減目標を引き上げた福島市脱炭素社会実現実行計画に基づき、市民・事業者・行政等など各主体の省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用を推進するため、脱炭素につながる啓発活動や必要な支援に取り組む。
--

指標進捗管理担当	(主)	水道整備課	(副)	水道総務課
成果指標		36. 基幹施設耐震化率		

1 成果指標の概要																												
関連する 施策	【個別施策】 18. 良質な水道水の安定供給																											
指標の 説明	東日本大震災規模の地震に耐えられる重要な施設の充実度をはかる指標です。																											
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
75.6 %	目標値	76.2	95.6	95.6	95.6	100.0	重要な施設すべてが地震に耐えられる状態を目指します（廃止予定施設を除く）。																					
	実績値	76.1	95.6	95.6																								
	達成率	83.3%	100.0%	100.0%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>75.6</td><td>76.2</td><td>95.6</td><td>95.6</td><td>95.6</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>76.1</td><td>95.6</td><td>95.6</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	75.6	76.2	95.6	95.6	95.6	100.0	実績値		76.1	95.6	95.6			
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	75.6	76.2	95.6	95.6	95.6	100.0																						
実績値		76.1	95.6	95.6																								
							達成率	評価																				
							100.0%	A																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	基幹施設耐震化の推進	事業費 (千円)	282, 207	担当課	水道整備課
1	具体的な 取組内容	水道水を供給する上で重要度の高い基幹施設(受・配水池、高架水槽等)について、施設の更新、補強、統廃合により令和7年度までにレベル1耐震化率100%を目指す。				
	取組成果	令和5年度は、施設の統廃合に向けた配水管整備事業を実施した。継続費事業であることから実績値は完成年度に集計される。				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な 取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
目標達成に向けて引き続き着実に取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	水道整備課	(副)	水道総務課
成果指標		37. 基幹管路耐震適合率		

1 成果指標の概要																												
関連する 施策	【個別施策】 18. 良質な水道水の安定供給																											
指標の 説明	本市が想定する最大震度階の地震（福島盆地西縁断層地震）に耐えられる重要な水道管の充実度をはかる 指標です。																											
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
91.4 %	目標値	95.7	97.6	97.6	98.2	100.0	重要な水道管すべてが地震に耐えられる状態を 目指します。																					
	実績値	93.9	94.7	95.7																								
	達成率	58.1%	53.2%	69.4%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>91.4</td><td>95.7</td><td>97.6</td><td>97.6</td><td>98.2</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>91.4</td><td>93.9</td><td>94.7</td><td>95.7</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	91.4	95.7	97.6	97.6	98.2	100.0	実績値	91.4	93.9	94.7	95.7			
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	91.4	95.7	97.6	97.6	98.2	100.0																						
実績値	91.4	93.9	94.7	95.7																								
							達成率	評価																				
							69.4%	C																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	老朽管更新事業の推進	事業費 (千円)	662,487	担当課	水道整備課
1	具体的な取組内容	水道水を供給する上で重要度の高い基幹管路（導水管、送水管、配水本管）のうち、耐震機能を有しない管を対象に、耐震継手のダクタイル鋳鉄管へ更新することで、令和7年度までに基幹管路のレベル2耐震適合率100%を目指す。				
	取組成果	令和5年度は、布設替工事により約0.5kmの基幹管路を耐震管へ更新した。 ※令和5年度の基幹管路総延長は124.8km。				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き効率的な施工に努め、令和7年度の目標達成に向けて着実に取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当		(主)		公園緑地課		(副)			
成果指標		38. 都市公園の長寿命化対策の整備率							
1 成果指標の概要									
関連する施策		【個別施策】 19. 都市緑化・景観形成の推進							
指標の説明		都市公園の長寿命化対策により、公園の安全性と快適性の進展をはかる指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
15	目標値		25	29	34	38	44	都市公園の長寿命化対策の推進により、整備率の向上を目指します。	
	実績値		25	36	43				
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%				
%			100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								100.0%	A
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み									
No	取組名	公園施設長寿命化対策事業				事業費 (千円)	70,000	担当課	公園緑地課
1	具体的な取組内容	福島市公園施設長寿命化計画により公園施設の更新を行い、安全性・快適性の向上を図る。 ○令和5年度施設更新予定箇所：6箇所							
	取組成果	公園施設の更新を行い安全性・快適性の向上を図った。 ○施設更新箇所：6箇所 累積施設更新箇所数（5年度末） 38箇所 38/89箇所≒43%							
No	取組名					事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容								
	取組成果								
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）									
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価									
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。									
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性									
引き続き公園施設長寿命化対策事業に取り組み、公園施設の安全性・快適性の向上を図っていく。									

指標進捗管理担当		(主)	住宅政策課		(副)																								
成果指標		39. 福島市空き家バンクに登録された空き家の利活用数(売却、賃貸)																											
1 成果指標の概要																													
関連する施策		【個別施策】 20. 快適な住環境の形成																											
指標の説明		福島市空き家バンクに登録された空き家の売却、賃貸等の利活用により、市内の空き家の発生抑制状況をはかる指標です。																											
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
1 件	目標値	12	36 (2年累計)	60 (3年累計)	84 (4年累計)	108 (5年累計)	福島市の空き家等対策の推進により、令和7年度までの5年間で一戸建て空き家が108件増加すると予測されるため、毎年24件の売買、賃貸の成約により空き家の発生抑制を目指します。																						
	実績値	55	75	95																									
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>12</td><td>36</td><td>60</td><td>84</td><td>108</td><td></td></tr><tr><td>実績値</td><td>55</td><td>75</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	12	36	60	84	108		実績値	55	75	95				100.0%	A
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	12	36	60	84	108																								
実績値	55	75	95																										
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み																													
No	取組名	空家等対策事業		事業費 (千円)	19,797	担当課	住宅政策課																						
1	具体的な取組内容	空家バンクのリニューアルを行い、空き家の流通を促進することにより、防災・衛生・景観等、地域住民の生活環境の保全及び地域振興を図る。また、移住定住支援施策・子育て支援施策と連動した空き家利活用補助制度を創設する。 その他、移住定住等他部局との連携を行うことにより空き家の利活用を促進する。 ○対象内容：(1)空き家バンク事業 (2)空き家の発生抑制事業 (3)空き家利活用補助事業																											
	取組成果	空家バンクの改修と補助制度の創設、発生抑制に向けた啓蒙活動により、空き家の流通及び利活用を促進した。 (1)空き家バンク事業…検索方法の追加・購入体験談掲載により令和6年2月のアクセスが過去最高の約2,800件を記録した。(2)空き家の発生抑制事業…生前から空き家にしないためのイラストによるリーフレットを作成。公共施設窓口へ配布したほか、福祉関係者（地域包括支援センター）にも説明し、周知を図った。(3)空き家利活用補助事業…空き家バンクと連動したリフォーム・清掃補助制度を創設。5件の流通に繋がった。																											
No	取組名			事業費 (千円)		担当課																							
2	具体的な取組内容																												
	取組成果																												
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）																													
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価																													
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。 なお、今後空き家が増えてくると思われるが、引き続き官民で連携した取り組みを望む。																													
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性																													
引き続き空き家バンクの連携団体と制度の周知拡大やウェブサイトの充実を図ることに加え、空き家にしないための啓発・空き家の流通促進と利活用を進めることで、空き家の発生抑制にも繋げていく。																													

成果指標	40. 市営住宅の一定のバリアフリー化率
------	----------------------

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 20. 快適な住環境の形成																												
指標の 説明	バリアフリー化の推進により、誰もが暮らしやすい居住環境をはかる指標です。 ※一定のバリアフリー化 2個所以上の手すり設置又は屋内の段差解消に該当																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
12.5	目標値	16.7	20.9	25.1	29.3	33.5	令和7年度の本市の老年人口割合は33.5%と推計されるため、令和7年度までに同程度のバリアフリー化率を目指します。																						
	実績値	19.9	24.2	27.4																									
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																									
%																													
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>12.5</td><td>12.5</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>16.7</td><td>19.9</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>20.9</td><td>24.2</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>25.1</td><td>27.4</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>29.3</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>33.5</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値 (%)	実績値 (%)	基準値	12.5	12.5	令和3年度	16.7	19.9	令和4年度	20.9	24.2	令和5年度	25.1	27.4	令和6年度	29.3		令和7年度	33.5		達成率	評価
年度	目標値 (%)	実績値 (%)																											
基準値	12.5	12.5																											
令和3年度	16.7	19.9																											
令和4年度	20.9	24.2																											
令和5年度	25.1	27.4																											
令和6年度	29.3																												
令和7年度	33.5																												
							100.0%	A																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	ストック総合改善事業	事業費 (千円)	5,112千円	担当課	住宅政策課
1	具体的な取組内容	令和2年度には65歳以上の老年人口が30%を超え、令和7年度には33.5%と推計され、今後さらに高齢化が進むことが見込まれるため、高齢者等が住み慣れた地域で生活を継続し、自立して暮らすことができる居住環境の形成を推進する。 ○対象内容：子育て・高齢者へ配慮した補助器具として2箇所以上の手すりの設置、または屋内の段差解消を図る。 ○設置場所：玄関、トイレ等				
	取組成果	高齢化を見据えた居住環境の形成を図るため、バリアフリー化を推進した。 ①笹谷団地3棟（14戸）の玄関前にスロープ設置（共用部のバリアフリー化） ②笹谷団地、由添団地、蓬萊第一団地（計106戸）の玄関・トイレに手すりを設置（住戸内バリアフリー化） バリアフリー化済住戸／全管理戸数（令和5年度末）＝1,112戸／4,097戸 27.4%				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き、高齢者等が自立して暮らすことができる居住環境の形成を推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	産業雇用政策課	(副)	男女共同参画センター
----------	-----	---------	-----	------------

成果指標	41. 女性の管理職登用率(従業員20人以上の事業所)
------	-----------------------------

1 成果指標の概要																										
関連する施策		【個別施策】 21. 就労の支援と雇用の創出																								
指標の説明		女性の管理職登用率により、民間事業所における働く女性の活躍の状況をはかる指標です。																								
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																			
17.5 %	目標値	18.0	18.5	20.0	21.0	22.0	女性の活躍推進により、基準値の4.5ポイント増を目指します。																			
	実績値	18.9	19.5	21.0																						
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																						
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																		
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>17.5</td><td>18.0</td><td>18.5</td><td>20.0</td><td>21.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>18.9</td><td>19.5</td><td>21.0</td><td>21.0</td><td>22.0</td></tr></tbody></table>							項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	基準値	17.5	18.0	18.5	20.0	21.0	実績値	18.9	19.5	21.0	21.0	22.0	100.0%	A
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																					
基準値	17.5	18.0	18.5	20.0	21.0																					
実績値	18.9	19.5	21.0	21.0	22.0																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	働く女性応援事業	事業費 (千円)	1,203	担当課	産業雇用政策課
1	具体的な取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境づくりを推進するために、福島市独自の認証基準を設定し、積極的な取り組みを行なう中小企業を認証する。また、認証した企業と取組事例を広く公表することで、福島市の企業のイメージアップ、地域社会への波及効果を促し、女性の活躍するまちづくりの推進を図る。 ○対象内容：(1)働く女性応援企業認証事業				
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを推進する中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりを促進した。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証事業数 18社 ・ゴールド認証企業数 5社				
No	取組名	女性の起業チャレンジ応援事業	事業費 (千円)	332	担当課	男女共同参画センター
2	具体的な取組内容	女性活躍の場を広げるため、「ふくしま起業女子応援パッケージ」として、起業にチャレンジしたい女性を対象に講座を開催する。また、相談や体験ができる機会を作り、継続的にサポートできる仕組みを作る。 ○対象内容：(1)起業チャレンジ講座の開催(起業の知識習得、先輩起業家とのネットワーク形成) (2)起業姉妹カフェの開催(起業を目指す人が先輩起業家へ相談) (3)プチインターンシップの機会設定(補助スタッフとして起業家の店舗等で体験) (4)起業(出店含む)に関する各種支援制度等の情報提供				
	取組成果	起業にチャレンジしたい女性に対し、以下の継続的な支援を行った。 (1)【知識習得】起業チャレンジ講座…3回開催(58名受講) (2)【出会い・交流】起業姉妹カフェ…3回開催(40名参加) (3)【職場体験】プチインターンシップ…3名参加(4)【起業体験】お試しワンデー起業…2名参加 本市における女性起業への関心、気運を高める成果があった。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)
①みんなの活躍応援事業[264](男女共同参画センター) ②雇用安定対策事業[998](産業雇用政策課)	
③女性活躍推進事業[1,980](産業雇用政策課)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。 なお、これから就職する世代に、自分のモデルケースになるような女性が活躍している姿を見せ、福島市に就職するきっかけづくりとなる取り組みを望む。 また、高校生が職場体験などを通して福島企業の情報について知ることができる機会が必要である。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
引き続き働く女性応援事業・女性の起業チャレンジ応援事業等に取り組み、女性の管理職登用率の増加を目指す。 また、若年者を対象とした合同企業説明会等で積極的に企業の事業内容や福島市で働くことの魅力を発信し、若年者の定着を図る。併せて、認証企業で働く女性の活躍する姿を広く公表し、認証企業に就職するきっかけとしてもらう。

指標進捗管理担当	(主)	産業雇用政策課	(副)	男女共同参画センター
----------	-----	---------	-----	------------

成果指標

42. 働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 21. 就労の支援と雇用の創出					
指標の 説明		働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数により、市内企業における女性や障がい者の働きやすさを示 かる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
45 社	目標値	60	75	90	105	120	積極的な企業訪問による啓発等により、年間10 社を上回る認証を目指します。
	実績値	72	88	108			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>実績値推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>45</td><td>60</td><td>75</td><td>90</td><td>105</td><td>120</td></tr><tr><td>実績値</td><td>45</td><td>72</td><td>88</td><td>108</td><td>105</td><td>120</td></tr></tbody></table>						年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	45	60	75	90	105	120	実績値	45	72	88	108	105	120	100.0%	A
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	45	60	75	90	105	120																						
実績値	45	72	88	108	105	120																						

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	働く女性応援事業	事業費 (千円)	1,203	担当課	産業雇用政策課
1	具体的な取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境づくりを推進するために、福島市独自の認証基準を設定し、積極的な取り組みを行なう中小企業を認証する。また、認証した企業と取組事例を広く公表することで、福島市の企業のイメージアップ、地域社会への波及効果を促し、女性の活躍するまちづくりの推進を図る。 ○対象内容：(1)働く女性応援企業認証事業				
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女がともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを推進する中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりを促進した。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証企業数 18社 ・ゴールド認証企業数 5社				
No	取組名	雇用安定対策事業	事業費 (千円)	998	担当課	産業雇用政策課
2	具体的な取組内容	障がい者雇用に対する意識向上を図り、誰もが働きやすい職場環境を整備するため、障がい者雇用を積極的に進める中小企業を認証するとともに、労働条件等実態調査の実施により雇用環境の把握を図り、地域雇用対策について関係団体と連携し推進する。 ○対象内容：(1)各種就職支援会議への出席 (2)労働条件等実態調査の実施 (3)障がい者雇用推進企業認証事業				
	取組成果	障がい者雇用の推進のため、市内事業所の労働環境の実態把握等の情報収集を行ったほか、障がい者雇用を積極的に進める中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、障がい者雇用に対する意識向上につなげた。 ○障がい者雇用推進企業認証事業 ・新規認証企業数 2社 ・ゴールド認証企業数 1社				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

①みんなの活躍応援事業[264](男女共同参画センター) ②女性活躍推進事業[1,980](産業雇用政策課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き働く女性応援事業・雇用安定対策事業等に取り組み、働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数の増加を目指し、誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図る。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	交通政策課、市街地整備課、にぎわい商業課
成果指標	43. 休日の歩行者・自転車通行量(7地点)★重点施策の再掲			

1 成果指標の概要																													
関連する施策		【個別施策】 22. 中心市街地の活性化																											
指標の説明		歩行者・自転車通行量により、まちなかの魅力と回遊性の状況をはかる指標です。																											
基準値 (令和2年7月測定値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
13,690 人/日	目標値	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837	人々の往来につながる施策の展開により、休日の歩行者・自転車通行量の増加を目指します。																						
	実績値	11,594	13,393	13,668																									
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>13,690</td><td>13,690</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>13,719</td><td>11,594</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>13,748</td><td>13,393</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>13,778</td><td>13,668</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>13,807</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>13,837</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	13,690	13,690	令和3年度	13,719	11,594	令和4年度	13,748	13,393	令和5年度	13,778	13,668	令和6年度	13,807		令和7年度	13,837		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	13,690	13,690																											
令和3年度	13,719	11,594																											
令和4年度	13,748	13,393																											
令和5年度	13,778	13,668																											
令和6年度	13,807																												
令和7年度	13,837																												
							0.0%	D																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	商店街等活性化イベント支援事業	事業費 (千円)	30,837	担当課	にぎわい商業課
1	具体的な 取組内容	交流人口拡大や賑わいを創出し、地域経済や商店街等の活性化を図るために、商店街等が実施するイベント経費の一部を補助する（補助率 1/2、上限500千円 ほか）。また、新しい生活様式や感染予防に対応したイベントの推進と定着を促す。				
	取組成果	商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補助件数 80件				
No	取組名	まちなか広場管理運営事業	事業費 (千円)	4,979	担当課	市街地整備課
2	具体的な 取組内容	中心市街地の賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、さらには防災広場として、休日のイベントに限らず、日常的にも多くの市民が安全かつ快適に滞在できるよう、良好な環境の維持保全に努める。				
	取組成果	まちなか広場は、令和4年7月にリニューアルオープンし、新たに大屋根、ベンチ、緑地、更にはWi-Fi環境等が整備されたことで、日常的に滞在しやすい公共空間が生み出された。オープン後はランチや休息などによる利用が増え、また様々なイベント等にも使用されることとなり、使用件数が増加している。 【R5年度：56件、R4年度（R4.7～3月）：46件】（参考）R3:16件、R2:24件、R1:18件				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①街なかのにぎわい創出事業[32,617]（にぎわい商業課） ②街なかテーマパーク事業 [9,966]（にぎわい商業課） ③街なか空き店舗入居者家賃補助事業[72,264]（にぎわい商業課） ④街なか再生リノベーション事業[44,099]（にぎわい商業課） ⑤ももりんシェアサイクル運営事業[26,607]（交通政策課） ⑥古閑裕而メロディーバス運行事業[14,959]（交通政策課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
新型コロナウイルスの5類移行や空き店舗対策による魅力的な個店の出店、週末のイベント開催などにより、文化通りや並木通りを中心に通行量が増加し、徐々に街なかに来街者が回帰してきている。街なかの活性化を一層推進するため、新規出店者に対する伴走型支援の検討や、若い世代への街なかの魅力発信など、街なかへの更なる集客と回遊性の向上を図る。 また、パークアンドライド、シェアサイクル、メロディーバスの利用者も年々増加しており、面的な回遊性の向上に寄与している。引き続き成果指標の進捗に貢献する取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	政策調整課、にぎわい商業課、地域共創課
----------	-----	-------	-----	---------------------

成果指標	44. まちづくり活動に参画する学生数
------	---------------------

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 22. 中心市街地の活性化					
指標の 説明		まちなかの魅力向上に向けたまちづくり活動に取り組む学生数により、新たな魅力の創出の状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
— 人／年	目標値	60	60	60	60	60	市内大学・短期大学等との連携を図り、賑わいの創出に向けた新たなまちづくり活動に参画する学生を年間60人目指します。
	実績値	68	76	125			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価																					
<table><caption>実績値推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>60</td><td>60</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>60</td><td>68</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>60</td><td>76</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>60</td><td>125</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>60</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>60</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	基準値	60	60	令和3年度	60	68	令和4年度	60	76	令和5年度	60	125	令和6年度	60		令和7年度	60		100.0%	A
年度	目標値	実績値																						
基準値	60	60																						
令和3年度	60	68																						
令和4年度	60	76																						
令和5年度	60	125																						
令和6年度	60																							
令和7年度	60																							

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	990	担当課	にぎわい商業課
1	具体的な取組内容	街なか若者活動促進事業（街なかにぎわい創出事業） 福島県立医科大学保健科学部、福島学院大学などと連携し、街なかでのイベント支援や、若者のまちづくりに関わる活動を支援することで街なかの賑わいを創出する。			
	取組成果	街なかでイベントを開催したい学生へ、イベント開催の指導・助言並びに補助金の交付(9件)をおこない、街なかの賑わい創出に寄与した。			
No	取組名	事業費 (千円)	2,000	担当課	政策調整課
2	具体的な取組内容	産官学連携プラットフォーム推進事業 産業界・市・高等教育機関による連携体制「福島市産官学連携プラットフォーム」を活用し、若者の地元定着や人材育成など、地域課題の解決に取り組む。 ○対象内容：(1)大学生による地元企業研究および魅力発信事業 (2)市内高等教育機関の学生を対象とした、企業と学生の意見交換会			
	取組成果	(1) 大学生が地元企業を訪問し、インタビューや職場体験を通して地元企業を知る機会を創出した。 (2) 学生を対象に「就職セミナー」を開催し、市長・地元企業の経営者等によるパネルディスカッションや合同企業説明会を行い、地元での就職や地元定着の意識付けを図った。 産官学で連携し、地元の魅力発信に取り組むとともに、若者と地元企業との接点の創出にも繋げることができた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①街なかにぎわい創出事業 [32,617]（にぎわい商業課）	
②街なかテーマパーク事業 [9,966]（にぎわい商業課）	
③商店街等活性化イベント支援事業 [30,837]（にぎわい商業課）	
④共創のまちづくりの推進事業[45]（地域共創課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

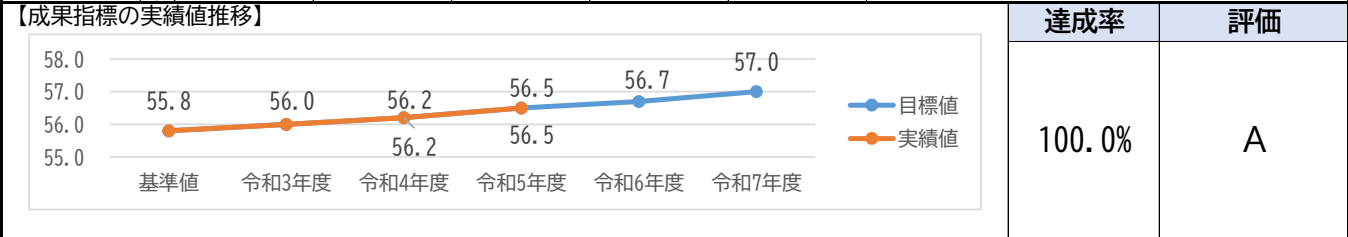
学生が中心市街地のまちづくりにより関心をもち、年間を通じて活動や取り組みができるよう、街なか賑わい創出プロジェクトとの連携や学生に対する活動費補助、こくりナビなど、支援・サポート体制の充実に努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	道路建設課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標 45. 道路改良率

1 成果指標の概要

関連する 施策	【個別施策】 23. 道路交通ネットワークの整備						
指標の 説明	市道として管理している道路のうち、十分な道路幅員や側溝整備を完了した道路の改良率により、快適な道路網の整備状況をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
55.8 %	目標値	56.0	56.2	56.5	56.7	57.0	都市計画道路や市道改良、歩道設置などの整備を推進することにより、約1%（延長約35,000m）の増加を目指します。
	実績値	56.0	56.2	56.5			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	132,386	担当課	道路建設課
1	具体的な取組内容	学法福島高校から国道13号を結ぶ幹線道路の拡幅工事を進めます。（全体計画 L=450m） ○対象内容：道路改良工100m 用地買収915㎡（令和5年度） ○事業進捗率：49.0%（令和4年度末）			
	取組成果	計画どおりの進捗が図られたが、当初予算分の工事が繰越となった。12月補正予算分とあわせ令和6年度執行予定である。 ○対象内容：道路改良工151.7m 用地買収31.9㎡ ○事業進捗率：65.7%（令和5年度末）			
No	取組名	事業費 (千円)	128,022	担当課	道路建設課
2	具体的な取組内容	県庁通りから国道13号までの区間の工事と用地補償を行う。（全体計画 L=346m） ○対象内容：道路改良工100m 用地買収390㎡ 物件補償2件（令和5年度） ○事業進捗率：86.1%（令和4年度末）			
	取組成果	計画どおりの進捗が図られたが、当初予算分の工事が繰越となった。12月補正予算分とあわせ令和6年度執行予定である。 ○対象内容：道路改良工150m 用地買収240㎡ ○事業進捗率：96.1%（令和5年度末）			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①浜田町春日町線[34,962]（道路建設課）	②入江町桜木町線[495]（道路建設課）	③北沢又丸子線[12,983]（道路建設課）
④鳥川大笹生線[47,180]（道路建設課）	⑤椿沢線[396]（道路建設課）	⑥大蔵南慶二線[6,661]（道路建設課）
⑦北谷地長畑線[16,786]（道路建設課）	⑧南町佐倉下線[15,799]（道路建設課）	⑨杉妻町御山線[86,600]（道路建設課）
⑩杉妻町早稲町線[14,068]（道路建設課）	⑪生活道路改良事業[213,580]（道路建設課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

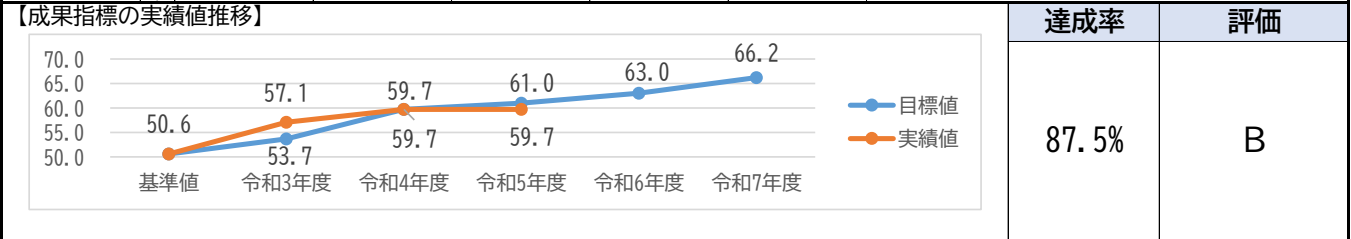
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

令和5年度は、国庫補助金等について概ね要望どおり予算確保ができ、計画的な事業進捗が図られたことから、引き続き、国・県に予算要望し財源確保に努め、都市計画道路や市道改良、歩道設置などの整備を推進する。

指標進捗管理担当	(主)	道路保全課	(副)	
成果指標 46. 重要橋梁の耐震補強整備率				

1 成果指標の概要

関連する 施策	【個別施策】 23. 道路交通ネットワークの整備						
指標の 説明	市が管理する橋梁1,083橋のうち、緊急輸送路などの重要橋梁77橋の耐震補強整備率により、安心安全な 道路交通の充実度をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
50.6 %	目標値	53.7	59.7	61.0	63.0	66.2	重要橋梁の耐震補強工事を優先的・計画的に進めることにより、耐震補強整備率の向上を目指します。
	実績値	57.1	59.7	59.7			
	達成率	100.0%	100.0%	87.5%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	市道橋の長寿命化修繕事業 具体的な取組内容 道路メンテナンス事業を活用して、橋梁補修工事及び耐震補強工事を実施する。 ○対象施設：蓬萊橋（市道南向台・黒岩線）ほか ○重要橋梁耐震化率：59.7%（令和4年度末） 取組成果 重要橋梁耐震化率が令和4年度末 59.7%に対し、令和5年度末 59.7%と前年度と同じであったが、繰越で耐震補強工事は進んでいて、令和6年度末で48橋(62.3%)の耐震補強完了予定。	646,070	道路保全課
2	市道橋の長寿命化推進事業 具体的な取組内容 道路メンテナンス事業を活用して、5年ごとの近接目視による橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画更新を行う。 ○対象施設：松川跨線人道橋（市道原・中原線）ほか 取組成果 令和5年度は2巡目点検の最終年度で、JR 3橋、中規模 19橋（内直営6橋）、小規模 165橋（内直営4橋）、合計187橋の橋梁点検を実施した。 点検で損傷が確認された橋梁について、橋梁補修工事を実施する。	44,340	道路保全課

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

①橋梁維持修繕事業（道路保全課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も計画的に耐震補強工事を実施し、目標達成に取り組む。

指標進捗管理担当		(主)	交通政策課		(副)		
成果指標		47. 福島市管内路線バスにおける福島市内乗車人員(年間)					
1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 24. 公共交通網の充実					
指標の説明		路線バスの乗車人員により、路線バス利用の状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
5,097,851 人	目標値	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	路線バスの利用促進を図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	3,829,426	3,991,334	4,573,643			
	達成率	76.6%	79.8%	91.5%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						91.5%	B
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	バス路線運行維持対策事業			事業費 (千円)	151,369	担当課 交通政策課
1	具体的な取組内容	路線バスの乗車人員は回復基調にあるものの、未だコロナ前の水準まで回復できていない。加えて、物価高騰等の影響により路線バス事業者の経営は厳しい状況にある。路線バス運行経費の一部を支援して、市民の日常生活における移動手段を確保する。					
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して路線バスの維持、確保に努めた。 ○福島市生活路線バス等運行対策補助金 123,630千円 ○福島市委託バス等交通対策補助金 24,124千円					
No	取組名	中心市街地活性化交通支援事業			事業費 (千円)	11,770	担当課 交通政策課
2	具体的な取組内容	市内循環ももりんバスの運行経費の一部を支援して、街なかへのアクセス向上を図り、中心市街地活性化に寄与する。					
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して市内循環ももりんバスの維持、確保に努めた。 ○福島市中心市街地活性化交通支援事業補助金 11,770千円					
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)							
①古閑裕而メロディーバス運行事業[14,959](交通政策課)							
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価							
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。							
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性							
一定の需要が見込まれ、まちづくりの骨格となる路線はできるだけ維持するとともに、地域内の日常生活を支える路線・区間については、地域の実情に合った運行形態に転換する等運行の効率化を図り、持続可能な公共交通網の構築に努める。							

指標進捗管理担当	(主)	交通政策課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標 48. 福島交通飯坂線、阿武隈急行線の福島市内乗車人員(年間)

1 成果指標の概要																												
関連する 施策		【個別施策】 24. 公共交通網の充実																										
指標の 説明		福島交通飯坂線、阿武隈急行線の乗車人員により、鉄道輸送の利用状況をはかる指標です。																										
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
3,807,915 人	目標値	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	鉄道輸送の充実などを図ることにより、基準値の維持を目指します。																					
	実績値	2,753,857	2,671,647	3,052,049																								
	達成率	72.5%	70.3%	80.3%																								
【成果指標の実績値推移】																												
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>3,807,915</td><td>3,800,000</td><td>3,800,000</td><td>3,800,000</td><td>3,800,000</td><td>3,800,000</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>2,753,857</td><td>2,671,647</td><td>3,052,049</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	3,807,915	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	実績値		2,753,857	2,671,647	3,052,049			
項目	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	3,807,915	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000																						
実績値		2,753,857	2,671,647	3,052,049																								
							達成率																					
							80.3%																					
							評価																					
							B																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	鉄道・バス等公共交通施設整備促進事業	事業費 (千円)	114,450	担当課	交通政策課
1	具体的な取組内容	福島交通飯坂線、阿武隈急行線の乗車人員は回復基調にあるものの、未だコロナ前の水準まで回復できていない。加えて、物価高騰等の影響により鉄道事業者の経営は厳しい状況にある。鉄道事業者が実施する施設整備等に係る費用の一部を支援して輸送安全性の向上を図り、市民の日常生活における移動手段を確保する。				
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して鉄道事業の維持、確保に努めた。 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金(繰越含む) 102,823千円 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金(繰越含む) 10,261千円 ○第4種踏切道対策事業費補助金 1,227千円				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

阿武隈急行線対策費[47136]交通政策課

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き鉄道施設整備等を支援して輸送安全性の向上を図るとともに、事業者と連携した利用促進の取組も推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、住宅政策課、農業企画課
----------	-----	-------	-----	---------------------------

成果指標

49. 移住・定住の各施策により本市移住に結びついた移住者の割合

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 25. 移住定住・関係人口の拡大																											
指標の 説明		移住希望者のうち、本市移住に結びついた移住者の割合により、本市の魅力などの情報発信の充実度を表はかる指数です。																											
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
22.4	目標値	23.9	25.4	26.9	28.4	30.0	移住希望者のニーズにあった有効的なアプローチにより、過去4年間の実績値を上回る、年間1.5%の増加を目指します。																						
	実績値	38.8	26.4	29.8																									
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>22.4</td><td>22.4</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>23.9</td><td>38.8</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>25.4</td><td>26.4</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>26.9</td><td>29.8</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>28.4</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>30.0</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	22.4	22.4	令和3年度	23.9	38.8	令和4年度	25.4	26.4	令和5年度	26.9	29.8	令和6年度	28.4		令和7年度	30.0		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	22.4	22.4																											
令和3年度	23.9	38.8																											
令和4年度	25.4	26.4																											
令和5年度	26.9	29.8																											
令和6年度	28.4																												
令和7年度	30.0																												
							100.0%	A																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	10,223	担当課	定住交流課
1	新生活応援事業				
	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料パスポート交付事業				
2	取組成果				
	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住準備支援金：補助件数：152件（補助額：9,182千円） ○湯めぐり無料パスポート：交付件数192件				
No	取組名	事業費 (千円)	34,089	担当課	定住交流課
2	U I J ターン移住支援事業				
	東京23区の在住者等が本市に転入し、福島県のマッチングサイトに掲載の中小企業に就職、または起業やテレワーク等の要件を満たした方に対し補助金を交付する。 ○補助上限：単身世帯60万円、複数世帯100万円＋子育て加算（100万円×人数）				
2	取組成果				
	東京圏からの一定の要件を満たした移住者に対し支援をすることで、本市の地元中小企業等における担い手の確保及び本市の移住・定住の促進が図られた。 ○補助件数：25世帯（単身世帯10世帯、複数世帯15世帯） 就業等の内訳：起業1世帯、テレワーク5世帯、関係人口からの就業19世帯				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①結婚新生活支援事業[65,330]（定住交流課） ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711]（企業振興課）
 ③広報推進事業[3,828]（定住交流課） ④多世帯同居・近居支援事業[3,850]（定住交流課）
 ⑤移住コーディネーター活動事業費[4,353]（定住交流課） ⑥空家等対策事業[19,797]（住宅政策課）
 ⑦クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071]（産業雇用政策課）
 ⑧あぐりっしゅサポートパッケージ（新規就農支援）[77,436]（農業企画課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

首都圏等における相談機会の拡大や、本市の魅力や暮らし、移住定住施策等のPRを強化し更なる移住者の獲得に努める。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、住宅政策課、農業企画課、男女共同参画センター
成果指標		50. 人口の社会動態(20歳～39歳)		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要																													
関連する施策		【個別施策】 25. 移住定住・関係人口の拡大																											
指標の説明		若年層の社会動態（20歳～39歳）により、移住定住先に選ばれる環境の充実度をはかる指標です。																											
基準値 (H28～R元の4年 間平均値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
△ 650 人	目標値	△ 585	△ 520	△ 455	△ 390	△ 325	移住定住の促進により、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。																						
	実績値	△ 647	△ 571	△ 725																									
	達成率	4.6%	60.8%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>△ 585</td><td>△ 647</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>△ 520</td><td>△ 571</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>△ 455</td><td>△ 725</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>△ 390</td><td>△ 725</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>△ 325</td><td>△ 725</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>△ 325</td><td>△ 725</td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	△ 585	△ 647	令和3年度	△ 520	△ 571	令和4年度	△ 455	△ 725	令和5年度	△ 390	△ 725	令和6年度	△ 325	△ 725	令和7年度	△ 325	△ 725	達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	△ 585	△ 647																											
令和3年度	△ 520	△ 571																											
令和4年度	△ 455	△ 725																											
令和5年度	△ 390	△ 725																											
令和6年度	△ 325	△ 725																											
令和7年度	△ 325	△ 725																											
							0.0%	D																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	事業費 (千円)	10,223	担当課	定住交流課	
1	具体的な取組内容	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料パスポート交付事業				
	取組成果	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住準備支援金：補助件数：152件（補助額：9,182千円） ○湯めぐり無料パスポート：交付件数192件				
No	取組名	事業費 (千円)	65,330	担当課	定住交流課	
2	具体的な取組内容	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用（敷金・礼金・家賃等）及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約800件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円				
	取組成果	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しにとなった。 ○補助世帯数：374世帯（補助額：65,330千円） ○スタートアップ支援：145件（住宅購入・リフォーム費用：21件、賃貸初期費用：112件、引越費用：12件） ○家賃支援：291件				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071]（産業雇用政策課） ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711]（企業振興課） ③U I J ターン移住支援事業[34,089]（定住交流課） ④広報推進事業[3,828]（定住交流課） ⑤多世帯同居・近居支援事業[3,850]（定住交流課） ⑥移住コーディネーター活動事業[4,353]（定住交流課） ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業（住宅政策課） ⑧空家等対策事業[19,797]（住宅政策課） ⑨あぐりっしゅサポートパッケージ（新規就農支援）[77,436]（農業企画課） ⑩ふくしま起業女子応援パッケージ[332]（男女共同参画センター） ⑪外国人生活相談事業[4,667]（定住交流課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
移住者数は年々増加傾向にあるが、市全体の若年層の転出超過に歯止めがかからないため、若い世代の移住定住の地として選ばれよう、本市の様々な施策（仕事、住まい、子育て等）を通じて新生活を支援する仕組みや活用事例などを積極的に発信していく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	農業振興課、農林整備課、観光交流推進室
成果指標		51. 農業産出額		
★重点施策の再掲				

1 成果指標の概要							
関連する施策	【個別施策】 26. 農林業の振興						
指標の説明	農業生産の実態を示す金額（産出額）により、農業の振興の状況をはかる指標です。						
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
174 億円	目標値	177	180	183	186	190	農業担い手確保、農業経営の強化、消費拡大など各種施策の展開により、190億円の農業産出額を目指します。
	実績値	178	189	181			
	達成率	100.0%	100.0%	77.8%			
【成果指標の実績値推移】							
							達成率 77.8%
							評価 C

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	あぐりっしゅサポートパッケージ	事業費 (千円)	77,436	担当課	農業企画課
1	具体的な 取組内容	新規就農を推進するため、相談・体験・研修・営農・定着に至る各ステップで、総合的に支援する。 ○あぐりっしゅサポート事業（農業体験支援事業、農業経営開始支援事業、農業メンター事業、農業用機械等導入支援事業、農地流動化支援事業(新規就農者対象)） ○新規就農者育成総合対策事業（新たに独立して農業経営を行う農業者に対し、資金を交付）				
	取組成果	就農希望者に対し相談業務を実施するとともに、各ステップにおける支援事業を案内することにより、事業活用の促進及び新規就農者数の増加につながった。また、営農を開始した農業者に対し、メンターのあっせんや資金面での支援を行うことにより、新規就農者の確保と定着を図った。 ○農業経営開始支援事業 16件 5,950千円 ○農業次世代人材育成事業 8件 10,516千円 ○経営開始資金（経営開始支援資金） 16件 21,750千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業） 7件 36,715千円				
No	取組名	農用地集積・集約の取り組み	事業費 (千円)	5,363	担当課	農業企画課
2	具体的な 取組内容	担い手の農業経営規模の拡大と安定化を図り、農用地の有効活用を図るため、担い手への農地集積・集約化を支援する。 ○農地中間管理事業 ○農地流動化支援事業（新たに農地を取得、または賃借した農業者へ支援金を交付）				
	取組成果	担い手への農地の集積・集約化等を加速化させ、農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化を促進した。 新規就農者や10a以上農地を集約した農業者に支援金を交付することで、担い手の安定的な農業経営の発展を支援し、農業者の経営規模拡大や新規就農者の確保を促進した。 ○農用地利用集積面積 1,346ha				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①鳥獣被害対策事業[40,874]（農業企画課） ②スマート農業推進事業[17]（農業企画課） ③農業経営安定化事業[3,806]（農業振興課） ④気候変動対応型農業支援事業[4,429]（農業振興課） ⑤地域6次産業化推進事業[2,829]（農業振興課） ⑥ふくしまの農産物魅力アップ事業[2,926]（農業振興課） ⑦スイーツ・プレミアム事業[10,345]（観光交流推進室） ⑧農道・水路・ため池等の整備[365,605]（農林整備課） ⑨福島駅前軽トラ市開催事業[6,981]（農業振興課） ⑩第三者認証GAP取得等促進事業[24]（農業振興課） ⑪「ゆうやけベリー」ブランド化推進事業[6,430]（農業振興課） ⑫周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、就農後の定着率が低くなる要因を関係機関と共有し、営農が継続できるような取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
本市農業の持続的発展に向け、福島市農業・農村振興計画を基本方針とした各種施策に今後も取り組み、担い手の育成、多様な人材の活躍促進、農産物の安全性確保・品質向上、消費拡大の推進などに努めていく。さらに、新規就農者の営農定着に向け、各関係機関とともに引き続き連携して取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	定住交流課
----------	-----	-------	-----	-------

成果指標	52. 新規就農者数
------	------------

1	成果指標の概要
---	---------

関連する 施策		【個別施策】 26. 農林業の振興																											
指標の 説明		農業後継者や新規参入者の人数により、新たな農業の担い手の確保の状況をはかる指標です。																											
基準値 (H28～R2年度 の5年間)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
参考145 人	目標値	40	80 (R3～4年度 までの2年間)	120 (R3～5年度 までの3年間)	160 (R3～6年度 までの4年間)	200 (R3～7年度 までの5年間)	新規就農者への支援策の強化や就農相談、農業 体験など、きめ細かな対応を図ることにより、 毎年40人の新規就農者の確保を目指します。																						
	実績値	28	69	115																									
	達成率	70.0%	86.2%	95.8%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
参考145 (H28～R2年度の5年間) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>40</td><td>28</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>80</td><td>69</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>120</td><td>115</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>160</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>200</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	0	0	令和3年度	40	28	令和4年度	80	69	令和5年度	120	115	令和6年度	160		令和7年度	200		95.8%	B
年度	目標値	実績値																											
基準値	0	0																											
令和3年度	40	28																											
令和4年度	80	69																											
令和5年度	120	115																											
令和6年度	160																												
令和7年度	200																												

2	成果指標の進捗に貢献する主な取り組み
---	--------------------

No	取組名	あぐりっしゅサポート事業 (あぐりっしゅサポートパッケージ)	事業費 (千円)	8,055	担当課	農業企画課
1	具体的な 取組内容	農業の担い手を確保するため、兼業就農や親元就農者、農業法人等に就農時初期費用などの一部を助成する。また、新規就農者に対し指導者となる農業者（メンター）をマッチングする。 ○農業体験支援事業 ○農業経営開始支援事業 ○農業用機械等導入支援事業 ○農業メンター事業 ○農地流動化支援事業（新規就農者対象）				
	取組成果	多様な形態の新規就農者に就農時初期費用の助成を行い、円滑な経営継承や就農の定着を支援することにより、新規就農者の確保につなげた。また、新規就農者に対し、メンターのあっせんによる就農後のフォローアップ体制の強化を図り、就農の定着を促進した。 ○農業経営開始支援事業 16件 5,950千円 ○農業体験事業 1件 ○農業メンター事業 メンター件数 11件 ○農地流動化支援事業 18件 233千円				
No	取組名	新規就農者育成総合対策事業 (あぐりっしゅサポートパッケージ)	事業費 (千円)	69,381	担当課	農業企画課
2	具体的な 取組内容	就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新たに独立して農業経営を行おうとする農業者に対し、資金を交付する。 ○資金受給者の就農状況確認及び指導 ○資金交付（年間最大150万円を最長3年間交付、機械・施設等の導入経費の3/4、最大750万円交付）				
	取組成果	独立・自営就農者等に対して資金を交付し、就農意欲の喚起と新規就農者の確保につなげた。加えて、関係機関や団体と連携し、新規就農者に対する現地圃場での技術指導や経営相談などのフォローアップを行うことにより、就農定着を図った。 ○農業次世代人材育成事業 8件 10,516千円 ○経営開始資金（経営開始支援資金） 16件 21,750千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業） 7件 36,615千円 ○推進事業費 500千円				

3	成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
---	----------------------	----------------------------

①新生活応援事業[10,223]（定住交流課）

4	成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。なお、就農後の定着率が低くなる要因を関係機関と共有し、営農が継続できるような取り組みを望む。	

5	外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
本市農業の持続的発展に向け、あぐりっしゅサポートパッケージを継続実施することで、引き続き、担い手の育成、多様な人材の活躍促進などに努めていく。 さらに、新規就農者の営農定着に向け、各関係機関とともに引き続き連携して取り組んでいく。	

指標進捗管理担当	(主)	企業振興課	(副)	産業雇用政策課
成果指標		53. 製造品出荷額等		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要							
関連する施策	【個別施策】 27. 工業の振興						
指標の説明	製造品出荷額等により、工業の振興の状況をはかる指標です。						
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
5,637 億円	目標値	5,637	5,637	5,637	5,637	5,637	労働人口の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による経営悪化などにより減少が見込まれますが、ICT活用や企業競争力の向上を図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	4,768	4,455	4,629			
	達成率	84.6%	79.0%	82.1%			
【成果指標の実績推移】						達成率	評価
5,800 5,400 5,000 4,600 4,200 5,637 5,637 5,637 5,637 5,637 5,637 4,768 4,455 4,629 ● 目標値 ● 実績値 基準値 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度						82.1%	B

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	新事業創出支援事業	事業費 (千円)	2,186	担当課	産業雇用政策課
1	具体的な 取組内容	市内中小企業の競争力の強化及び新事業の進出や新たなものづくりへの取り組みを支援し、本市産業の活性化に繋げる。 (1) 展示会出展・販路拡大支援事業 (2) 新製品・新技術開発支援事業				
	取組成果	新製品・新技術を開発する企業に対し支援を行ったほか、販路拡大や新規需要開拓のため展示会出展企業に対し支援を行い、競争力強化と地域経済の活性化を図った。 (1) 展示会出展・販路拡大支援事業 補助件数 5件 (2) 新製品・新技術開発支援事業 補助件数 4件				
No	取組名	第2期福島おおぞうインター工業団地整備事業	事業費 (千円)	1,710,874	担当課	企業振興課
2	具体的な 取組内容	イノベーションコースト構想の玄関口となる本市の魅力と立地優位性を活かし、産業振興、雇用創出のため、企業誘致の受け皿となる新たな工業団地の整備を進める。 (1) 用地取得 (2) 造成工事				
	取組成果	新たな工業団地の整備に向け、関係機関と協議を行い、県北都市計画用途地域の変更後、用地を取得して工業団地造成工事に着手した。 (1) 用地取得 取得面積 A=184,843.91㎡ (2) 造成工事 開発面積 A=195,465.26㎡（分譲区画：8区画）				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)
①食品加工産業創出事業[3,033](産業雇用政策課) ②医産連携推進事業[11,815](産業雇用政策課) ③産学連携推進事業[10,585](産業雇用政策課) ④特定集積産業事業拡大・強化支援事業[10,000](産業雇用政策課) ⑤ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業[515](産業雇用政策課) ⑥クリエイティブビジネスサロン運営事業[19,071](産業雇用政策課) ⑦企業立地促進事業[182,698](企業振興課) ⑧「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業[1,711](企業振興課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。 なお、企業誘致については、本社の誘致など、誘致企業の福島市への定着が図られる取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
地元企業の事業拡大や生産体制強化を図るため、引き続き企業間連携の促進や各種支援事業に取り組むとともに、企業誘致の受け皿となる第2期福島おおぞらインター工業団地の整備や新たな産業用地等の検討を進め、交通便利性に優れた本市の魅力を発信しながら特定集積産業や本社機能を有する工場等、本市への定着が期待される企業の誘致に努める。

指標進捗管理担当	(主)	にぎわい商業課	(副)	産業雇用政策課
成果指標		54. 中心市街地空き店舗数		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要																													
関連する 施策		【個別施策】 28. 商業の振興																											
指標の 説明		中心市街地における商店街の空き店舗数により、まちなかの魅力やにぎわいの状況をはかる指標です。																											
基準値 (令和2年12月 調査値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
110 店舗	目標値	104	98	92	86	80	商業者や多様な業種の起業者等のまちなかへの 出店を支援することにより、空き店舗の30店舗 減少を目指します。																						
	実績値	114	100	102																									
	達成率	0.0%	83.3%	44.4%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>110</td><td>110</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>104</td><td>114</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>98</td><td>100</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>92</td><td>102</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>86</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>80</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	110	110	令和3年度	104	114	令和4年度	98	100	令和5年度	92	102	令和6年度	86		令和7年度	80		達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	110	110																											
令和3年度	104	114																											
令和4年度	98	100																											
令和5年度	92	102																											
令和6年度	86																												
令和7年度	80																												
							44.4%	D																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	街なか再生リノベーション事業	事業費 (千円)	44,099	担当課	にぎわい商業課
1	具体的な 取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により空き店舗が増加した中心市街地の再生を図りにぎわいを取り戻すため、街なかにおける空き店舗をリノベーションして開業する際に要する経費の一部を補助する。 ○対 象 者：法人、個人事業主、団体で事業を行う者 ○対象経費：内装・外装工事費、空調設備工事費、ネットワーク環境接続費（初期投資のみ）ほか				
	取組成果	クリエイティブ産業に対する補助率を他産業よりも優遇することで街なかへの新規創業を促し、補助件数は前年度の16件から27件に増加した。				
No	取組名	街なか空き店舗入居者家賃補助事業	事業費 (千円)	72,264	担当課	にぎわい商業課
2	具体的な 取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により増加している空き店舗の解消や雇用の場の確保、賑わいを創出するため、中心市街地の空き店舗へ出店する事業者に対し、補助要件を緩和して、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対 象 者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する 商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか				
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度に引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。結果として、新規補助件数は前年度の32件から48件（うち市独自の補助43件）に増加した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①街なか賑わい創出事業 [32,617]（にぎわい商業課） ②商店街等活性化イベント支援事業 [30,837]（にぎわい商業課） ③創業応援利子補給パッケージ[3,623]（産業雇用政策課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、官民連携して課題の共有を図り、若い世代へのPRなど、起業家等が出店しやすい取り組みを続けていく必要がある。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
新規出店が増えているものの短期間で廃業する事業者もいることから、新規出店の促進に加え長期的に事業継続できるよう伴走型支援の実施を検討する。地元商店街との課題共有、「街なか賑わい創出プロジェクト」との連携、官民連携した企画やイベント支援の継続に加え、若い世代に向けた街なかの魅力発信により若者を中心とした集客と回遊性の向上を図り、街なかの賑わいを創出する。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標	55. 観光消費平均単価額
------	---------------

1 成果指標の概要																																
関連する 施策	【個別施策】 29. 観光による地域振興																															
指標の 説明	来訪者が本市で消費した額により、外貨獲得の状況をはかる指標です。																															
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																									
24,366 円	目標値	24,658	24,950	25,242	25,534	25,827	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復が不透明ではありますが、観光まちづくりの推進や付加価値の創造などを図ることにより、過去5年間の伸び率と同じ伸び率を目指します。																									
	実績値	20,604	28,313	27,319																												
	達成率	0.0%	100.0%	100.0%																												
【成果指標の実績値推移】																																
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>24,366</td><td>24,366</td><td>24,366</td><td>24,366</td><td>24,366</td></tr><tr><td>目標値</td><td>24,658</td><td>24,950</td><td>25,242</td><td>25,534</td><td>25,827</td></tr><tr><td>実績値</td><td>20,604</td><td>28,313</td><td>27,319</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	基準値	24,366	24,366	24,366	24,366	24,366	目標値	24,658	24,950	25,242	25,534	25,827	実績値	20,604	28,313	27,319			達成率	評価
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																											
基準値	24,366	24,366	24,366	24,366	24,366																											
目標値	24,658	24,950	25,242	25,534	25,827																											
実績値	20,604	28,313	27,319																													
							100.0%	A																								

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	春の花見山おもてなし事業	事業費 (千円)	56,991	担当課	観光交流推進室	
1	具体的な取組内容	観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など					
	取組成果	4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限のないシーズンとなり、シーズン中の来訪者数が対前年比18,000人増（30.5%増）の77,000人となった。 また、宿泊者や飲食店、土産店、買い物店への立ち寄りが増え、旅行中の消費金額は前年よりも増加した。 総合的な満足度は96.9%となり、観測史上最速の開花により見頃のピークと来訪時期が合わなかった中においても高い満足度を維持できた。					
No	取組名	「ふくしまステイ。」プロモーション事業	事業費 (千円)	12,100	担当課	観光交流推進室	
2	具体的な取組内容	本市の滞在スタイル（楽しみ方や過ごし方）を提供する、ニューノーマル時代の新たなブランド「ふくしまステイ。」プロモーションや「ちようどいい旅、ふくしまステイ。」をキャッチコピーとして首都圏在住者をターゲットにリアルとデジタルを掛け合わせたプロモーションを展開し、本市への誘客と周遊促進を図る。 ○「ふくしまステイ。」イメージ定着化事業 ○「ふくしまステイ。」を活用した誘客プロモーション事業					
	取組成果	各事業者への働きかけにより、本事業に係る協力事業者数の増加に努めた。 これにより宿泊プランや体験コンテンツの増加を図ることができ、宿泊プランでは対前年度27%増となり、人泊数では76%増とコロナ禍の5類移行による誘客の回復を促進することができた。					

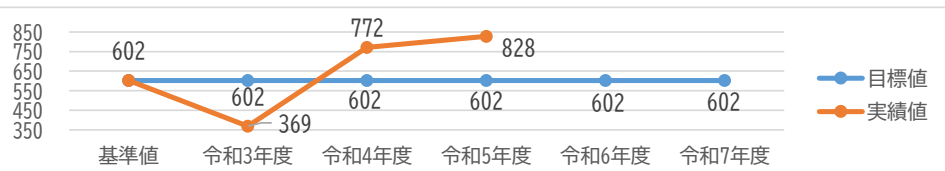
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①「道の駅ふくしま」運営 [36,813]（観光交流推進室） ②ふくしま花回廊推進事業 [27,853]（観光交流推進室） ③フィルムロケ誘致支援事業 [2,626]（観光交流推進室） ④吾妻エリア観光推進事業 [4,578]（観光交流推進室） ⑤福島三名湯ブランディング事業 [1,693]（観光交流推進室） ⑥温泉地活性化推進事業 [15,000]（観光交流推進室） ⑦ふくしま広域観光整備事業 [9,745]（観光交流推進室） ⑧周遊スポット魅力アップ支援事業 [33,324]（観光交流推進室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について各種プロモーションによる情報発信を行うことで、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標	56. 観光客入込数
------	------------

1 成果指標の概要																												
関連する施策		【個別施策】 29. 観光による地域振興																										
指標の説明		観光客入込数により観光振興の状況をはかる指標です。																										
基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																					
602 万人	目標値	602	602	602	602	602	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復が不透明ではありますが、観光まちづくりの推進や付加価値の創造などを図ることにより、基準値の維持を目指します。																					
	実績値	369	772	828																								
	達成率	61.3%	100.0%	100.0%																								
【成果指標の実績値推移】																												
 <table><caption>観光客入込数の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>602</td><td>602</td><td>602</td><td>602</td><td>602</td><td>602</td></tr><tr><td>実績値</td><td>-</td><td>369</td><td>772</td><td>828</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	602	602	602	602	602	602	実績値	-	369	772	828	-	-	
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	602	602	602	602	602	602																						
実績値	-	369	772	828	-	-																						
							達成率	評価																				
							100.0%	A																				

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	春の花見山おもてなし事業	事業費 (千円)	56,991	担当課	観光交流推進室
1	具体的な取組内容	観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など				
	取組成果	4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限のないシーズンとなり、シーズン中の来訪者数が対前年比18,000人増（30.5%増）の77,000人となった。 また、宿泊者や飲食店、土産店、買い物店への立ち寄りが増え、旅行中の消費金額は前年よりも増加した。 総合的な満足度は96.9%となり、観測史上最速の開花により見頃のピークと来訪時期が合わなかった中においても高い満足度を維持できた。				
No	取組名	「ふくしまステイ。」プロモーション事業	事業費 (千円)	12,100	担当課	観光交流推進室
2	具体的な取組内容	本市の滞在スタイル（楽しみ方や過ごし方）を提供する、ニューノーマル時代の新たなブランド「ふくしまステイ。」プロモーションや「ちようどいい旅、ふくしまステイ。」をキャッチコピーとして首都圏在住者をターゲットにリアルとデジタルを掛け合わせたプロモーションを展開し、本市への誘客と周遊促進を図る。 ○「ふくしまステイ。」イメージ定着化事業 ○「ふくしまステイ。」を活用した誘客プロモーション事業				
	取組成果	各事業者への働きかけにより、本事業に係る協力事業者数の増加に努めた。 これにより宿泊プランや体験コンテンツの増加を図ることができ、宿泊プランでは対前年度27%増となり、人泊数では76%増とコロナ禍の5類移行による誘客の回復を促進することができた。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①「道の駅ふくしま」運営 [36,813]（観光交流推進室） ②ふくしま花回廊推進事業 [27,853]（観光交流推進室） ③フィルムロケ誘致支援事業 [2,626]（観光交流推進室） ④吾妻エリア観光推進事業 [4,578]（観光交流推進室） ⑤福島三名湯ブランディング事業 [1,693]（観光交流推進室） ⑥温泉地活性化推進事業 [15,000]（観光交流推進室） ⑦ふくしま広域観光整備事業 [9,745]（観光交流推進室） ⑧吾妻五葉松PR事業 [2,000]（観光交流推進室） ⑨周遊スポット魅力アップ支援事業 [33,324]（観光交流推進室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである（一社）福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について各種プロモーションによる情報発信を行うことで、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標 57. 外国人延べ宿泊者数

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 29. 観光による地域振興					
指標の 説明		多様性に対応したホスピタリティの深化をはかる指標です。					
基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
36,160 人	目標値	36,160	36,160	36,160	36,160	36,160	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復が不透明ではありますが、観光まちづくりの推進や受け入れ環境の整備などを図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	6,810	9,140	23,950			
	達成率	18.8%	25.3%	66.2%			



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	11,379	担当課	観光交流推進室
1	具体的な取組内容	インバウンド誘客プロモーション事業 新型コロナによる外国人観光客の入国制限が緩和され、インバウンド需要の回復が期待されることから、本市が観光地として選んでもらえるよう積極的に本市の魅力を発信する。 ○デジタルプロモーション（動画制作によるWeb媒体を活用した情報発信） ○リアルプロモーション（現地での出展ブース等における情報発信）			
	取組成果	デジタルプロモーションでは、台湾人のインフルエンサーを活用して長短9本のPR動画を制作して情報を発信し、本市の認知の拡大に努めることができた。 ・横型動画2本、縦型動画7本（計40万回再生） リアルプロモーションでは、台北市で開催された観光博に出展して本市の魅力を発信したほか、現地旅行会社へのセールスコール（計11者）を実施するほか商談会において本市に認知拡大を図ることができた。			
No	取組名	事業費 (千円)	56,991	担当課	観光交流推進室
2	具体的な取組内容	春の花見山おもてなし事業 観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など			
	取組成果	4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限のないシーズンとなり、シーズン中の来訪者数が対前年比18,000人増（30.5%増）の77,000人となった。 また、宿泊者や飲食店、土産店、買い物店への立ち寄りが増え、旅行中の消費金額は前年よりも増加した。 総合的な満足度は96.9%となり、観測史上最速の開花により見頃のピークと来訪時期が合わなかった中においても高い満足度を維持できた。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

- ①「道の駅ふくしま」運営[36,813]（観光交流推進室） ②ふくしま花回廊推進事業[27,853]（観光交流推進室）
 ③「ふくしまステイ。」プロモーション事業[12,100]（観光交流推進室） ④フィルムロケ誘致支援事業[2,626]（観光交流推進室）
 ⑤吾妻エリア観光推進事業[4,578]（観光交流推進室） ⑥福島三名湯ブランディング事業[1,693]（観光交流推進室）
 ⑦温泉地活性化推進事業[15,000]（観光交流推進室） ⑧周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである（一社）福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について、デジタルプロモーションや現地リアルプロモーションによる情報発信を強化し、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

成果指標	58. 来訪者満足度
------	------------

1 成果指標の概要

関連する 施策		【個別施策】 29. 観光による地域振興					
指標の 説明		本市の地域資源やおもてなし等に対する来訪者の満足度をはかる指標です。 ※花見山アンケート					
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
95.3 %	目標値	96.2	97.1	98.1	99.0	100.0	観光まちづくりの推進や付加価値の創造、受け入れ環境の整備などを図ることにより、来訪者の満足度100%を目指します。
	実績値	94.3	97.6	96.9			
	達成率	0.0%	100.0%	57.1%			

【成果指標の実績値推移】		達成率	評価																		
<table><caption>目標値と実績値の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>96.2</td><td>97.1</td><td>98.1</td><td>99.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>94.3</td><td>97.6</td><td>96.9</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	96.2	97.1	98.1	99.0	100.0	実績値	94.3	97.6	96.9			57.1%	D
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																
目標値	96.2	97.1	98.1	99.0	100.0																
実績値	94.3	97.6	96.9																		

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	56,991	担当課	観光交流推進室
1	春の花見山おもてなし事業	観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。			
	具体的な取組内容	○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など			
2	取組成果	4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限のないシーズンとなり、シーズン中の来訪者数が対前年比18,000人増（30.5%増）の77,000人となった。 また、宿泊者や飲食店、土産店、買い物店への立ち寄りが増え、旅行中の消費金額は前年よりも増加した。 総合的な満足度は96.9%となり、観測史上最速の開花により見頃のピークと来訪時期が合わなかった中においても高い満足度を維持できた。			
	取組内容	官民を挙げた花観光スポットの魅力向上と誘客拡大・周遊促進に向けた取り組みを行い、花観光来訪者の満足度向上と来訪者増加を図る。 ○ふくしま花回廊デジタルラリー事業 ○ふくしま花回廊魅力発信事業（PRパンフレット作成等） ○ふくしま花回廊魅力づくり・受入環境整備事業（ふくしま花回廊推進事業補助）			
3	取組成果	花回廊スポットの当事者・関係者を集めた花回廊会議の開催により情報共有や相互連携を図り、さらなる来訪者の満足度向上に努めた。 また、各スポットの受入環境整備の取り組み（6事業）に対して補助金を交付し、花回廊スポットの魅力アップにつなげることができた。			
	取組内容				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※[]内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①「道の駅ふくしま」運営[36,813]（観光交流推進室） ②「ふくしまステイ。」プロモーション事業[12,100]（観光交流推進室） ③フィルムロケ誘致支援事業[2,626]（観光交流推進室） ④吾妻エリア観光推進事業[4,578]（観光交流推進室） ⑤福島三名湯ブランディング事業[1,693]（観光交流推進室） ⑥温泉地活性化推進事業[15,000]（観光交流推進室） ⑦周遊スポット魅力アップ支援事業[33,324]（観光交流推進室）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである（一社）福島市観光コンベンション協会と連携し、花見山をはじめとした花観光等のテーマ観光等について各種プロモーションによる情報発信を行うことで、観光誘客および観光資源の魅力向上につなげていく。
--

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	
成果指標		59. 町内会加入世帯の割合		

1 成果指標の概要																													
関連する 施策	【個別施策】 30. 市民共創・地域連携の推進																												
指標の 説明	町内会の加入率により、地域におけるコミュニティの充実度をはかる指標です。																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
76.0 %	目標値	76.2	76.4	76.6	76.8	77.0	地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、5年前の加入率と同等の割合を目指します。																						
	実績値	74.2	73.5	72.9																									
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>76.0</td><td>76.0</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>76.2</td><td>74.2</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>76.4</td><td>73.5</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>76.6</td><td>72.9</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>76.8</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>77.0</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	76.0	76.0	令和3年度	76.2	74.2	令和4年度	76.4	73.5	令和5年度	76.6	72.9	令和6年度	76.8		令和7年度	77.0		0.0%	D
年度	目標値	実績値																											
基準値	76.0	76.0																											
令和3年度	76.2	74.2																											
令和4年度	76.4	73.5																											
令和5年度	76.6	72.9																											
令和6年度	76.8																												
令和7年度	77.0																												

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	不動産団体との連携協定による町内会加入促進	事業費 (千円)	－	担当課	地域共創課
1	具体的な 取組内容	不動産団体との連携協定を締結し、不動産事業者が入居者等に対し町内会加入を呼びかけることにより加入者の増加を図る。				
	取組成果	協定に基づき、不動産事業者において入居者等に対し町内会加入を呼びかけていただいている。 今後は、当該事業者団体と対面による意見交換などの実施により、より効果的な対策等について検討していく。				
No	取組名	電子町内会活動促進	事業費 (千円)	604	担当課	地域共創課
2	具体的な 取組内容	多様化する社会に対応するため、町内会におけるＩＣＴの活用を推進し、時間・場所に制限を受けない迅速な情報伝達網の構築を図る。 また、インターネットを利用し、町内会活動などの地域情報を広く発信することで、若い世代に町内会への興味・関心を持ってもらう機会を増やす。				
	取組成果	電子町内会推進事業への参加町内会数が、2町内会增加し40町内会となった。 町内会が抱えるデジタル化への課題解決のためアドバイザーの派遣を行った。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）
①町内会加入案内パンフレットの配布[0]（地域共創課）	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。 なお、コミュニティ維持や防災の観点においても町内会の役割は大切であり、加入促進と維持につながる取り組みを望む。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
町内会加入率が増加しない主な要因として、運営や役員としての負担が大きいことや町内会活動の役割と重要性が認識されていないことなどにより、若年層の加入が進まないことが考えられる。 今後、電子町内会の導入促進につながる機能の拡充を検討し、若年層の加入促進につながるよう取り組んでいくとともに、地域コミュニティの活性化につながる取り組みについても引き続き検討していく。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	
成果指標	60.「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数			★重点施策の再掲

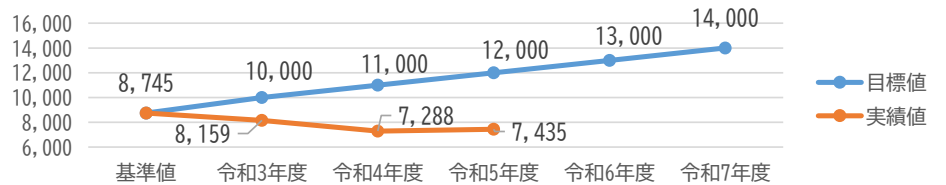
1 成果指標の概要																													
関連する施策	【個別施策】 30. 市民共創・地域連携の推進																												
指標の説明	共創の考え方や手法を用いた取り組み数により、各地区における「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗度合いをはかる指標です。																												
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
0件	目標値	275	310（R3～R4年度までの2年間）	345（R3～R5年度までの3年間）	380（R3～R6年度までの4年間）	411（R3～R7年度までの5年間）	共創のまちづくり意識の醸成により、5年間で411件の「ふくしま共創のまちづくり計画」の実施を目指します。																						
	実績値	290	327	358																									
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																									
【成果指標の実績値推移】																													
<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>275</td><td>290</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>310</td><td>327</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>345</td><td>358</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>380</td><td>380</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>411</td><td>411</td></tr></tbody></table>							年度	目標値	実績値	基準値	0	0	令和3年度	275	290	令和4年度	310	327	令和5年度	345	358	令和6年度	380	380	令和7年度	411	411	達成率	評価
年度	目標値	実績値																											
基準値	0	0																											
令和3年度	275	290																											
令和4年度	310	327																											
令和5年度	345	358																											
令和6年度	380	380																											
令和7年度	411	411																											
							100.0%	A																					

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会の支援	事業費 (千円)	540	担当課	地域共創課
1	具体的な 取組内容	各地区のふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会における取組を支援するとともに、「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗管理を行う。 ○「ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会」運営の支援 ○「ふくしま共創のまちづくり計画」の評価・検証のための支援				
	取組成果	市内18地区の懇談会が、多種多様な視点を取り入れながら計画の推進を図った。 懇談会において計画の進捗管理を行うことで、解決すべき地域の課題を明確にして、まちづくりの取り組みを進めることが出来た。				
No	取組名	地域コミュニティ等支援事業	事業費 (千円)	13,391	担当課	地域共創課
2	具体的な 取組内容	地域の新たな魅力や価値の創出、市民活動の活性化、地域活力の向上を図るため、地域ごとの主体的なまちづくりへの取り組みにかかる経費の一部を補助する。 ○一般事業枠 ○花いっぱい推進事業枠				
	取組成果	一般事業枠・花いっぱい運動等に併せて18地区102事業のまちづくりの取り組みに補助金を交付することが出来た。本事業により、地区懇談会のふくしま共創のまちづくり計画の推進を支援し、住民自治意識の醸成、地域活動の活性化に寄与した。				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み	※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
地域の実情に応じて新たな視点を取り入れるためのマッチングを行うなど、懇談会の活性化及び各地区のまちづくり計画の推進に向けた支援を行っていく。

指標進捗管理担当		(主)	広聴広報課		(副)		
成果指標		61. ふくしま市政出前講座の受講者数					
1 成果指標の概要							
関連する施策		【個別施策】 31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実					
指標の説明		ふくしま市政出前講座の受講者数により、市民との意見交換機会の拡大をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
8,745 人	目標値	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	新たな手法を取り入れながら、毎年前年度の1,000人増加を目指します。
	実績値	8,159	7,288	7,435			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%			
【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						0.0%	D
2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み							
No	取組名	市政だより等作成			事業費 (千円)	104,041	担当課 広聴広報課
1	具体的な取組内容	市政情報及び観光・伝統・文化等の各分野における本市の魅力を広く発信するため、市政だより等を作成して発行する。 ○市政だより・地区だより（毎月発行、20ページ、106,950部／月） ○市民フォト・ふくしま夢通信（年4回発行、8ページ、夏・秋・冬・春 15,420部／回） ほか					
	取組成果	毎月、市政だより・地区だよりを発行、ふくしま夢通信を年4回発行し、併せてホームページやSNSなどクロスメディアの情報配信を行い、市政情報や本市の魅力を広く発信した。					
No	取組名	メディア広報			事業費 (千円)	43,123	担当課 広聴広報課
2	具体的な取組内容	テレビ、ラジオ、新聞等のメディアや福島駅西口のエールビジョン及び東口のデジタルサイネージを活用し、分かりやすく市政情報を発信する。 ○テレビ放送（15秒スポットを毎週各局1回、5分番組を毎月各局1回、15分新春特番を各局1回） ○ラジオ放送、新聞等広告 ○東西デジタルサイネージの活用 ○テレビのデータ放送（dボタン）					
	取組成果	毎月、テレビ、ラジオ、新聞等のメディアを通して広範囲に市政情報の発信を行うとともに、本市をPRする特別番組を制作、本市の魅力を広く発信した。令和5年度からテレビのデータ放送による情報発信を追加した。					
3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）							
①市ホームページの充実[10,807]（広聴広報課） ②ふくしま元気トーク開催事業[99]（広聴広報課）							
4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価							
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。							
5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性							
市政出前講座受講者数は、コロナ禍以降新しい生活様式への移行により、大人数での集会が減少傾向にある。そのため、令和6年度以降の出前講座受講者数は、令和4年度から令和5年度の受講者数の増加率2％での増加を見込む。併せて、新しい生活様式への対応として、講座の関連動画を作成して配信することで、市政情報の更なる発信に努める。							

指標進捗管理担当	(主)	広聴広報課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

成果指標	62. ホームページ、SNSの閲覧数
------	--------------------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実
--------	-------------------------------------

指標の説明	市ホームページおよびSNSの年間閲覧数により、市政情報の浸透度をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
11,000,706 件	目標値	20,200,000	21,900,000	15,400,000	16,500,000	17,600,000	市ホームページとSNSによる多様な情報発信ツールの充実などにより、毎年前年度の1,700,000件増加を目指します。 令和5年度実績からX・Facebook閲覧数把握ができなくなったため、HPとYouTube閲覧数毎年前年度1,100,000件増加を目指します。
	実績値	33,595,511	29,582,279	14,394,869			
	達成率	100.0%	100.0%	77.2%			

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価																					
<table><caption>実績値推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>11,000,706</td><td>20,200,000</td><td>21,900,000</td><td>15,400,000</td><td>16,500,000</td><td>17,600,000</td></tr><tr><td>実績値</td><td>-</td><td>33,595,511</td><td>29,582,279</td><td>14,394,869</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>						年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	11,000,706	20,200,000	21,900,000	15,400,000	16,500,000	17,600,000	実績値	-	33,595,511	29,582,279	14,394,869	-	-	77.2%	C
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																						
目標値	11,000,706	20,200,000	21,900,000	15,400,000	16,500,000	17,600,000																						
実績値	-	33,595,511	29,582,279	14,394,869	-	-																						

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	10,807	担当課	広聴広報課
1	市ホームページの充実				
	具体的な取組内容	ホームページを活用した情報発信及び閲覧の際の利便性向上を図るため、市のホームページ内のチャットボットと内部検索システムを運用する。			
	取組成果	チャットボット、内部検索システム運用により、ホームページ閲覧の際の利便性向上を図ることが出来た。			
2	市公式SNSの普及促進				
	具体的な取組内容	市民のニーズに応じた情報をより広範囲に配信できるよう、市公式SNS登録者数の増加を図る。 ○市政だよりやテレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報 ○登録を啓発する広報物の配布、設置など			
	取組成果	コロナワクチンの情報など、市民のニーズに応じた情報を広範囲に配信することが出来た。 デジタルくーぼん事業などSNSを活用した事業の増加により、LINE登録数は令和4年度から倍増し約75,000人になった。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

--

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。
--

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、情報発信の充実に努めたい。特に、事業に連携したSNSの投稿を積極的に行い、市民の関心を高め、登録者数の増加を図りたい。
--

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	広聴広報課
成果指標		63. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額		★重点施策の再掲

1 成果指標の概要

関連する施策		【個別施策】 31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実																											
指標の説明		元気ふくしま・ふるさと寄附金額により、本市ファンの拡大と戦略的なシティセールスの充実度をはかる指標です。																											
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
145,645 千円	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	国内外に向けたシティセールスの戦略的な展開により、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。																						
	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545																									
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%																									
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table><caption>成果指標の実績値推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>目標値</td><td>145,645</td><td>1,000,000</td><td>1,100,000</td><td>1,200,000</td><td>1,500,000</td><td>1,600,000</td></tr><tr><td>実績値</td><td></td><td>1,252,665</td><td>1,187,121</td><td>1,469,545</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	145,645	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	実績値		1,252,665	1,187,121	1,469,545			100.0%	A
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	145,645	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000																							
実績値		1,252,665	1,187,121	1,469,545																									

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	715,263	担当課	政策調整課
1	具体的な取組内容	各種施策を実施する財源を確保するため、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進する。 ○市観光コンベンション協会と連携し、話題性と魅力にあふれる返礼品開発 ○各ポータルサイトを活用し、市の施策や魅力ある返礼品を積極的にPR			
	取組成果	(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、返礼品取扱事業者・生産者募集説明会や事業者訪問を行うなど、事業者との意思統一を図り、返礼品の開拓を推進するとともに、寄附の使い道をはじめ、本市の旬な情報の発信を行い、関係人口の拡大を図った。			
No	取組名	事業費 (千円)	3,596	担当課	政策調整課
2	具体的な取組内容	マーケティング分析ツールの活用とSNSによる情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図る。 ○シティセールス特設Webサイトの管理運営 ○マーケティングデータ分析ツールの導入及び活用 ○SNSの拡散キャンペーン等による情報発信			
	取組成果	ふるさと納税などを通じ、本市への更なる応援を募るため、寄附の使い道を親しみやすくかつ分かりやすく伝える特設Webサイト等で本市の魅力を効果的に発信した。 また、本市特産品の魅力を拡散してもらえるよう、レビューキャンペーンを実施し、ふるさと納税寄附者からの情報発信を促進した。			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額(単位:千円)

- ①福島市応援関係人口創出事業[2,210](政策調整課)
 ②テレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報[43,123](広聴広報課)
 ③市ホームページの充実[10,807](広聴広報課)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

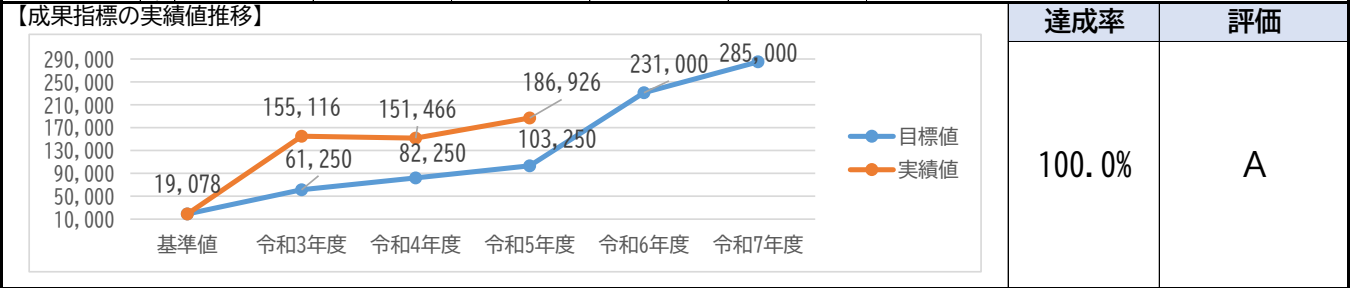
引き続き情報発信を戦略的にを行い、賛同と共感を得ながら、ふるさと納税による本市への寄附を促進し、本市ファンの拡大を図るとともに、シティセールスを推進する。

指標進捗管理担当	(主)	情報企画課	(副)	デジタル推進課、契約検査課、市民課、市民税課、図書館、スポーツ振興課ほか
----------	-----	-------	-----	--------------------------------------

成果指標	64. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)	★重点施策の再掲
------	-----------------------------	----------

1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 32. ICT化の推進					
指標の説明	行政手続きのオンラインサービスの利用件数により、行政手続きのICT化の充実度と利便性向上の状況をはかる指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000
	実績値	155,116	151,466	186,926		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
目標値の根拠						行政手続きのオンライン化の推進とICT活用の充実などにより、市民の利便性向上を目指します。



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	5,027	担当課	情報企画課（デジタル推進課）
1	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。			
	取組成果	市LINE公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。 15所属 48業務			
No	取組名	事業費 (千円)	5,561	担当課	契約検査課
2	具体的な取組内容	応札者の利便性の向上を図り、また、コロナ禍や災害時にあっても入札を継続するため、インターネットにより電子的に執行する電子入札を制限付一般競争入札から開始する。			
	取組成果	建設工事及び工事関連業務委託（測量、設計等）の制限付一般競争入札において令和5年7月1日以降の公告分より、指名競争入札については令和6年2月より本格運用を開始した。 ・工事 制限付一般競争入札： 51件 指名競争入札： 13件 合計： 64件 ・業務委託 制限付一般競争入札： 7件 指名競争入札： 5件 合計： 12件			

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [] 内の数値は令和5年度決算額（単位：千円）

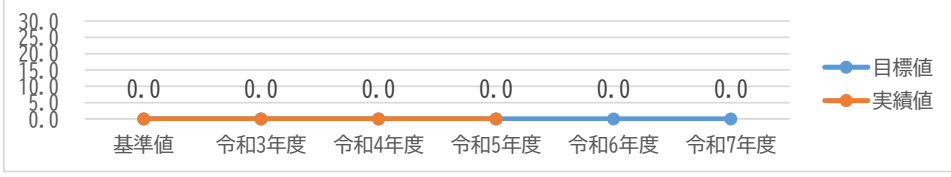
- ①申請・届出オンライン事業[3,065]（情報企画課）
 ②コンビニ交付サービス事業[27,758]（市民課・市民税課）
- ③オンライン申請の推進[783]（市民課・市民税課）
 ④電子図書館の運用[3,411]（図書館）
- ⑤公共施設予約システムの運用[22,213]（スポーツ振興課ほか）
- ⑥シルバー人材センターICT班活動支援[810]（デジタル推進課）
- ⑦ふくしまデジタルサポートデスクの設置運営[3,641]（デジタル推進課）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

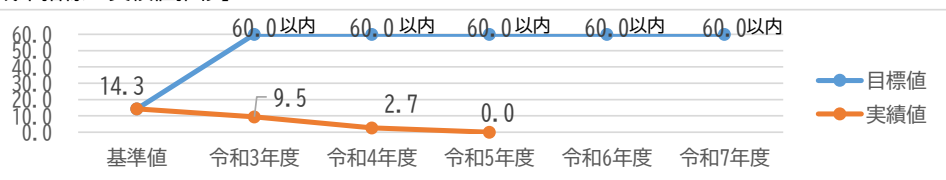
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も市民がオンラインで申請可能な手続きを拡充することと併せて、オンラインサービスの利用を促進することにより、市民の利便性向上の取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当		(主)	財政課		(副)				
成果指標		65. 実質赤字比率 68. 将来負担比率		66. 連結実質赤字比率		67. 実質公債費比率			
1 成果指標の概要									
関連する 施策		<65. 実質赤字比率> 【個別施策】33. 行財政経営の推進							
指標の 説明		地方公共団体の標準的な収入（主に一般会計）に対する実質赤字の割合を示す比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
—	目標値		—	—	—	—	—	自治体の財政運営においては、本来収入不足による赤字は生じないようにすべきものであるため、－（ゼロ）を目指します。	
	実績値		0.0	0.0	0.0				
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								100.0%	A
関連する 施策		<66. 連結実質赤字比率> 【個別施策】33. 行財政経営の推進							
指標の 説明		水道・下水道事業などの公営企業会計を含めた全会計の実質赤字（または資金不足）の額の割合を示す比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
—	目標値		—	—	—	—	—	水道・下水道事業など含めても、市全体で収入不足による赤字は生じないようにすべきものであるため、－（ゼロ）を目指します。	
	実績値		0.0	0.0	0.0				
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								100.0%	A
関連する 施策		<67. 実質公債費比率> 【個別施策】33. 行財政経営の推進							
指標の 説明		毎年度経常的に収入される財源のうち、市債の返済に充当された割合を示す比率で、資金繰りの安全度を示す指標です。							
基準値 (令和元年度)		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
1.2 %	目標値		6以内	6以内	6以内	6以内	6以内	過度な借入金の返済により、他の経費に支障が出ることがないよう、中核市の平均値以内を目指します。	
	実績値		1.4	2.3	3.5				
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%				
【成果指標の実績値推移】								達成率	評価
								100.0%	A

関連する 施策		<68. 将来負担比率> 【個別施策】33. 行財政経営の推進					
指標の 説明		毎年度末時点における一般会計の市債残高だけでなく、土地開発公社や第三セクターまで含めて、市が将来負担すべき実質的な負債の額が標準的な年間収入の何年分にあたるかを示す比率で、将来、財政運営を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。					
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
14.3	目標値	60以内	60以内	60以内	60以内	60以内	世代間負担の公平性を考慮し、将来世代へ過度な負担を避けるため、中核市の平均値以内を目指します。
	実績値	9.5	2.7	0.0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
%							

【成果指標の実績値推移】						達成率	評価
						100.0%	A

2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	健全で効率的な財政運営	事業費 (千円)	—	担当課	財政課
1	具体的な 取組内容	前例にとらわれず、制度の根本に立ち返り必要性や投資効果等を検証し、ICTの活用や創意工夫、長寿命化対策による長期的なコスト縮減により最少の経費で最大の効果を発揮するよう十分に検討するなど、事務改善等による不断の行政経費の節減に取り組むとともに、施策評価による事業の厳選により、効率的な財政運営に取り組む。				
	取組成果	経常的な事務事業は、扶助費などの義務的経費等を除いてマイナス5%の枠配分方式を導入し、全ての部局において主体的な見直しを行った。 また、実績・コストの検証を踏まえた事業の見直し・再構築や、デジタル技術の活用による業務の効率化・コストの削減に務めるとともに、公共施設の省エネルギー化・再生可能エネルギーの導入による電気料の抑制を図り、物価高騰等の影響を最小限に縮減した。				
No	取組名	市債の適正な運用	事業費 (千円)	—	担当課	財政課
2	具体的な 取組内容	大規模事業の進捗により、市債発行額及びその償還額の増高は避けられない状況にあるが、普通交付税措置のある有利な市債の積極的な活用により、実質的な市の負担軽減を目指す。				
	取組成果	地方交付税の措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に務めた。 ※1 R6市債当初予算中、交付税措置のあるもの 9,789,500千円(88.1%) ※2 R6市債当初予算中、交付税措置額(理論値) 4,806,778千円(43.3%) (R6市債当初予算額 11,113,700千円)				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性
厳しい社会経済が予見される中、将来にわたり持続可能な財政運営を目指すため、引き続き着実に取り組みを推進していく。

令和5年度実績評価検証結果

第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点・個別施策に紐づく成果指標（重点施策28指標、個別施策68指標の令和5年度実績に係る評価検証結果等については以下のとおりである。

1 成果指標の達成状況

区分	令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績	
	指標数	構成比	指標数	構成比	指標数	構成比
A評価(達成率100%)	50	52.1%	49	51.0%	41	42.7%
B評価(80%≦達成率<100%)	6	6.2%	7	7.3%	14	14.6%
C評価(60%≦達成率<80%)	4	4.2%	11	11.5%	11	11.5%
D評価(達成率<60%)	36	37.5%	29	30.2%	30	31.3%
合計	96	100.0%	96	100.0%	96	100.0%

※指標数には再掲13指標を含む

2 令和6年度検証会議

(1) 開催日

【第1回】令和6年7月26日（金）

【第2回】令和6年8月2日（金）

(2) 検証会議総評

(成果指標)

市の取り組みだけでは、コントロールし、評価を上げていくことが難しい指標がみられ、結果として指標の達成率が上がっていない印象を受ける。

施策の実現に向けた市の取組成果が、分かりやすく進捗の結果に表れる、より望ましい指標への見直しが必要である。

(市民ニーズの把握)

市のこれまでの様々な取り組みの成果が定量的な指標には結果として表れている一方で、アンケート指標等の市民満足度の結果が振るわないことから、市民が何に困り、何を望んでいるのか、市民のニーズを把握した取り組みにより市民満足度の向上を図る必要がある。

(民間等との連携の強化)

地方の若者の減少をはじめとした、人口減少、人口流出の問題が全ての施策において複合的に関わってきている。市や民間等の様々な主体が垣根を越えて、あらゆる政策に連携して取り組むことで施策の進捗が図られることを望む。

また、行政だけでできることは限られており、市がリーダーシップを取って、民間等を巻き込みながらまちづくりを盛り上げていくことで指標の結果も上がるため、市民が自ら考え、自ら行動する「自立した市民」となる意識づけが望まれる。

3 外部有識者の評価を受けての本市まとめ

第6次総合計画新ステージ実行プランの3年目の折り返しである令和5年度の検証結果は、これまで5割程度あった成果指標のA評価が4割程度に落ち込む一方で、D評価については改善の見られた昨年度の評価と同程度の3割にとどまり、B評価が増える結果となった。

順調に進捗している分野では、共創のまちづくり計画における取り組み数や行政手続きのオンラインサービス利用件数、本市移住に結び付いた移住者の割合などの成果指標が引き続きA評価を維持しているほか、放射線講座受講後の不安軽減率や地区防災マップ・防災計画の策定地区数などの成果指標が新たにA評価を達成するなど、定量的な成果指標には一定の成果が見られた。

一方で、市民アンケートの結果に基づくアンケート指標ではD評価が目立ち、全体的な指標の達成状況を下げる結果となった。

地方における人口減少の加速やまちなかの賑わいを取り戻すために現在本市が直面している課題など、本市のまちづくりを取り巻く環境や社会の状況は、計画策定当初と大きく変わっていることから、施策の進展と適切な進捗管理に向けて、今よりもよりよい取り組み、より適切な指標へと柔軟に見直しを行う。また、各部局の連携のみならず、民間の力の底上げを図りながら、様々な主体とも連携して施策の達成に向けて取り組んでいく。

資料編

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 見直した成果指標一覧表（令和5年度）

重点施策				
				★印：個別施策へ再掲
施策名	成果指標名	変更内容	変更内容	ページ
11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	(26) 元気ふくしま・ふるさと寄附金額★	目標値	令和5年度の実績値において、令和7年度の目標値を達成したことから、現状に即した目標値に見直した。	32
12 ICTを活用した行政・経済・社会の変革	(28) 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間）★	目標値	令和3年度以降の実績値において継続して目標値を達成していることから、現状に即した目標値に見直した。	34

個別施策				
施策名	成果指標名	変更対象	変更内容	ページ
17 環境の保全	(32) エネルギー自給率（電力）	目標値	令和5年8月に策定した福島市脱炭素社会実現実行計画の目標と整合を図るため見直した。	66
21 就労の支援と雇用の創出	(41) 女性の管理職登用率（従業員20人以上の事業所）	目標値	実績値に影響する事業に、令和4年度から新たな事業が加わり、継続して目標値を上回ることが見通せたため目標値を見直した。	75
31 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実	(62) ホームページ、SNSの閲覧数	目標値	令和5年度からX・Facebook閲覧数把握ができなくなったため目標値を変更した。HPとYouTube閲覧数、毎年前年度1,100,000件増加を目指す。	96
31 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実	(63) 元気ふくしま・ふるさと寄附金額★	目標値	令和5年度の実績値において、令和7年度の目標値を達成したことから、現状に即した目標値に見直した。	97
32 ICT化の推進	(64) 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間）★	目標値	令和3年度以降の実績値において継続して目標値を達成していることから、現状に即した目標値に見直した。	98

【重点施策】修正を加えた指標の新旧比較一覧

成果指標		26. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額					★個別施策へ再掲	
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121				
	千円	達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545			
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

成果指標		28. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)						★個別施策へ再掲
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 I C Tを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	124,250	145,250	
		実績値	155,116	151,466				
		達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 I C Tを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000	
		実績値	155,116	151,466	186,926			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【個別施策】修正を加えた指標の新旧比較一覧

成果指標		32. エネルギー自給率(電力)						
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 再エネ設備の導入を促進することにより、再エネ自給率を高めていくことを目指します。
	30.8	目標値	32.2	32.9	33.6	34.3	35.0	
		実績値	32.8	41.5				
		達成率	100.0%	100.0%				
	%							
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 再エネ設備の導入を促進することにより、再エネ自給率を高めていくことを目指します。
	30.8	目標値	32.2	32.9	46.7	49.0	51.4	
		実績値	32.8	41.5	46.5			
		達成率	100.0%	100.0%	98.7%	0.0%	0.0%	
	%							

成果指標		41. 女性の管理職登用率(従業員20人以上の事業所)						
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	17.5	目標値	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	女性の活躍推進により、基準値の2.5%増加を目指します。
		実績値	18.9	19.5				
	%	達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	17.5	目標値	18.0	18.5	20.0	21.0	22.0	女性の活躍推進により、基準値の4.5ポイント増を目指します。
		実績値	18.9	19.5	21.0			
	%	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

成果指標		62. ホームページ、SNSの閲覧数						
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	17,094,303	目標値	20,200,000	21,900,000	23,600,000	25,300,000	27,000,000	市ホームページとSNSによる多様な情報発信ツールの充実などにより、毎年前年度の1,700,000件増加を目指します。
		実績値	33,595,511	29,582,279				
	件	達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	11,000,706	目標値	20,200,000	21,900,000	15,400,000	16,500,000	17,600,000	市ホームページとSNSによる多様な情報発信ツールの充実などにより、毎年前年度の1,700,000件増加を目指します。 令和5年度実績からX・Facebook閲覧数把握ができなくなったため、HPとYouTube閲覧数毎年前年度1,100,000件増加を目指します。
		実績値	33,595,511	29,582,279	14,394,869			
	件	達成率	100.0%	100.0%	77.2%	0.0%	0.0%	

【個別施策】修正を加えた指標の新旧比較一覧

成果指標		63. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額					★重点施策の再掲	
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121				
	千円	達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545			
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

成果指標		64. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)						★重点施策の再掲
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 I C Tを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	124,250	145,250	
		実績値	155,116	151,466				
		達成率	100.0%	100.0%				
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 I C Tを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000	
		実績値	155,116	151,466	186,926			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

ふくしま新ステージ実行プラン検証会議 委員名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏名	所属・役職
1	伊 藤 宏 い とう ひろし	福島大学 名誉教授
2	紙 谷 瑞 恵 かみ や みず え	福島商工会議所青年部 副会長 株式会社ユアライフ 専務取締役
3	紺 頼 純 子 こん らい じゅん こ	ふくしま未来農業協同組合 理事
4	齋 藤 美 佐 さい とう み さ	NPO PLUS 代表
5	菅 井 謙 一 すが い けん いち	連合福島 福島地区連合会 議長
6	西 内 みなみ にし うち	学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 理事長・学院長
7	深 谷 茂 美 ふか や しげ み	株式会社テレビユー福島 報道制作局専門局長
8	村 上 崇 広 むら かみ たか ひろ	株式会社東邦銀行 法人コンサルティング部 公務・地域商社事業課長
9	横 田 崇 よこ た たかし	福島市医師会 会長